
平成28年度
新潟市の広報に関するアンケート

新潟市広報課

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 回答者の特性	5
7. 回答者の特性（年齢別集計）	7
II 調査結果	11
1. 市政情報の入手方法	13
（1）市政情報の入手先	13
2. 「市報にいがた」・「区役所だより」について	17
（1）「市報にいがた」・「区役所だより」の閲読状況	17
（2）「市報にいがた」・「区役所だより」が役立つ頻度	19
（3）「市報にいがた」・「区役所だより」を読まない理由	21
（4）「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ	23
3. 市公式ホームページについて	28
（1）インターネットの利用状況	28
（2）市公式ホームページの利用状況	30
（3）市公式ホームページへのアクセス方法	32
（4）市公式ホームページを利用しない理由	34
（5）市公式ホームページで充実を望むテーマ	36
4. 広報テレビ番組について	41
（1）テレビの視聴状況	41
（2）広報テレビ番組の認知度	43
（3）広報テレビ番組の有益度	49
（4）広報テレビ番組で充実を望むテーマ	55
5. 広報ラジオ番組について	60
（1）ラジオの聴取状況	60
（2）広報ラジオ番組の認知度	62
（3）広報ラジオ番組の有益度	67
（4）広報ラジオ番組で充実を望むテーマ	72
6. 今後のよりよい市政情報の発信のために	77

(1)「市報にいがた」の希望発行回数	77
(2)「区役所だより」の希望発行回数	79

Ⅲ アンケート依頼票・調査票様式	81
------------------------	----

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

新潟市民における、市政情報の入手手段や広報媒体に対する意識、その活用状況等を調査・把握し、今後の広報業務の展開等の参考とする。

2. 調査の項目

- | | |
|---------------------------|------------------|
| (1) 対象者属性 | 本質問 6 問 |
| (2) 市政情報の入手方法について | 本質問 1 問 |
| (3) 「市報にいがた」・「区役所だより」について | 本質問 2 問、補助質問 2 問 |
| (4) 市公式ホームページについて | 本質問 2 問、補助質問 3 問 |
| (5) 広報テレビ番組について | 本質問 2 問、補助質問 2 問 |
| (6) 広報ラジオ番組について | 本質問 2 問、補助質問 2 問 |
| (7) 今後のよりよい市政情報の発信のために | 本質問 4 問 |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 28 年 11 月末現在の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出法
(区別男女別の電子計算機マスターファイルから等間隔抽出)
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 29 年 1 月 23 日～2 月 7 日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 分析軸について

今回の調査では、対象者の性別（2区分）・年齢別（7区分）で、集計・分析を行った。

(2) 回収結果表①（性別・年齢別）

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有 効 回収数	有 効 回収率
全 体	680,026	100.0%	3,000	1632	54.4%
男 性	323,827	47.6%	1,430	693	48.4%
女 性	356,199	52.4%	1,570	907	57.8%
性別無回答				32	
18～29 歳	92,408	13.6%	402	145	36.1%
30～39 歳	97,336	14.3%	434	177	40.8%
40～49 歳	117,566	17.3%	537	268	49.9%
50～59 歳	97,310	14.3%	425	258	60.7%
60～69 歳	120,995	17.8%	557	381	68.4%
70～79 歳	84,926	12.5%	645	400	62.0%
80 歳以上	69,485	10.2%			
年齢無回答				3	

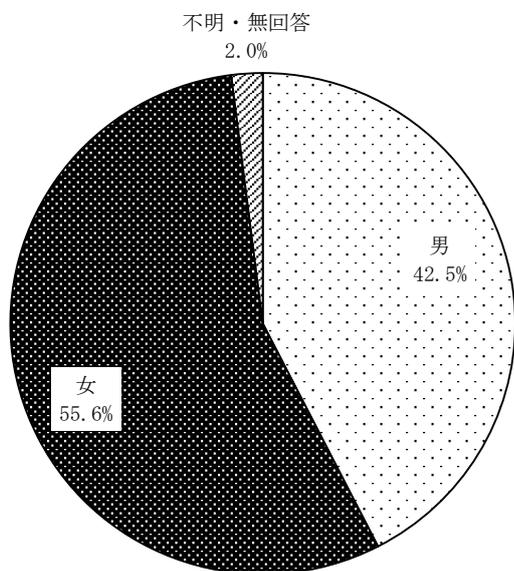
(3) 回収結果表②（区別）

※今回の分析軸でないが、標本抽出は区の男女別で按分して行ったため、掲載する。

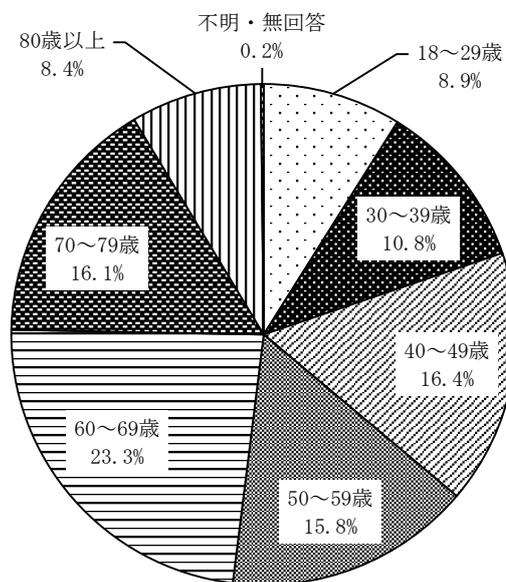
	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有 効 回収数	有 効 回収率
全 体	680,026	100.0%	3,000	1632	54.4%
北 区	64,380	9.5%	284	159	56.0%
東 区	117,239	17.2%	517	283	54.7%
中 央 区	151,366	22.3%	668	368	55.1%
江 南 区	58,129	8.5%	256	126	49.2%
秋 葉 区	65,764	9.7%	290	170	58.6%
南 区	39,065	5.7%	173	80	46.2%
西 区	133,358	19.6%	588	321	54.6%
西 蒲 区	50,725	7.5%	224	123	54.9%
区名無回答				2	

6. 回答者の特性

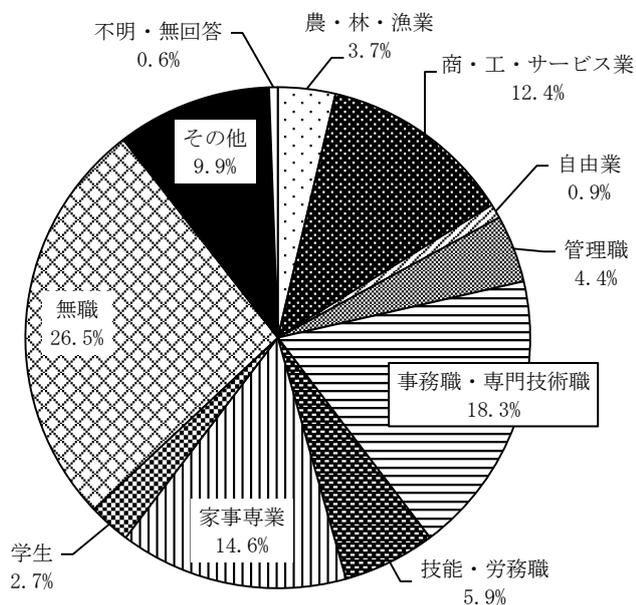
◆性別



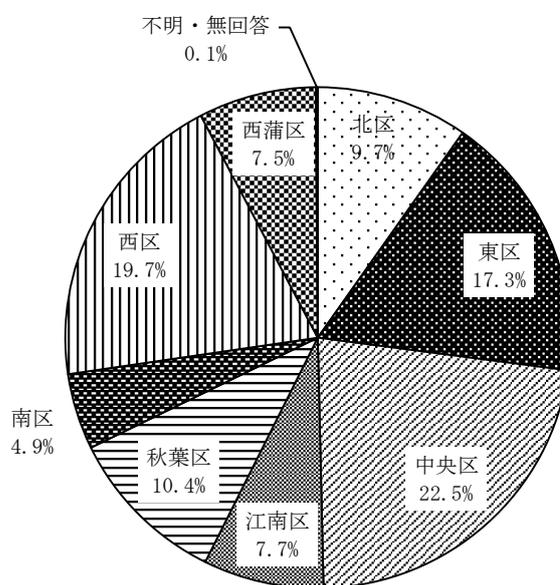
◆年齢別



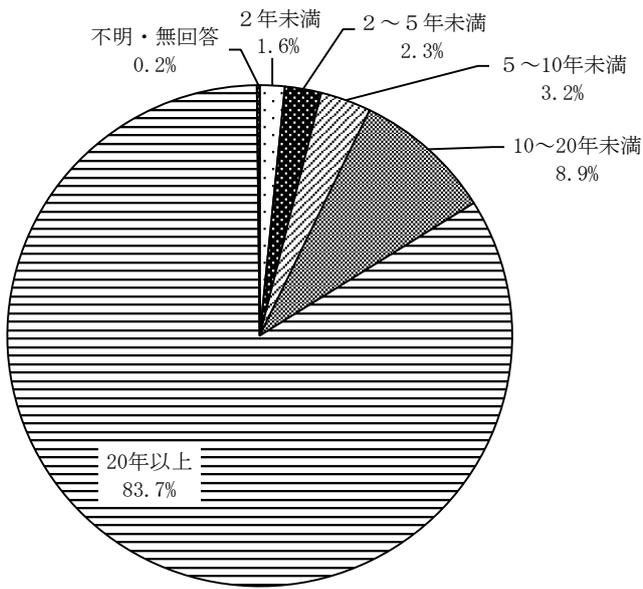
◆職業別



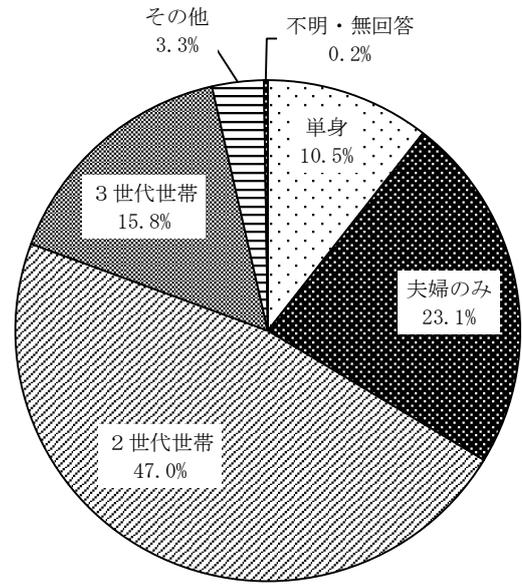
◆地区別



◆居住年数別

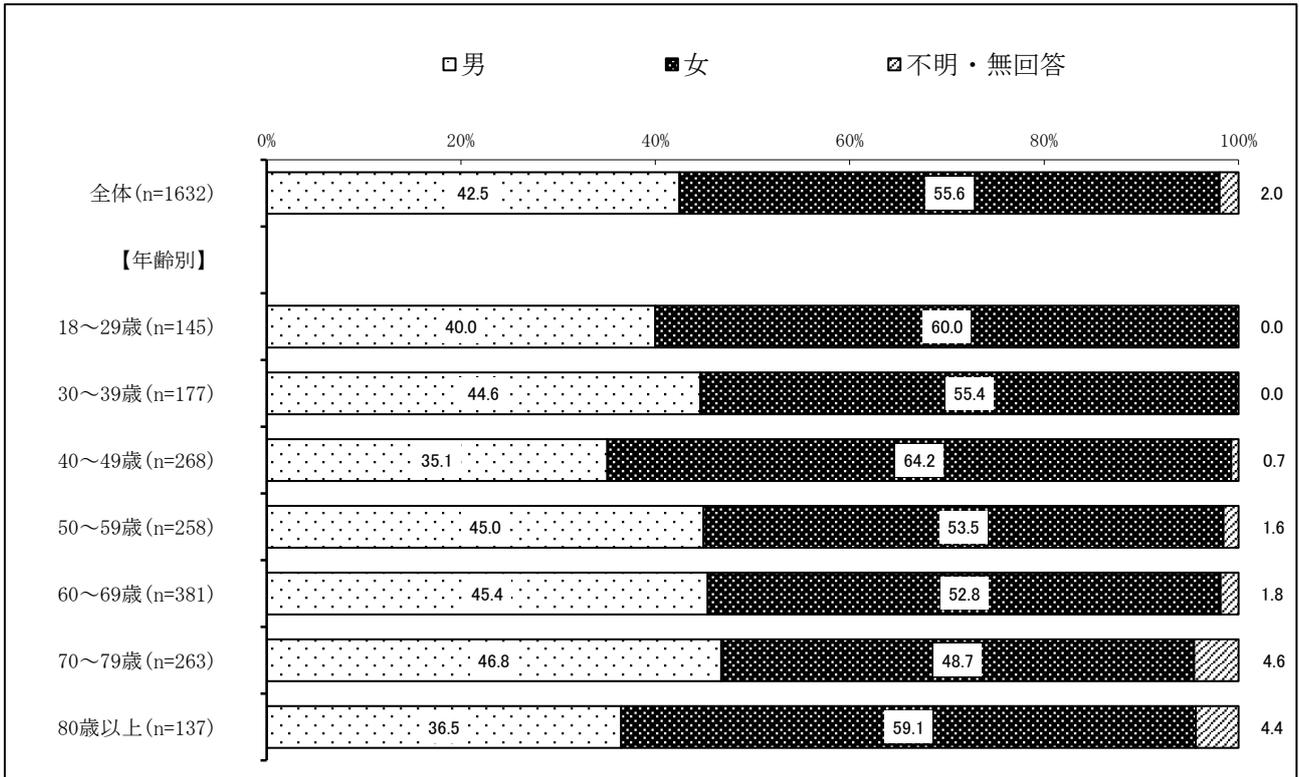


◆世帯構成別

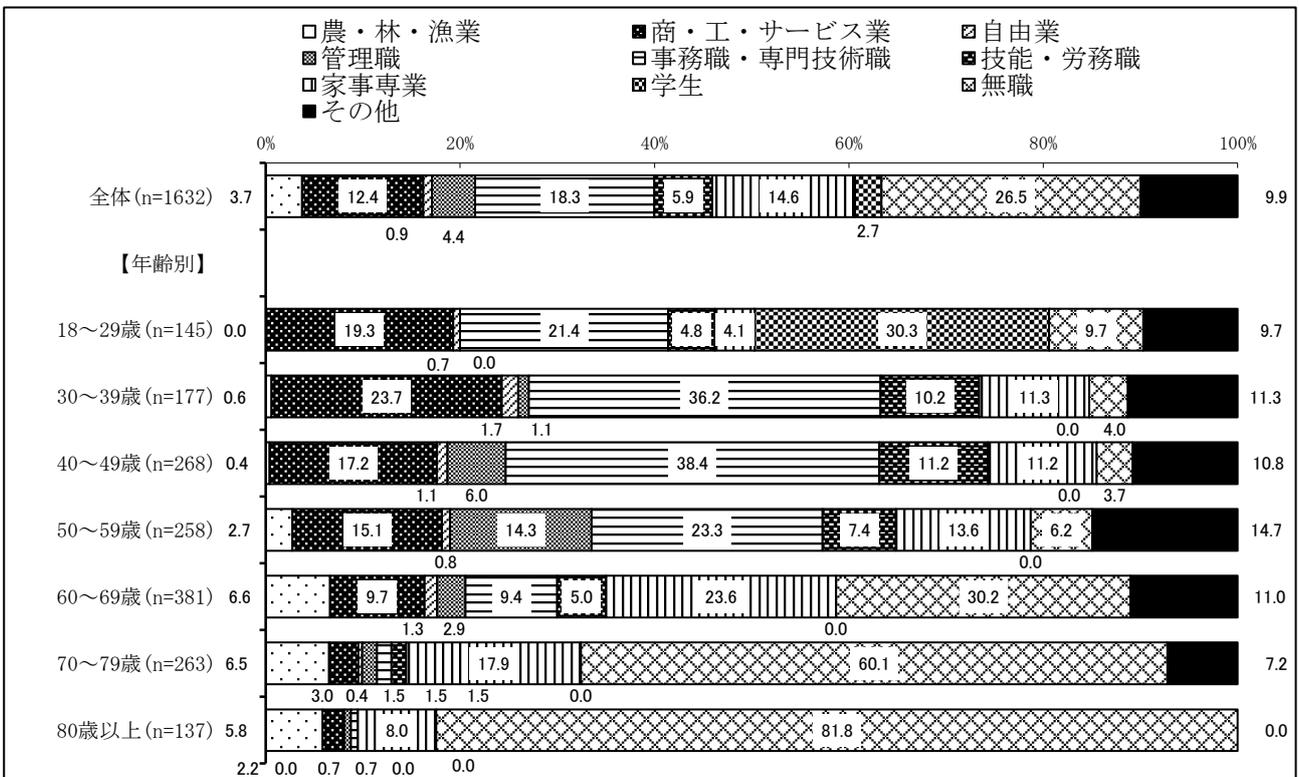


7. 回答者の特性（年齢別集計）

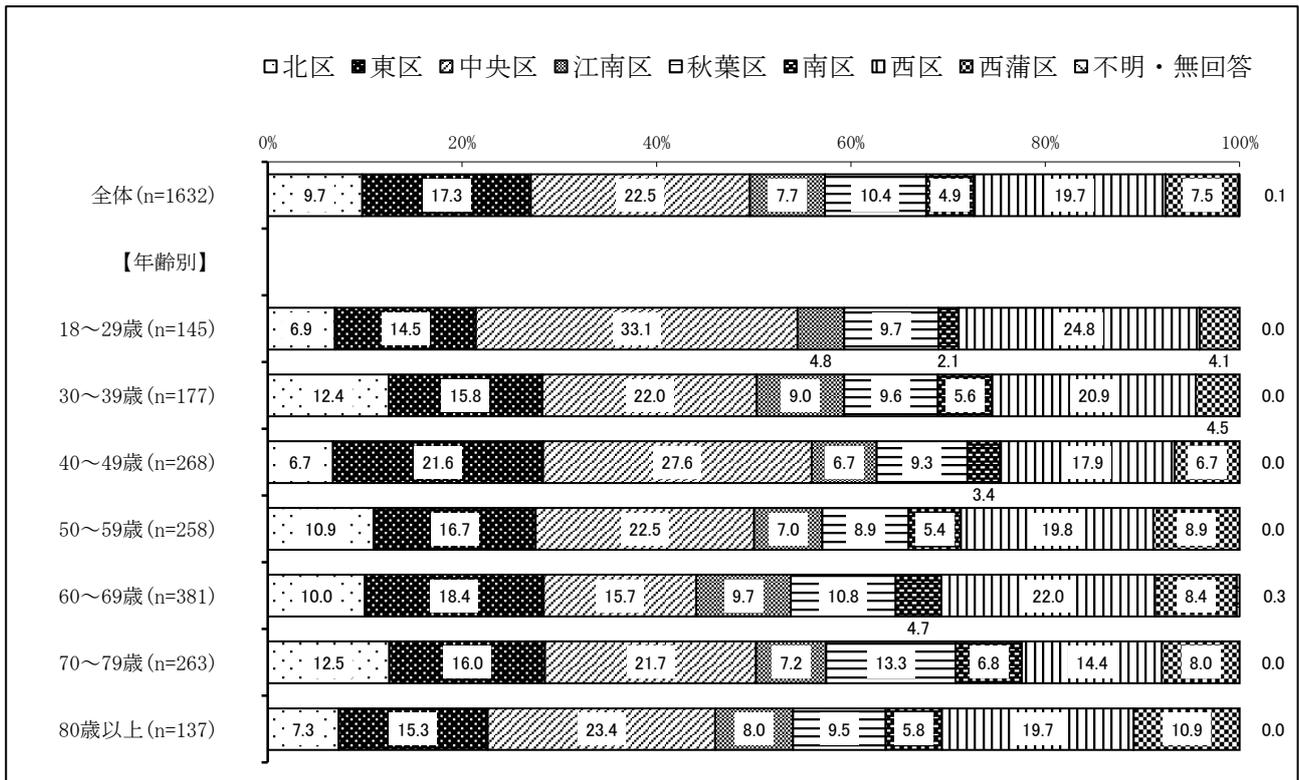
【性別】



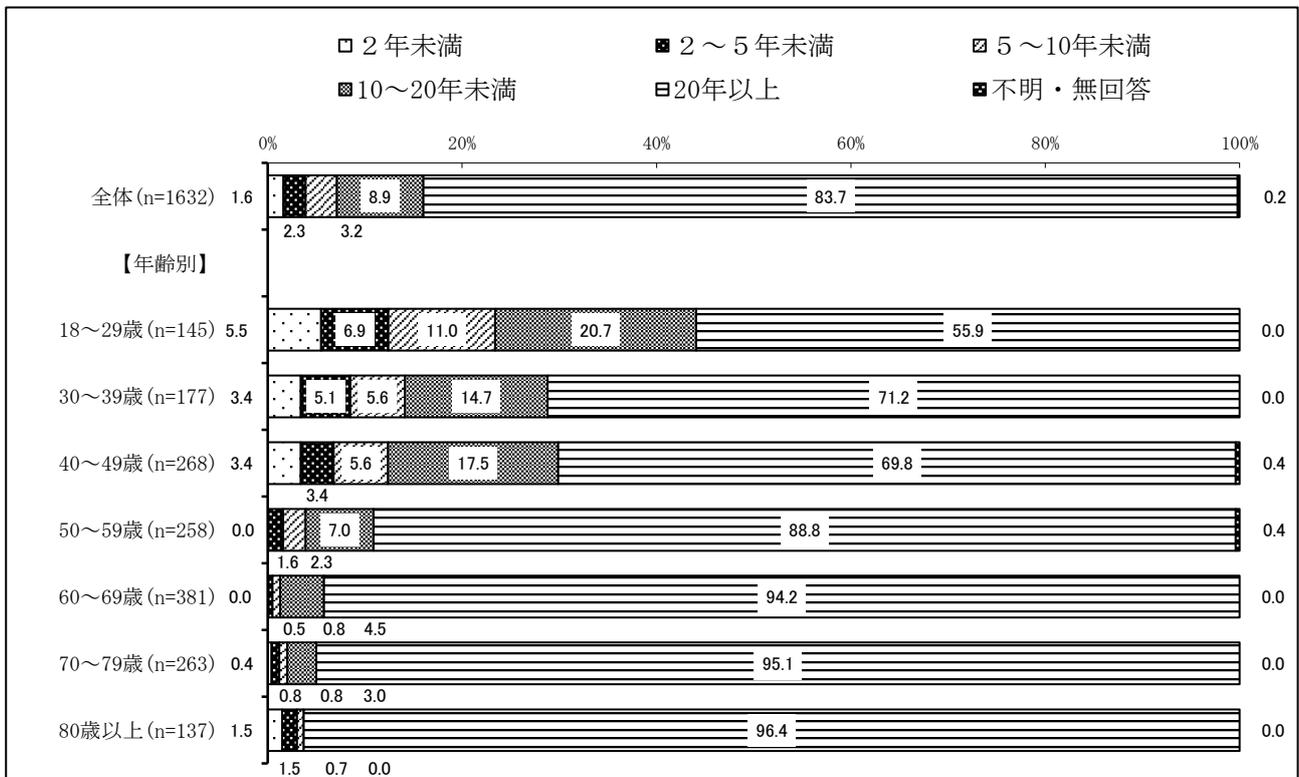
【職業別】



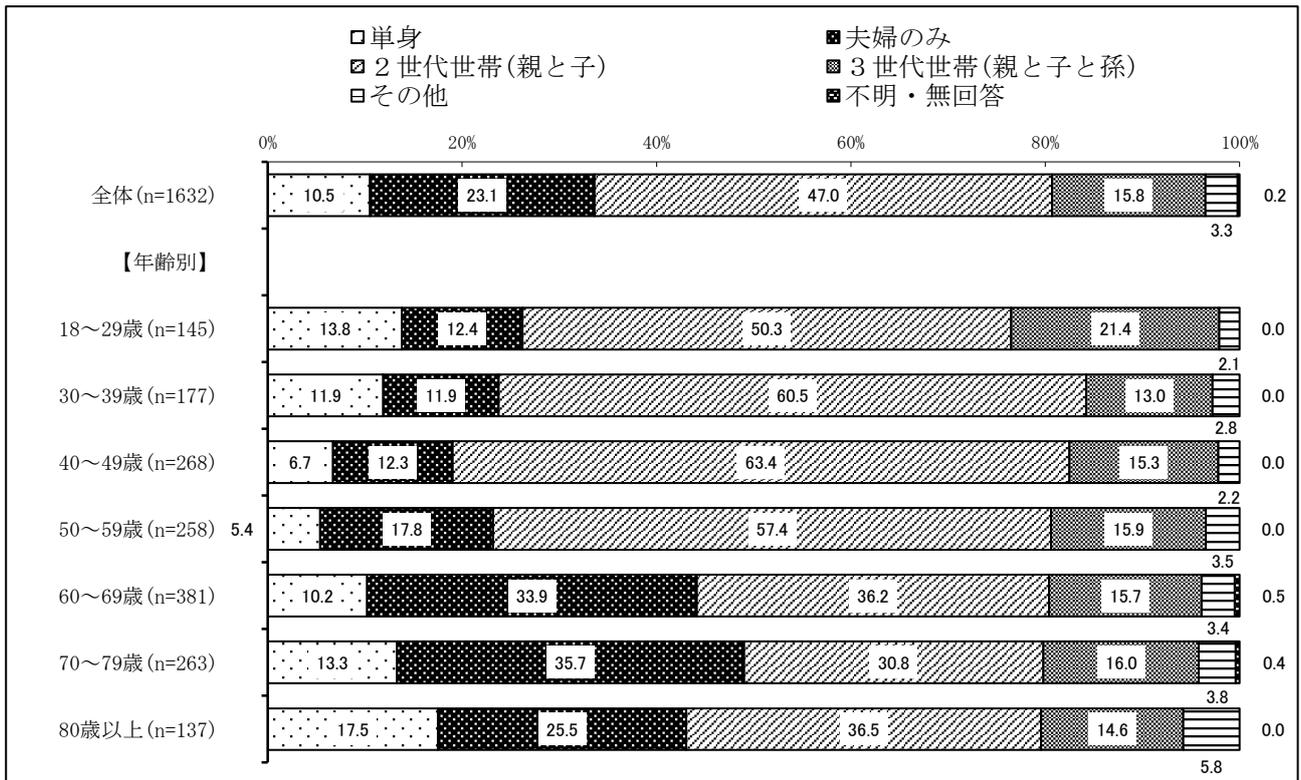
【地区別】



【居住年数別】



【世帯構成別】

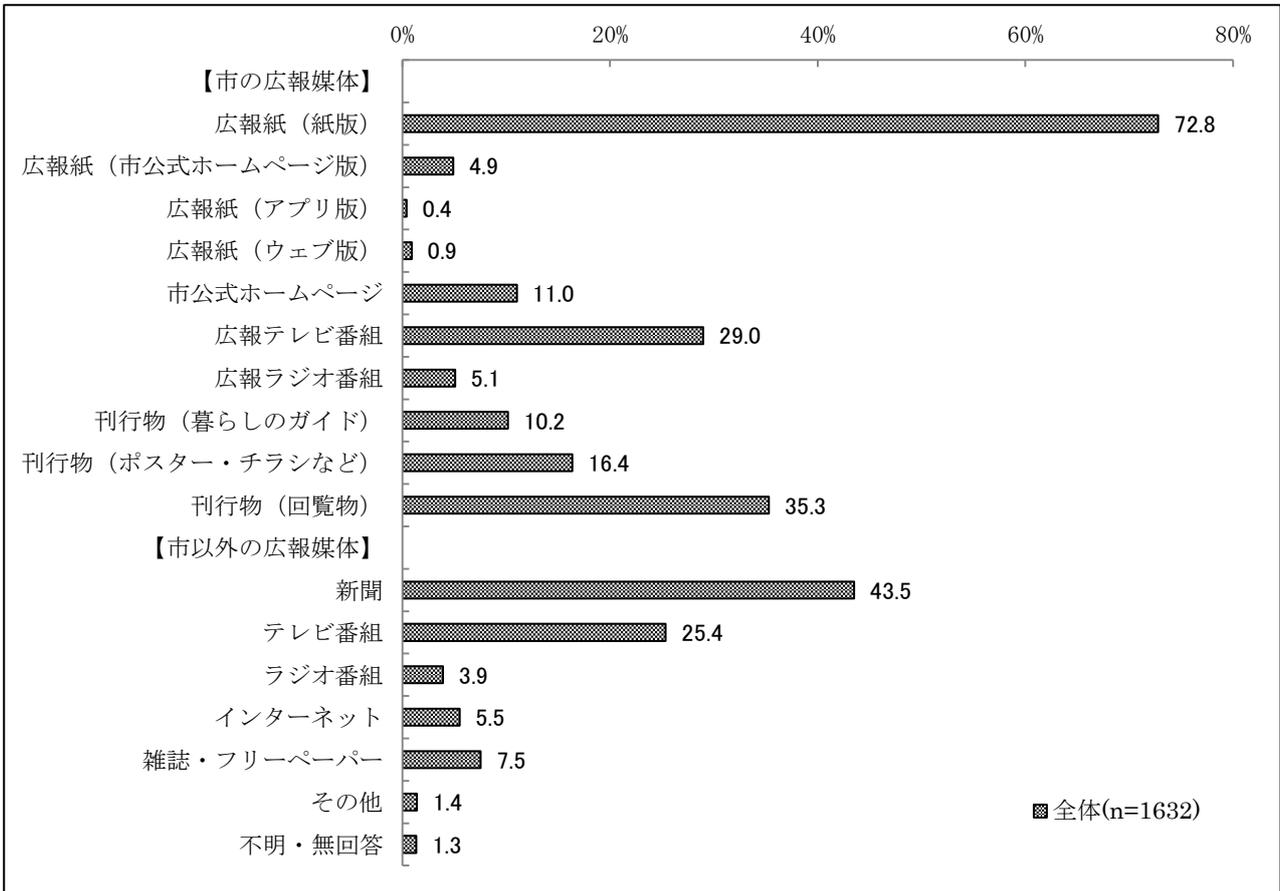


II 調查結果

1. 市政情報の入手方法

(1) 市政情報の入手先

問7 普段、市や区の情報(事業や行事、お知らせなど)をどのようなものから得ていますか。最大3つまで選び、番号に○をつけてください。



— 市政情報の入手先は「広報紙 (紙版)」が7割強でトップ —

【全体結果】

市政情報の入手先は「広報紙 (紙版)」と答えた割合が7割を超え、他の項目と比べて割合がとても高い。次いで「新聞」(43.5%)、「刊行物 (回覧物)」(35.3%)、「広報テレビ番組」(29.0%)、「テレビ番組」(25.4%)の順に続く。

【属性別結果】 (図 1-1 参照)

①性別

ほとんどの項目で、男女差はほぼない。「雑誌・フリーペーパー」は男性 (5.3%) と比べて女性 (9.5%) でやや高い。

②年齢別

「広報紙 (紙版)」と答えた割合は、50代・60代で高く、8割を超える。20代以下で割合が低く、約4割にとどまった。「新聞」の割合は、70代までは年代が上がるほど割合が高い。「刊行物 (回覧物)」は、50代以上で4割を超えるものの、40代以下では2割前後にとどまっている。

図 1-1 市政情報の入手先（性別/年齢別） 1/3

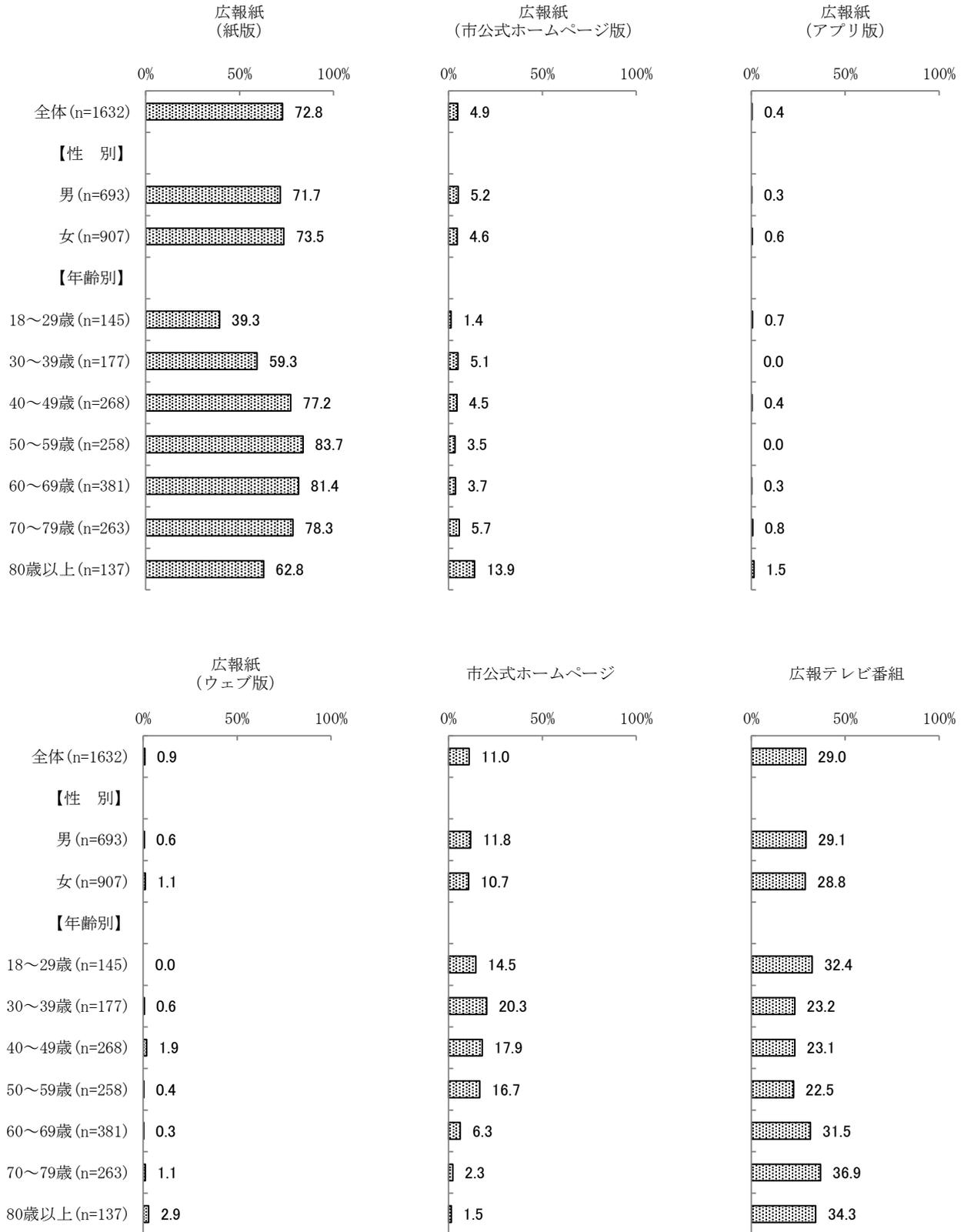


図 1-1 市政情報の入手先（性別/年齢別） 2/3

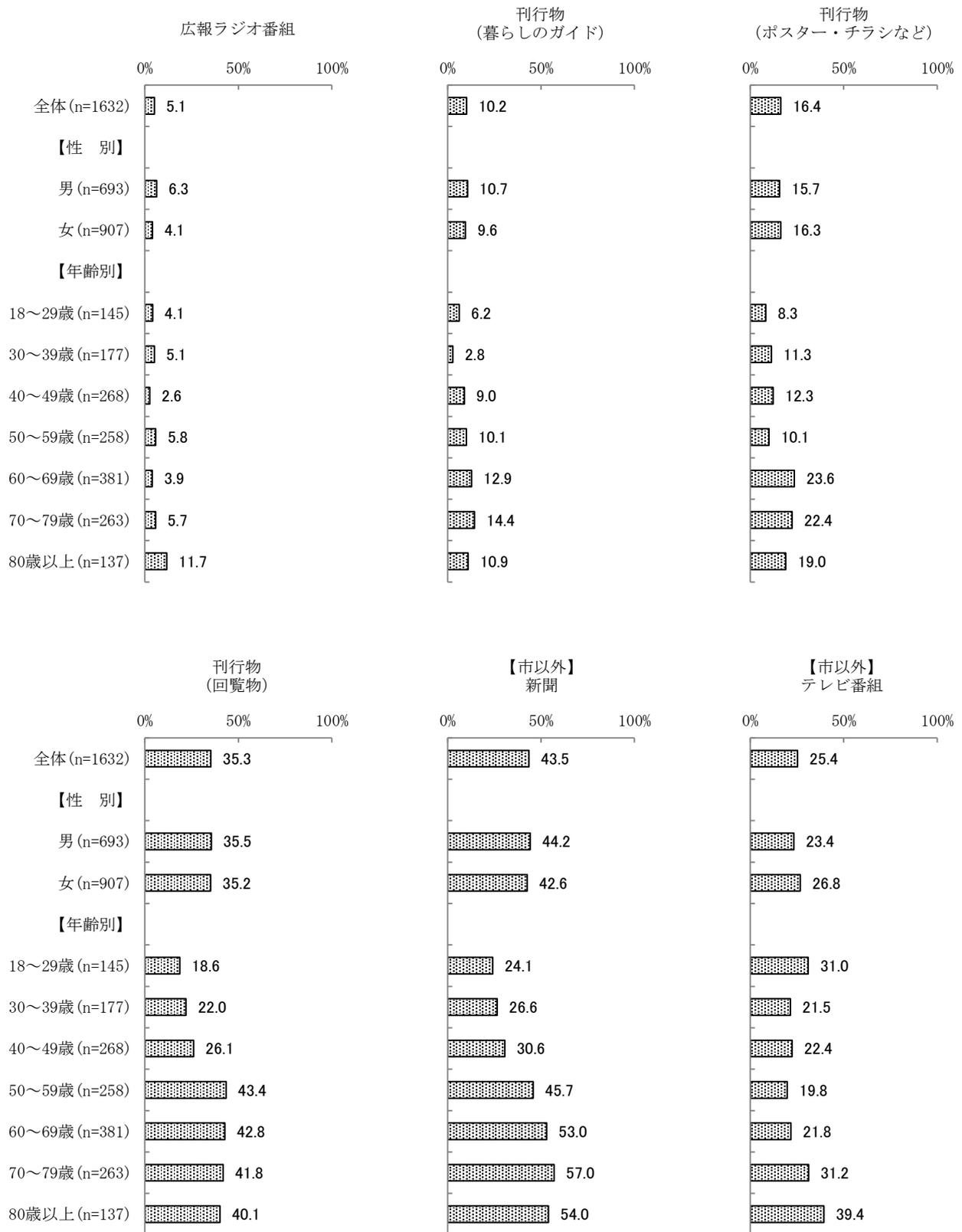
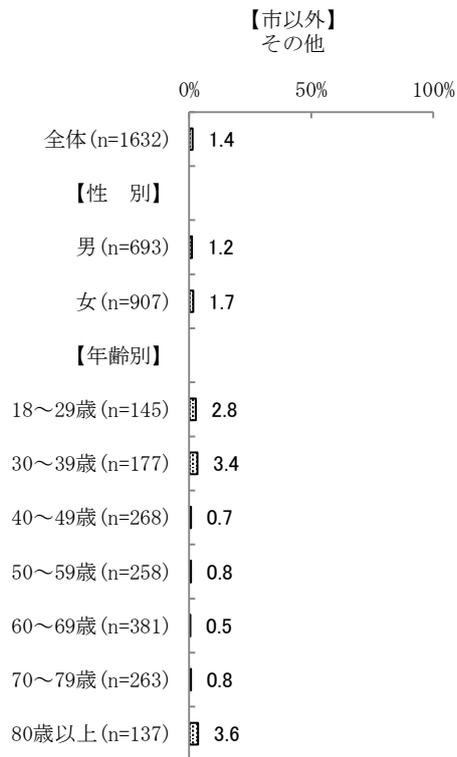
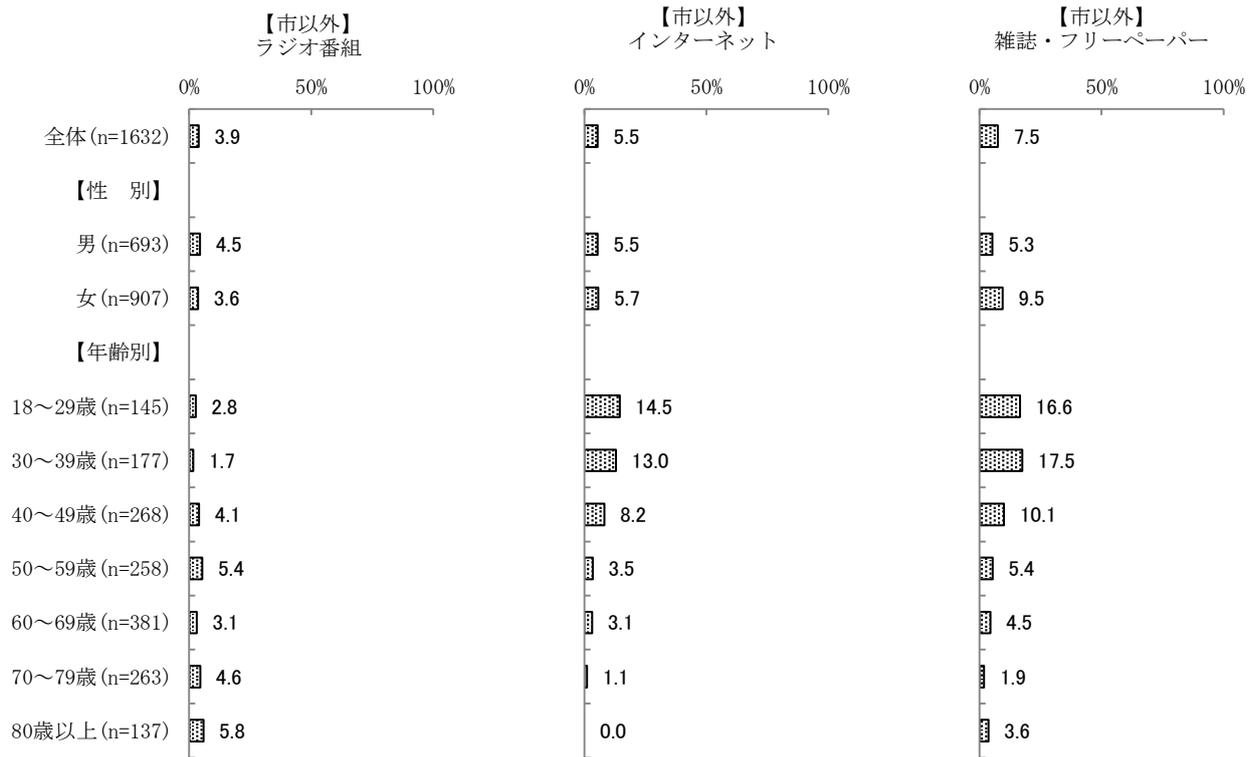


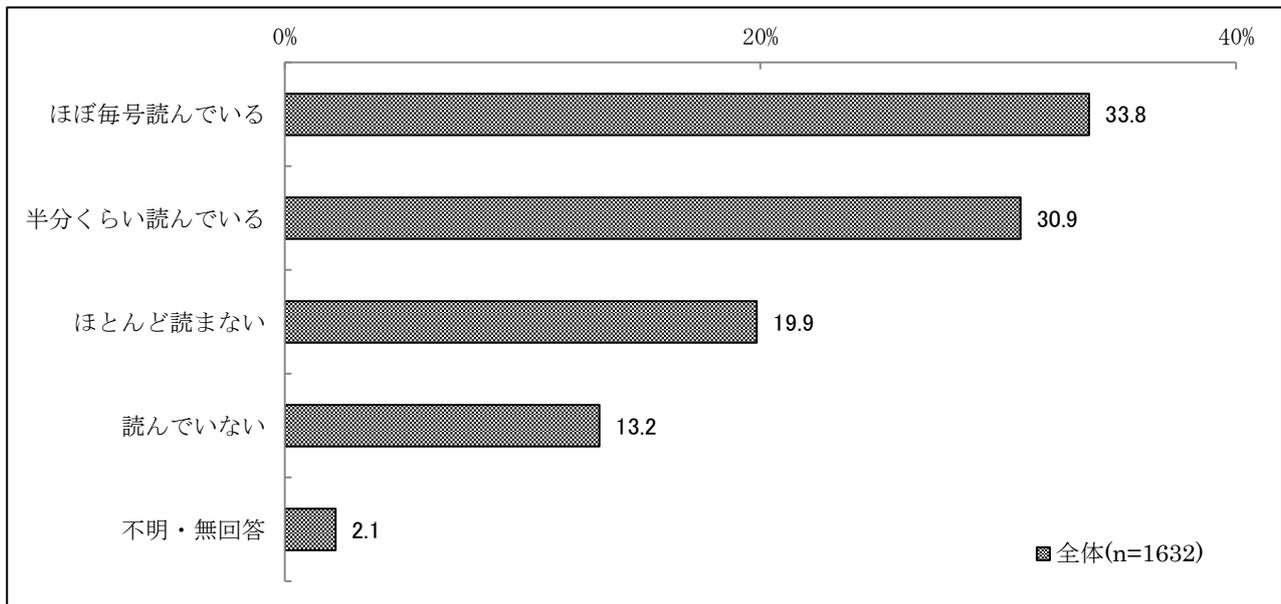
図 1-1 市政情報の入手先（性別/年齢別） 3/3



2. 「市報にいがた」・「区役所だより」について

(1) 「市報にいがた」・「区役所だより」の閲読状況

問8 「市報にいがた」・「区役所だより」を読んでいますか。(○は1つだけ)



— 『読んでいる (ほぼ毎号読んでいる+半分くらい読んでいる)』が6割強 —

【全体結果】

「ほぼ毎号読んでいる」(33.8%)と答えた割合が最も高い。「ほぼ毎号読んでいる」と「半分くらい読んでいる」(30.9%)を合わせた『読んでいる』と答えた割合は、6割を超えた。一方、「ほとんど読まない」(19.9%)、「読んでいない」(13.2%)を合わせた『読んでいない』は、3割を超えた。

【属性別結果】(図2-1参照)

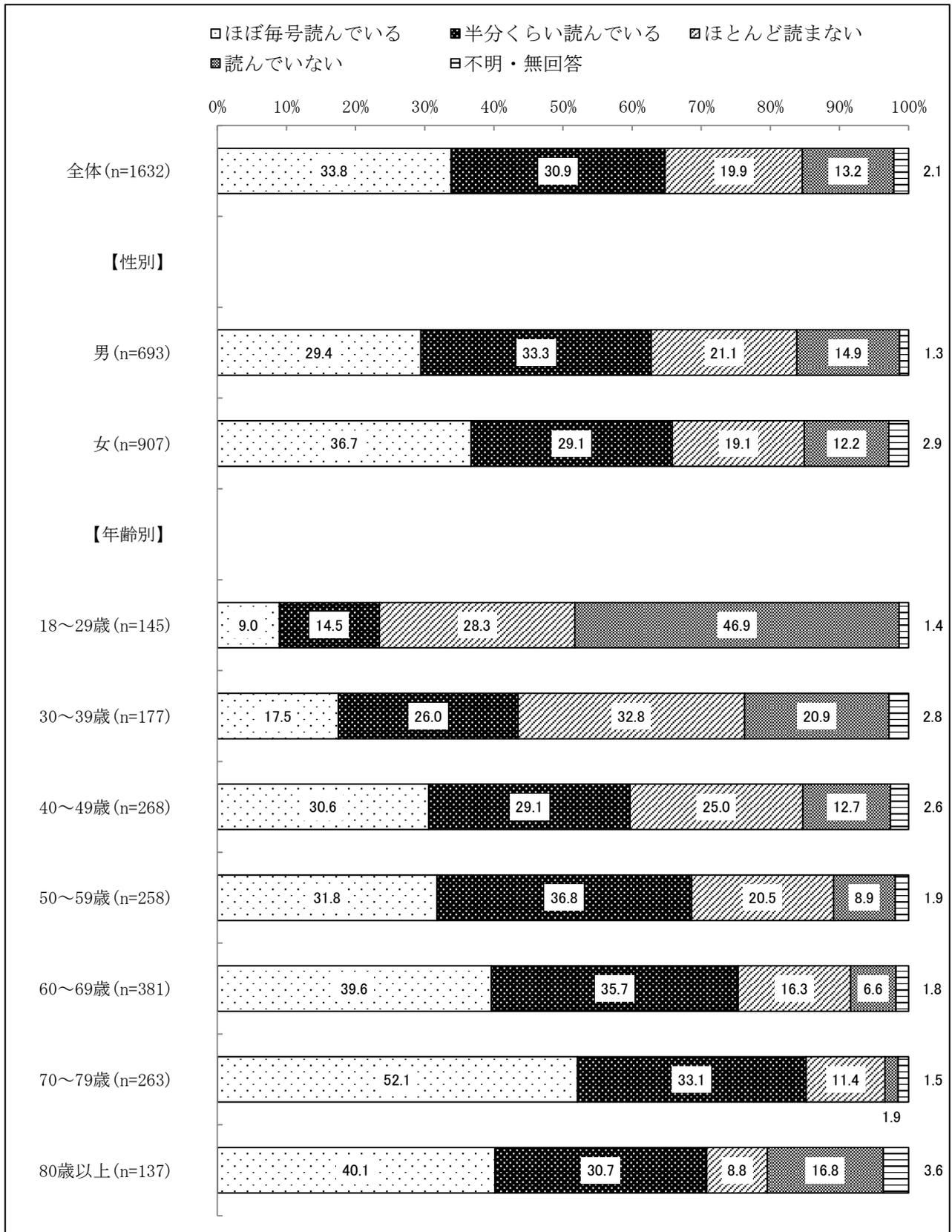
①性別

「ほぼ毎号読んでいる」の割合は、男性(29.4%)と比べて女性(36.7%)で高い

②年齢別

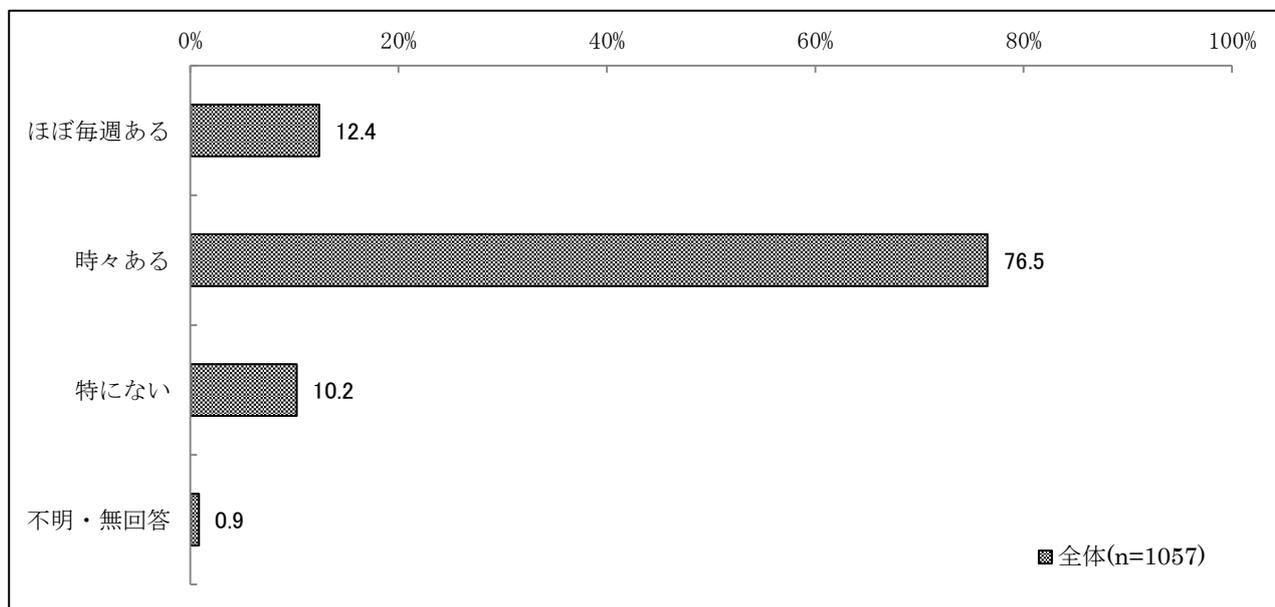
「ほぼ毎号読んでいる」の割合は、70代をピークに年代が上がるほど、割合が高い。80歳以上では60代と同様に約4割にとどまった。30代以下では、『読んでいる』と答えた割合より、『読んでいない』と答えた割合の方が高い。

図 2-1 「市報にいがた」・「区役所だより」の閲読状況（性別/年齢別）



(2) 「市報にいがた」・「区役所だより」が役立つ頻度

問9 (問8で「ほぼ毎号読んでいる」、「半分くらい読んでいる」を選んだ方のみ)「市報にいがた」・「区役所だより」を読んでいて、良かったこと・役に立ったことはありますか。(○は1つだけ)



— 役立つ頻度は7割以上が「時々ある」と回答 —

【全体結果】

役立つ頻度では、「時々ある」が7割を超え、割合が最も高い。「ほぼ毎週ある」(12.4%)、「時々ある」(76.5%)を合わせた『ある』と答えた割合は、約9割となった。

【属性別結果】(図2-2参照)

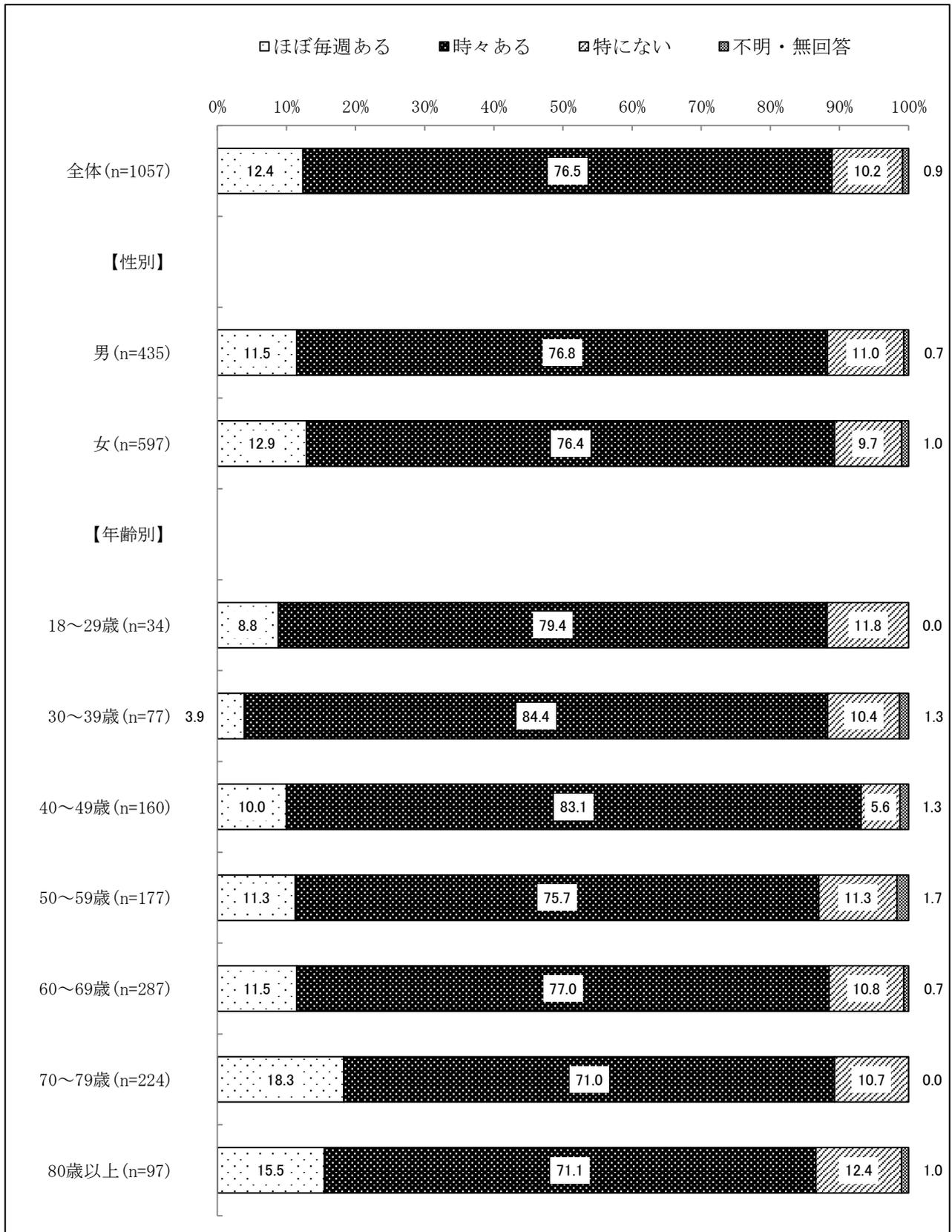
①性別

特に差は見られない。

②年齢別

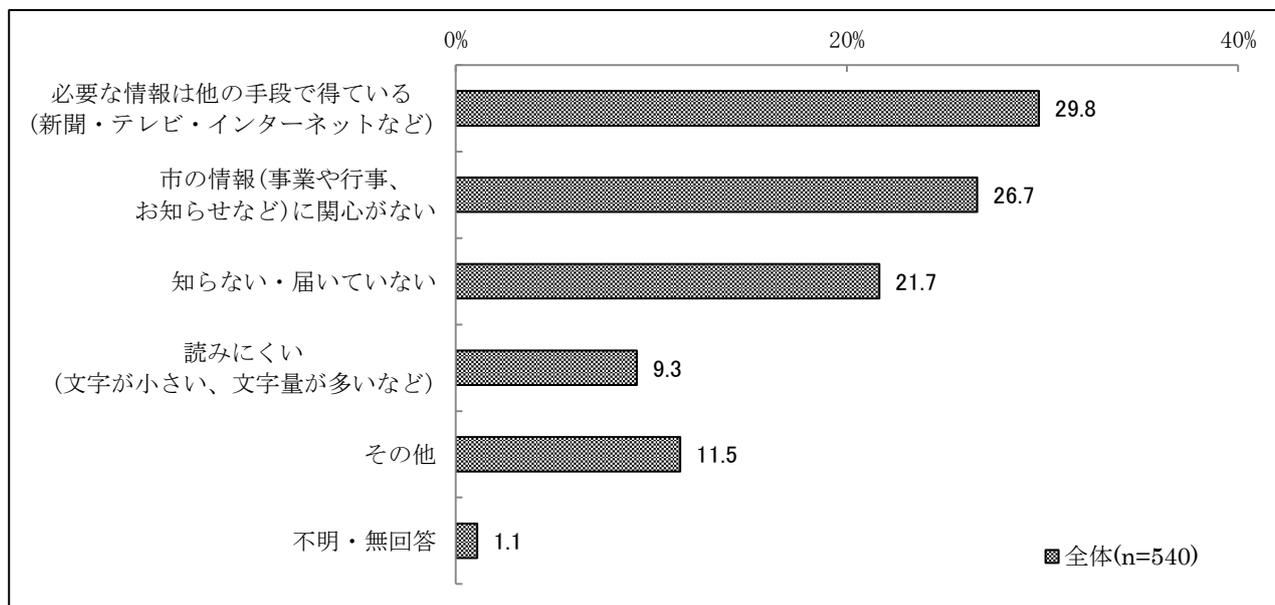
「ほぼ毎週ある」と答えた割合は、70代(18.3%)で最も高く、30代(3.9%)で最も低い。40代では、「特にない」と答えた割合が5%程度にとどまっている。

図 2-2 「市報にいがた」・「区役所だより」が役立つ頻度（性別/年齢別）



(3) 「市報にいがた」・「区役所だより」を読まない理由

問10 (問8で「ほとんど読まない」、「読んでいない」を選んだ方のみ)「市報にいがた」・「区役所だより」をほとんど読まない、または読んでいない理由は何ですか。(〇は1つだけ)



— 読まない理由は「必要な情報は他の手段で得ている」が約3割でトップ —

【全体結果】

「市報にいがた」・「区役所だより」を読まない理由では、「必要な情報は他の手段で得ている」と答えた割合が約3割で、最も高い。次いで「市の情報に関心がない」(26.7%)、「知らない・届いていない」(21.7%)の順に続く。

【属性別結果】(図2-3参照)

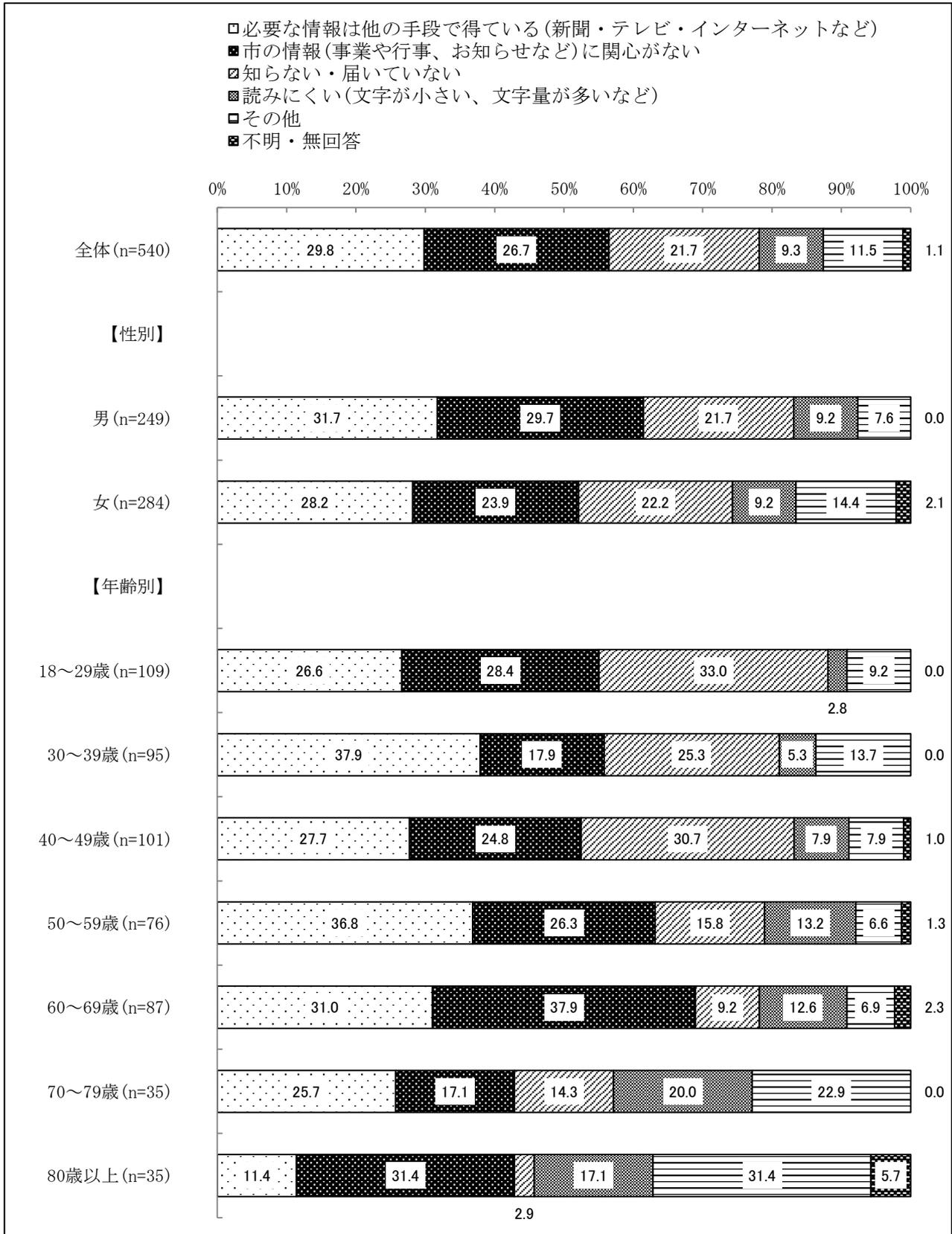
①性別

「必要な情報は他の手段で得ている」、「市の情報に関心がない」と答えた割合は、女性(各28.2%、23.9%)と比べて男性(各31.7%、29.7%)で高い。

②年齢別

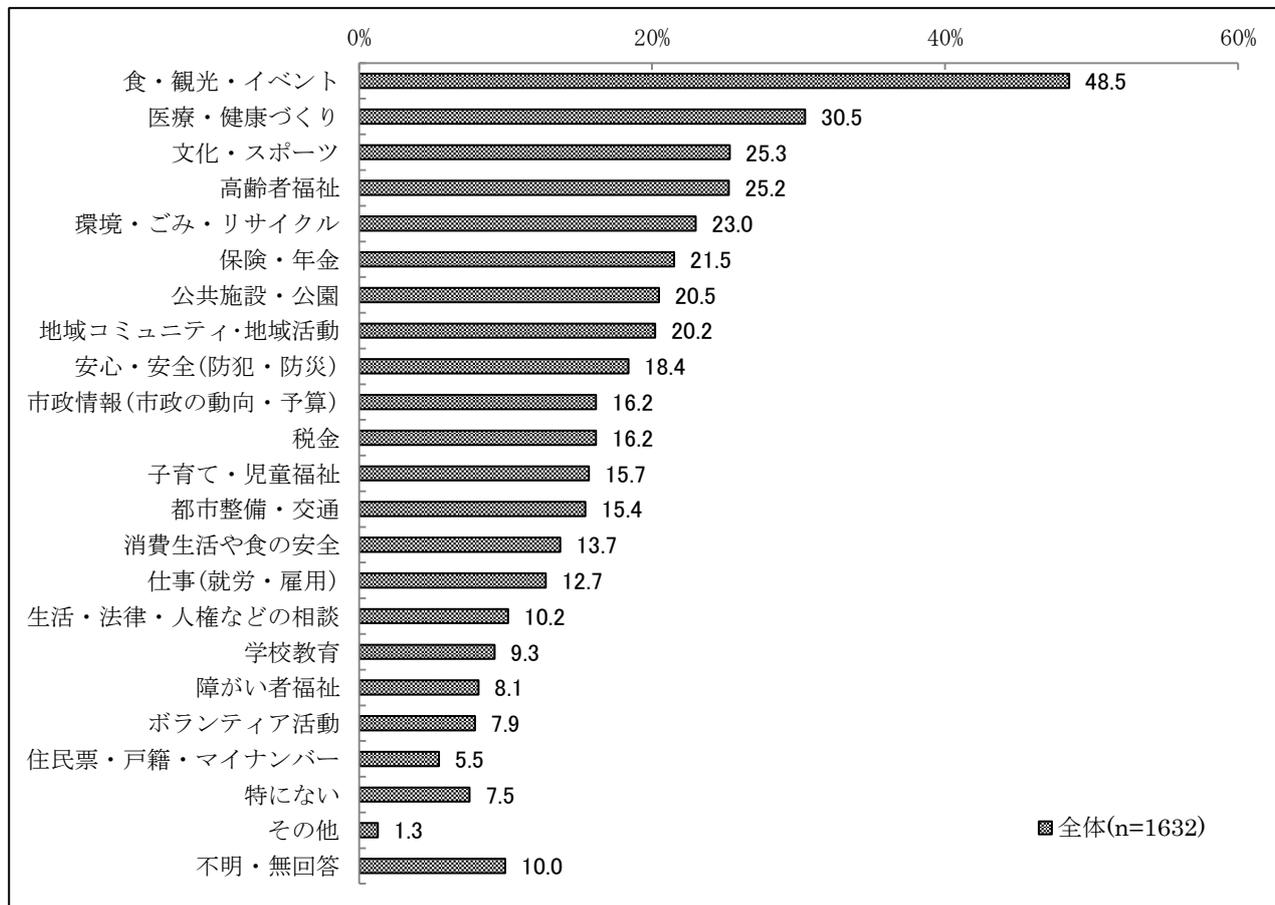
「必要な情報は他の手段で得ている」と答えた割合は、30代(37.9%)・50代(36.8%)で、他の年代と比べて高い。60代・80歳以上では、「市の情報に関心がない」(各37.9%、31.4%)と答えた割合が最も高く、20代以下・40代では、「知らない・届いていない」(各33.0%、30.7%)と答えた割合が最も高い。

図 2-3 「市報にいがた」・「区役所だより」を読まない理由（性別/年齢別）



(4) 「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ

問11 「市報にいがた」・「区役所だより」での広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。「市報にいがた」・「区役所だより」をほとんど読まない、または読んでいない方は、どのテーマが載っていたら読んでみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



— 約半数が「食・観光・イベント」情報の充実を要望 —

【全体結果】

「食・観光・イベント」(48.5%)が約5割で、割合が最も高い。他の項目と比べて突出している。次いで「医療・健康づくり」(30.5%)、「文化・スポーツ」(25.3%)、「高齢者福祉」(25.2%)、「環境・ごみ・リサイクル」(23.0%)の順に続く。

【属性別結果】(図2-4参照)

①性別

「食・観光・イベント」、「医療・健康づくり」は男性(各43.7%、27.0%)より女性(各52.7%、33.2%)で割合が高い。「文化・スポーツ」は女性(23.5%)より男性(28.4%)で割合が高い

②年齢別

「食・観光・イベント」、「文化・スポーツ」は概ね年代が上がるほど割合が低い傾向がみられ、「医療・健康づくり」、「高齢者福祉」は概ね年代が上がるほど割合が高い傾向がみられる。30代では「食・観光・イベント」(72.3%)に次いで「子育て・児童福祉」(47.5%)の割合が高い。

図 2-4 「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 1/4

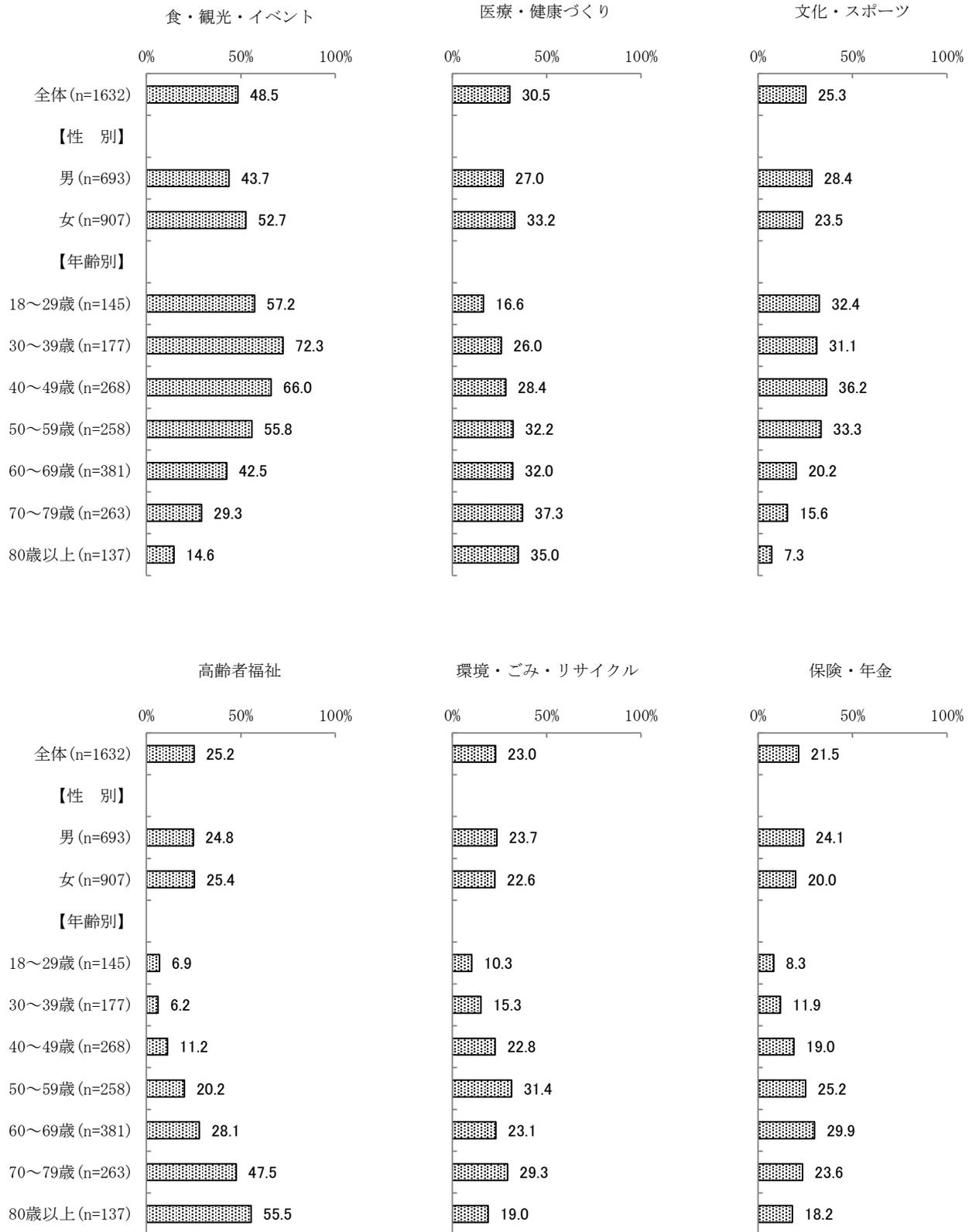


図 2-4 「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 2/4

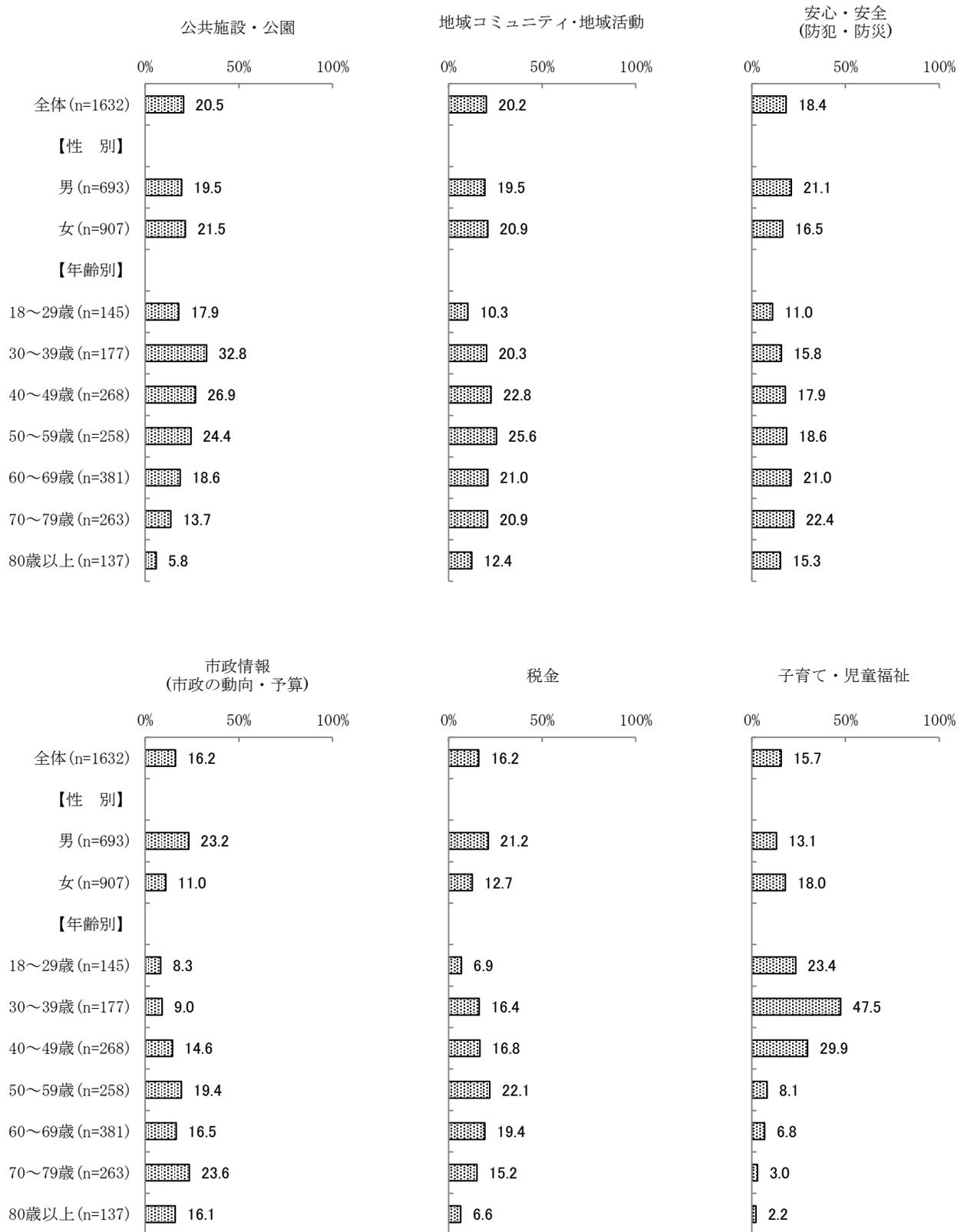


図 2-4 「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 3/4

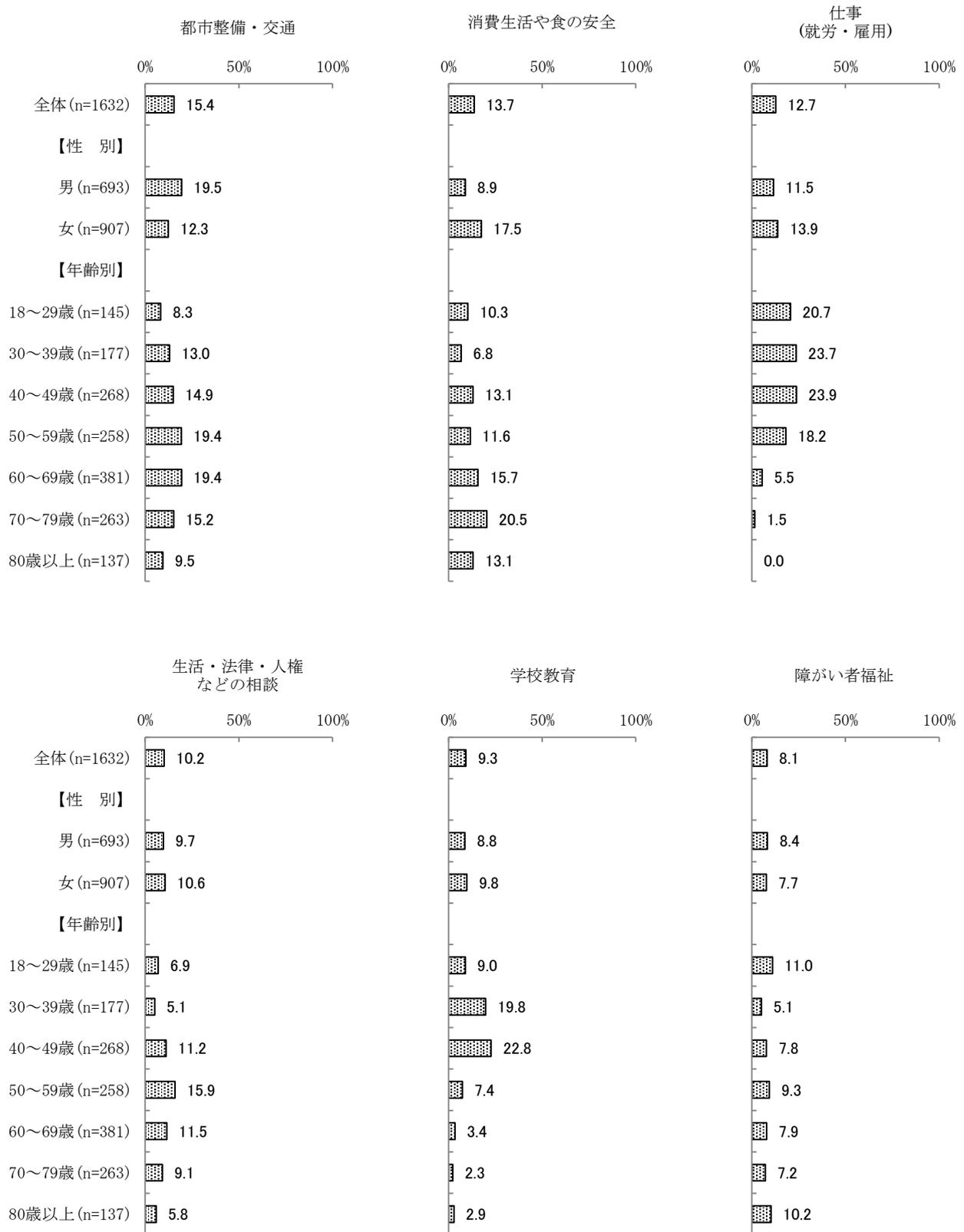
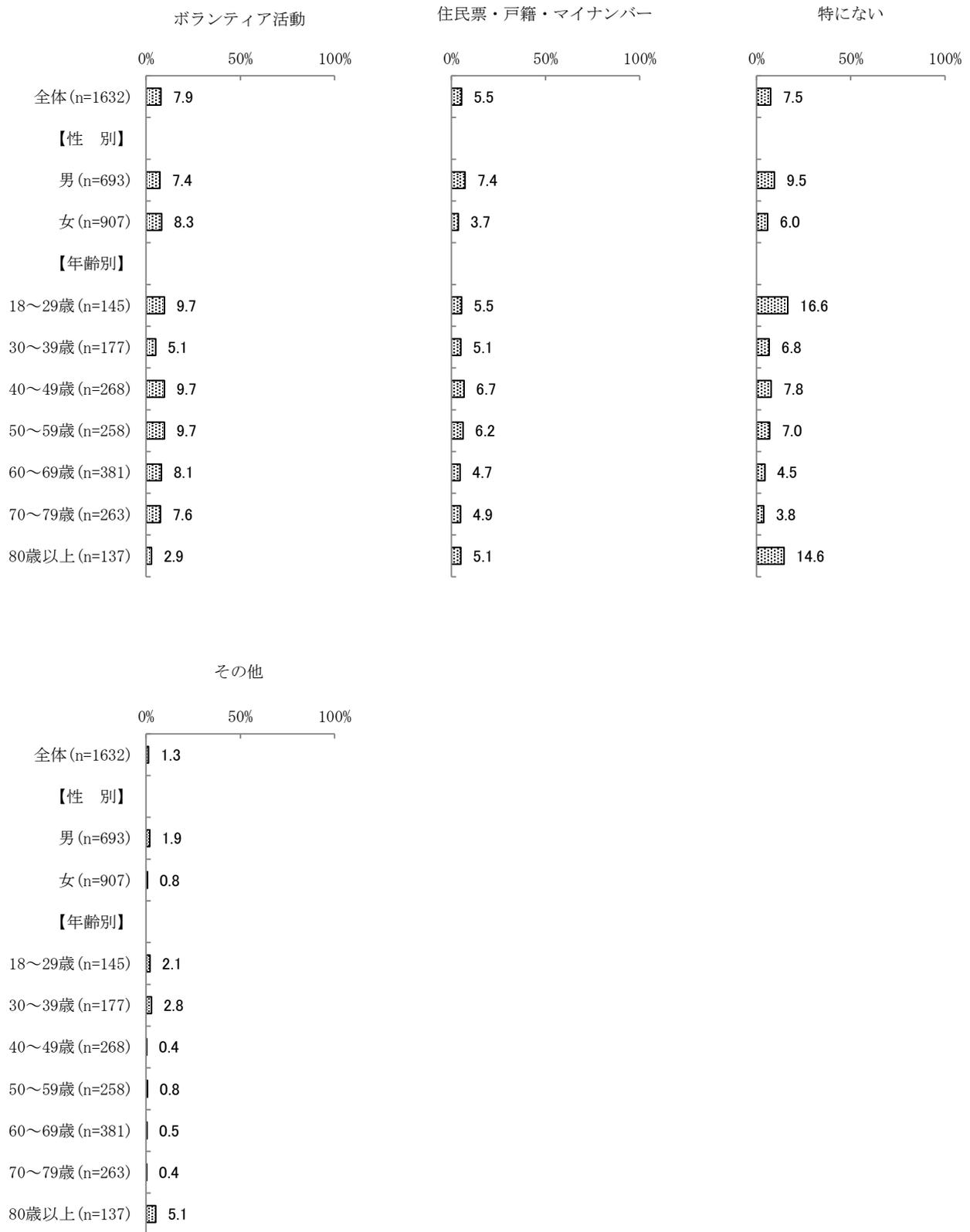


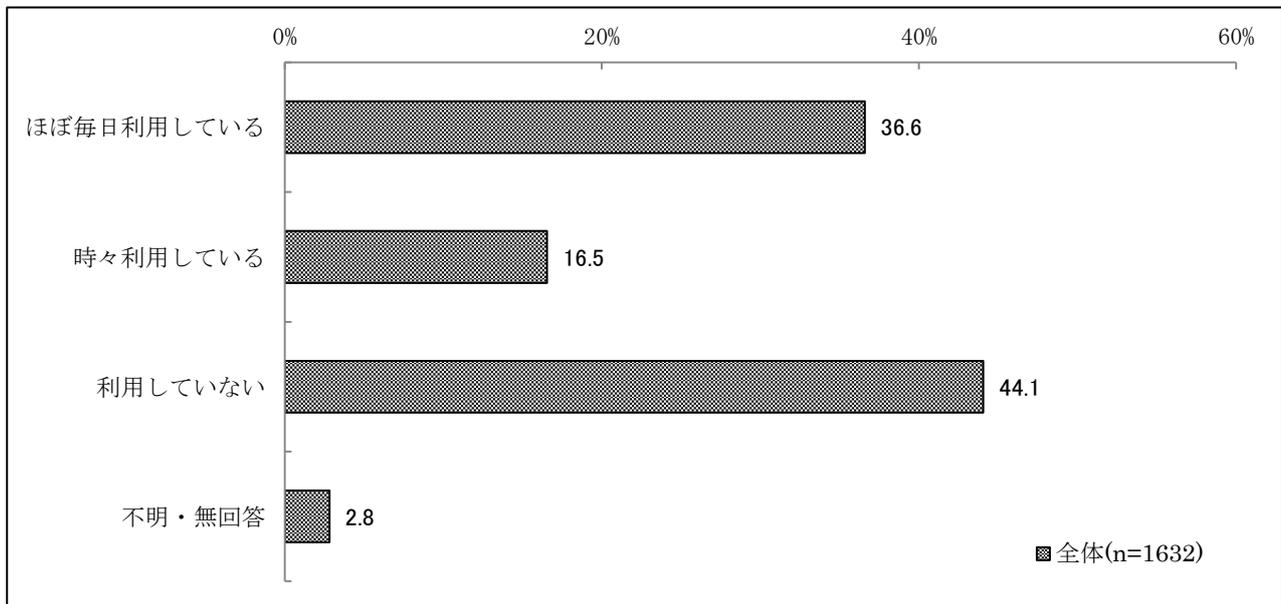
図 2-4 「市報にいがた」・「区役所だより」で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 4/4



3. 市公式ホームページについて

(1) インターネットの利用状況

問12 普段、インターネットをどのくらい利用していますか。(○は1つだけ)



— 『利用している (ほぼ毎日利用している+時々利用している)』が半数以上 —

【全体結果】

「ほぼ毎日利用している」(36.6%)、「時々利用している」(16.5%)を合わせた『利用している』と回答した割合は5割を超えた。

【属性別結果】(図3-1参照)

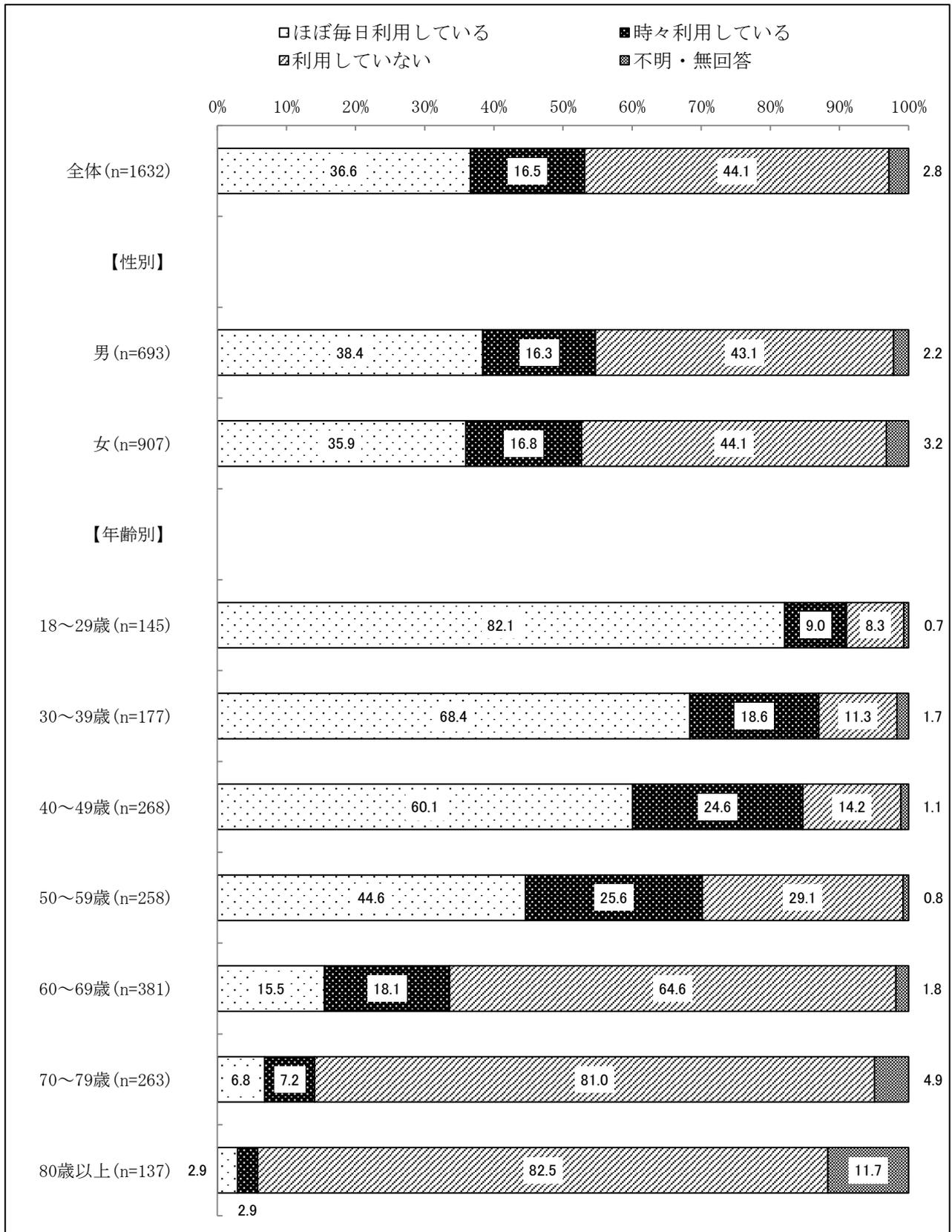
①性別

大きな差は見られないが、「ほぼ毎日利用している」は、女性(35.9%)より男性(38.4)でやや高い。

②年齢別

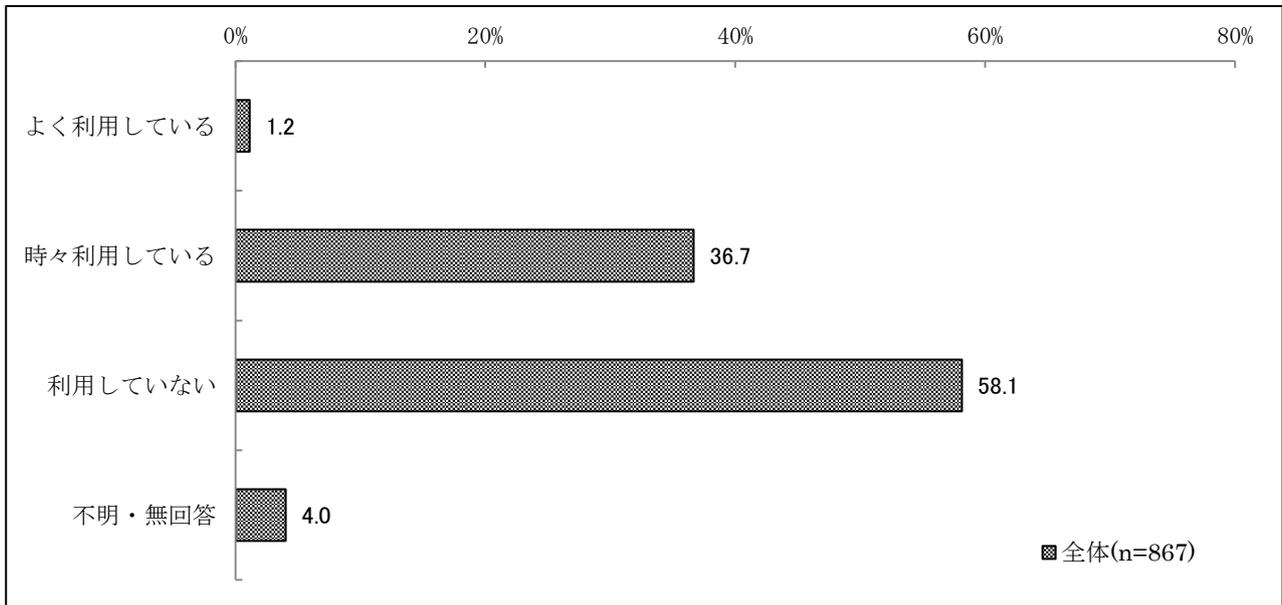
若年層ほど「ほぼ毎日利用している」と回答した割合が高く、高齢層ほど「利用していない」と回答した割合が高い。20代以下では「ほぼ毎日利用している」と答えた割合が8割を超えた。「ほぼ毎日利用している」、「時々利用している」を合わせた『利用している』の割合は、40代以下では8割を超える。

図 3-1 インターネットの利用状況（性別/年齢別）



(2) 市公式ホームページの利用状況

問13 (問12で「ほぼ毎日利用している」、「時々利用している」を選んだ方のみ) 市公式ホームページをどのくらい利用していますか。(○は1つだけ)



— 約6割が市公式ホームページを「利用していない」と回答 —

【全体結果】

「よく利用している」(1.2%)、「時々利用している」(36.7%)を合わせた『利用している』と答えた割合は4割弱。約6割が「利用していない」と回答した。

【属性別結果】(図3-2参照)

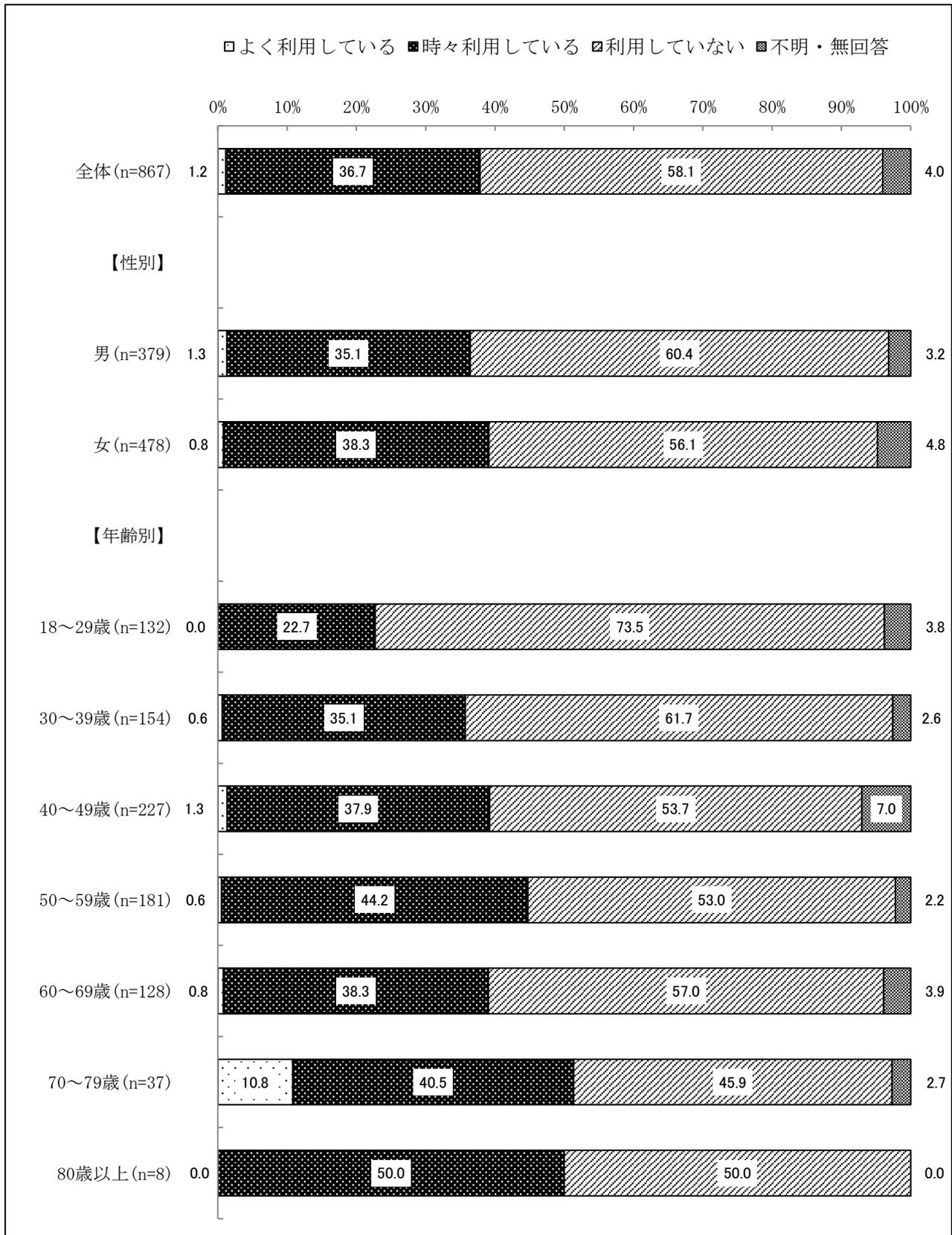
①性別

差はほぼないが、「時々利用している」と答えた割合は、男性(35.1%)と比べて女性(38.3%)で高い。

②年齢別

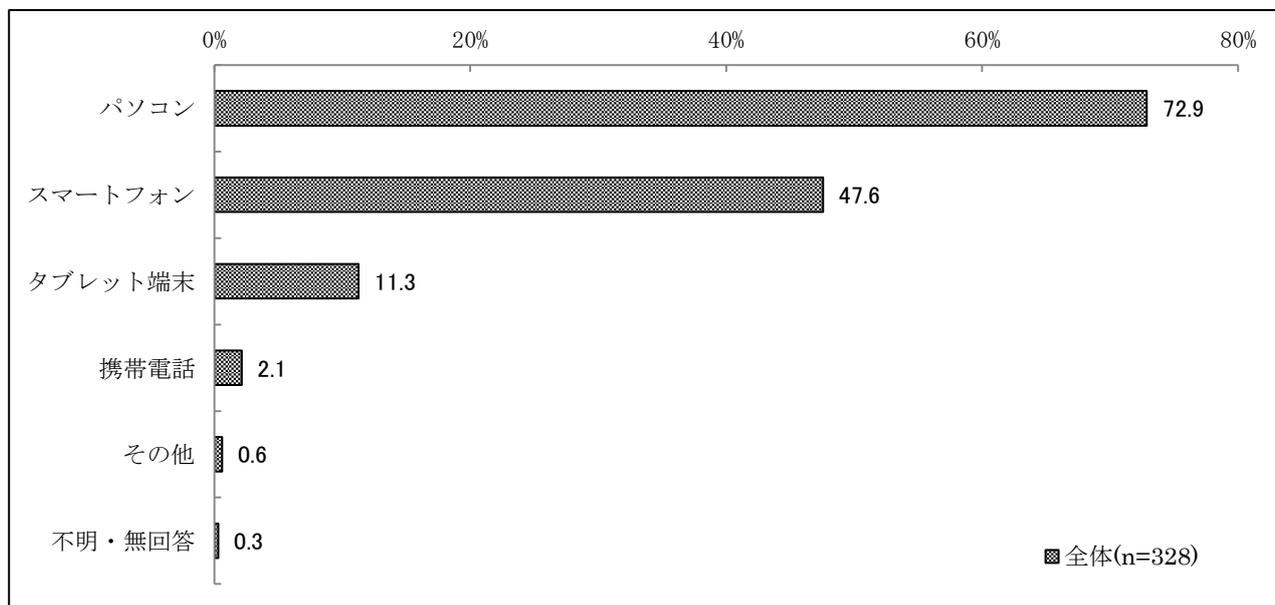
どの年代でも「利用していない」と答えた割合が最も高く、20代以下では7割を超えた。

図 3-2 市公式ホームページの利用状況（性別/年齢別）



(3) 市公式ホームページへのアクセス方法

問 14 (問 13 で「よく利用している」、「時々利用している」を選んだ方のみ) 市公式ホームページには、どのような機器・端末を使ってアクセスしていますか。(〇はいくつでも)



— アクセス方法は「パソコン」が7割強、「スマートフォン」が5割弱 —

【全体結果】

市公式ホームページへのアクセス方法として、「パソコン」(72.9%)と答えた割合が最も高く、7割を超えた。次いで「スマートフォン」(47.6%)で5割弱、「タブレット端末」(11.3%)で約1割の順に続く。

【属性別結果】(図 3-3 参照)

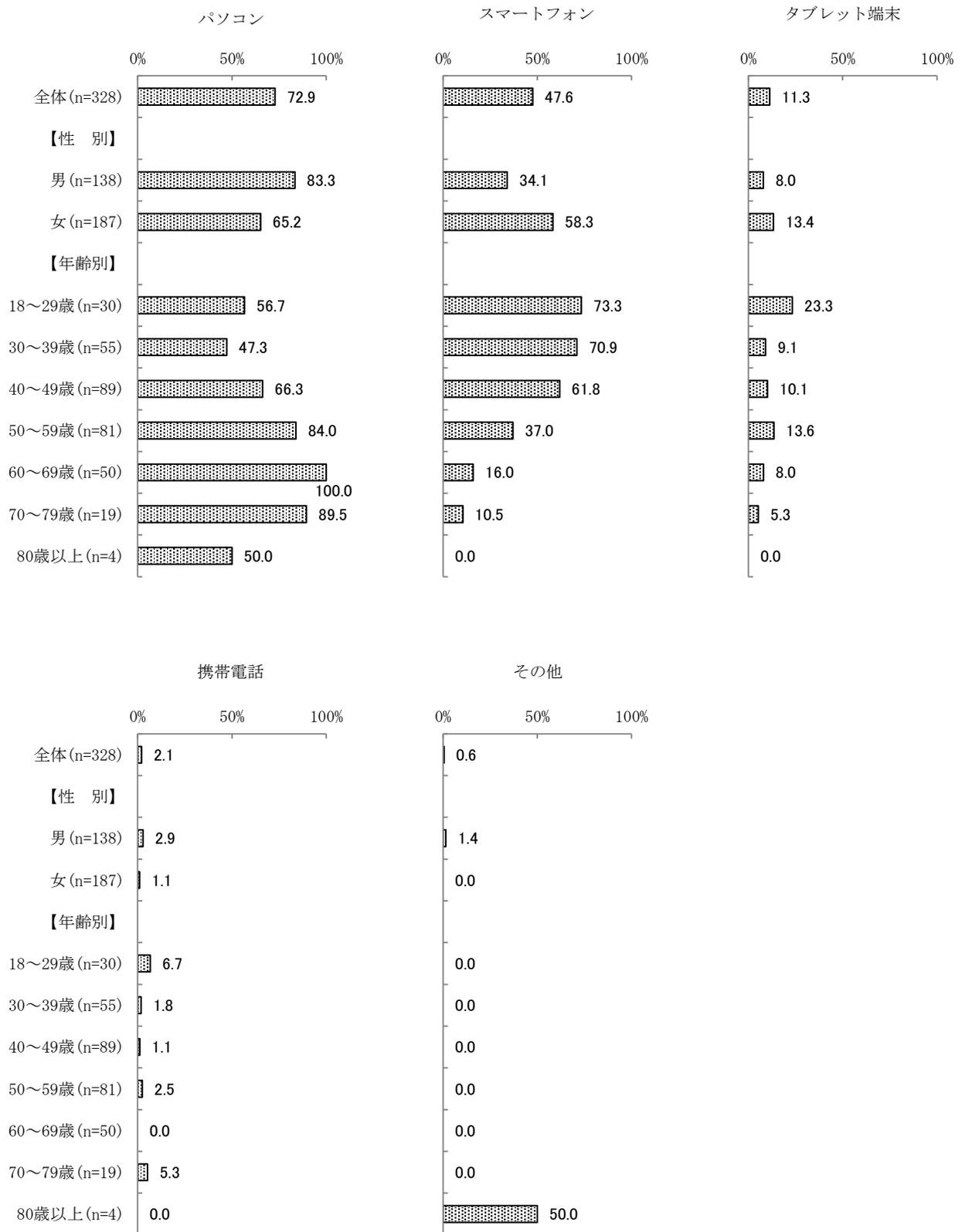
①性別

「パソコン」と答えた割合は、女性(65.2%)と比べて男性(83.3%)で高い。一方、「スマートフォン」では、男性(34.1%)と比べて女性(58.3%)で高い。

②年齢別(※標本数が少ないため、参考程度にとどめる。)

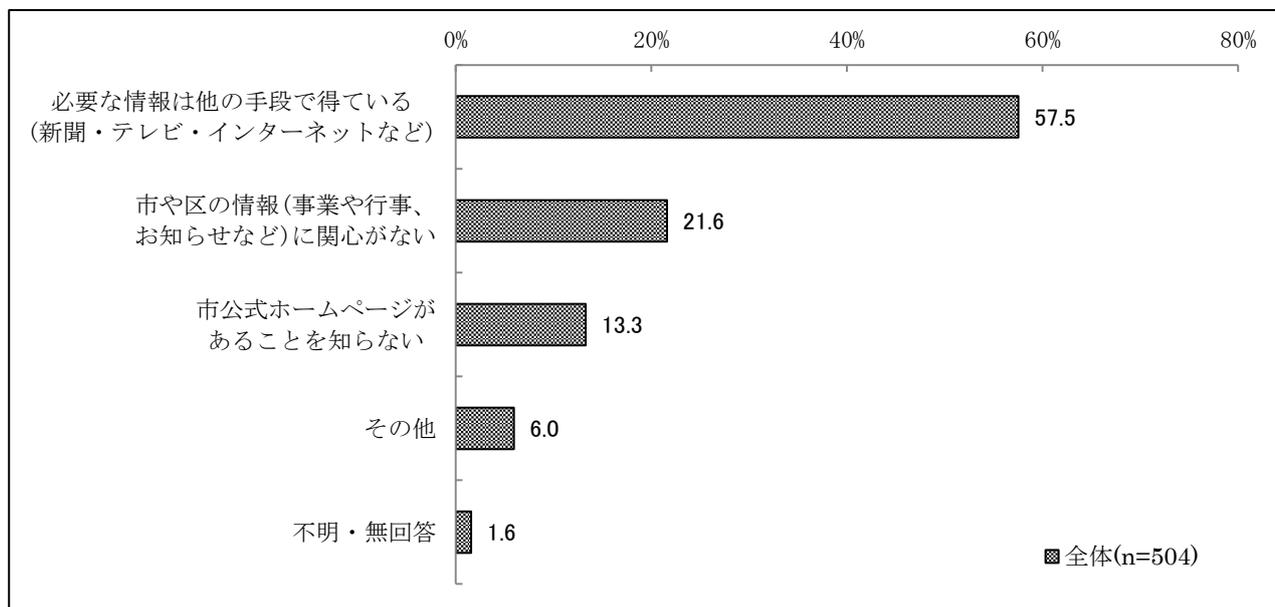
「パソコン」と回答した割合は、40代以下と比べて50代以上で高い。「スマートフォン」は、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 3-3 市公式ホームページへのアクセス方法（性別/年齢別）



(4) 市公式ホームページを利用しない理由

問 15 (問 13 で「利用していない」を選んだ方のみ) 市公式ホームページを利用していない理由は何ですか。(〇は1つだけ)



— 利用しない理由は約6割が「必要な情報は他の手段で得ている」 —

【全体結果】

市公式ホームページを利用しない理由として、「必要な情報は他の手段で得ている」(57.5%)と答えた割合が約6割で最も高い。次いで「市や区の情報に関心がない」(21.6%)、「市公式ホームページがあることを知らない」(13.3%)の順に続く。

【属性別結果】(図3-4参照)

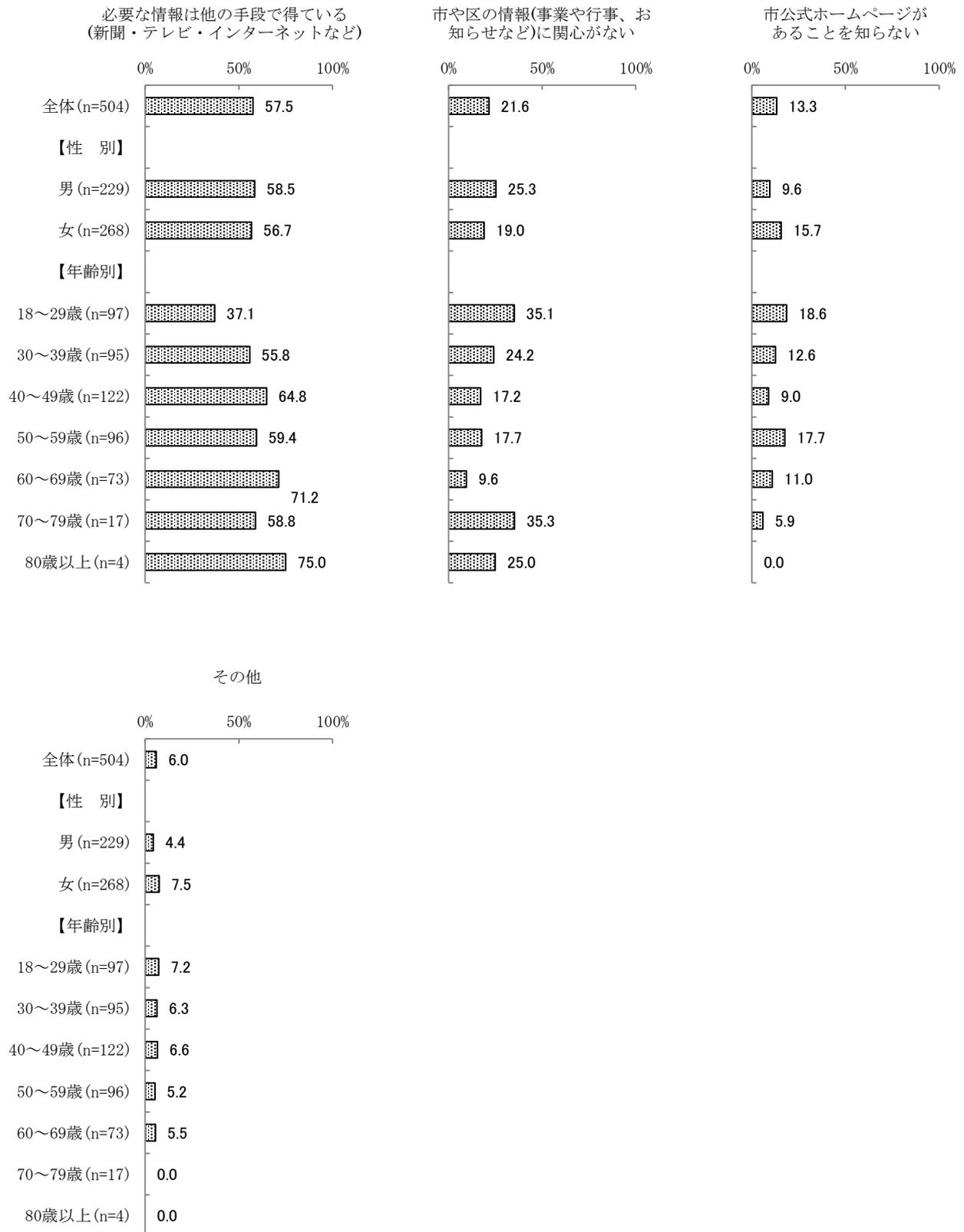
①性別

「市や区の情報に関心がない」は、女性(19.0%)より男性(25.3%)で高く、「市公式ホームページがあることを知らない」は、男性(9.6%)より女性(15.7%)で高い。

②年齢別(※標本数が少ないため、参考程度にとどめる。)

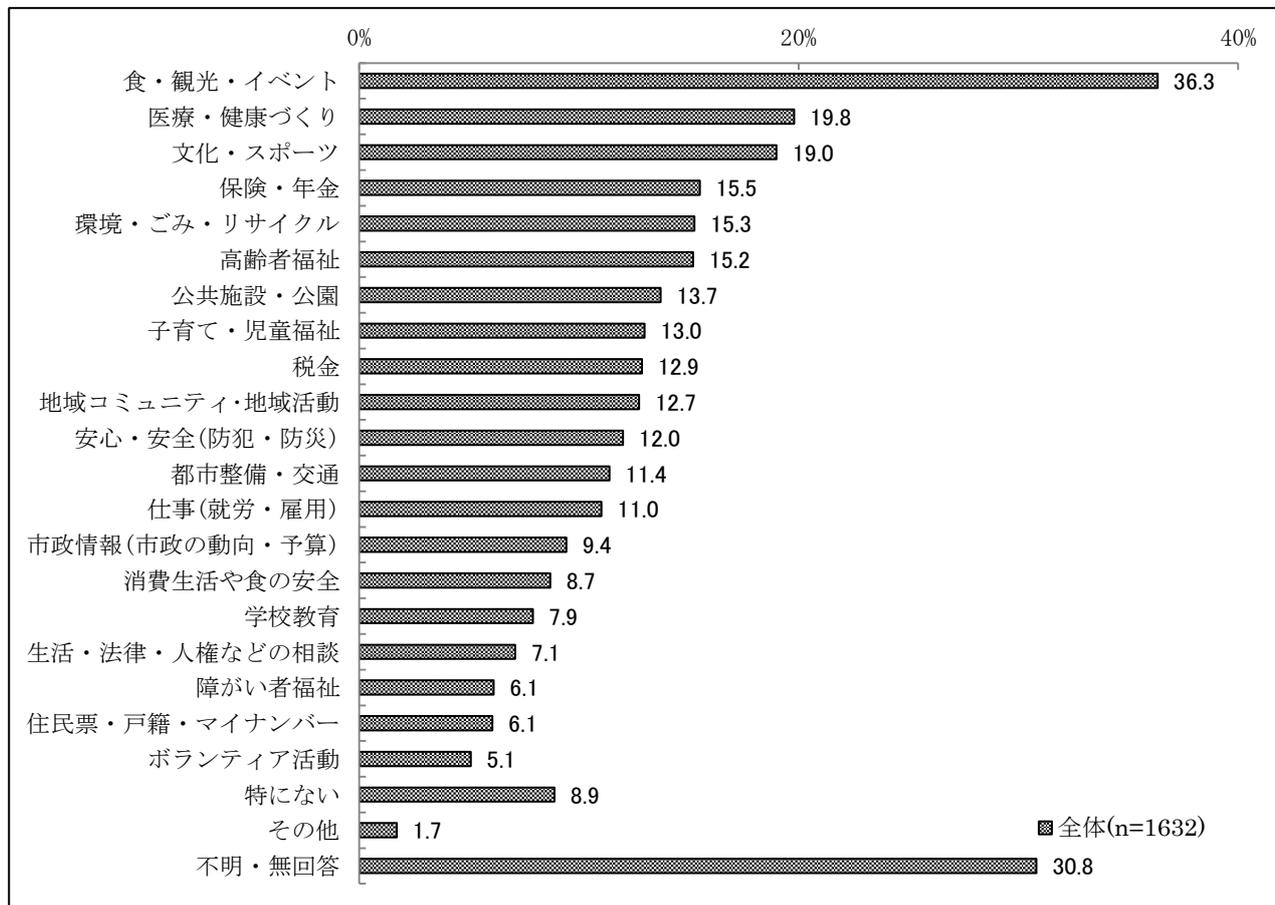
「必要な情報は他の手段で得ている」は、高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。「市や区の情報に関心がない」は、若年層ほど割合が高い。

図 3-4 市公式ホームページを利用しない理由（性別/年齢別）



(5) 市公式ホームページで充実を望むテーマ

問 16 市公式ホームページでの広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。市公式ホームページを利用していない方は、どのテーマが載っていたら利用してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



— 4割弱が「食・観光・イベント」情報の充実を要望 —

【全体結果】

「食・観光・イベント」(36.3%)と答えた割合が最も高く、他の項目と比べて突出している。次いで「医療・健康づくり」(19.8%)、「文化・スポーツ」(19.0%)、「保険・年金」(15.5%)、「環境・ごみ・リサイクル」(15.3%)の順に続く。

【属性別結果】(図 3-5 参照)

①性別

「食・観光・イベント」は、男性(33.2%)と比べて女性(39.3%)で高い。「文化・スポーツ」、「保険・年金」は、女性(各17.4%、13.9%)と比べて男性(各21.6%、18.0%)で高い。

②年齢別

「食・観光・イベント」は、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。「文化・スポーツ」は50代以下で割合が高い。30代では「食・観光・イベント」(59.9%)に次いで「子育て・児童福祉」(44.1%)の割合が高い。

図 3-5 市公式ホームページで充実を望むテーマ（性別/年齢別） 1/4

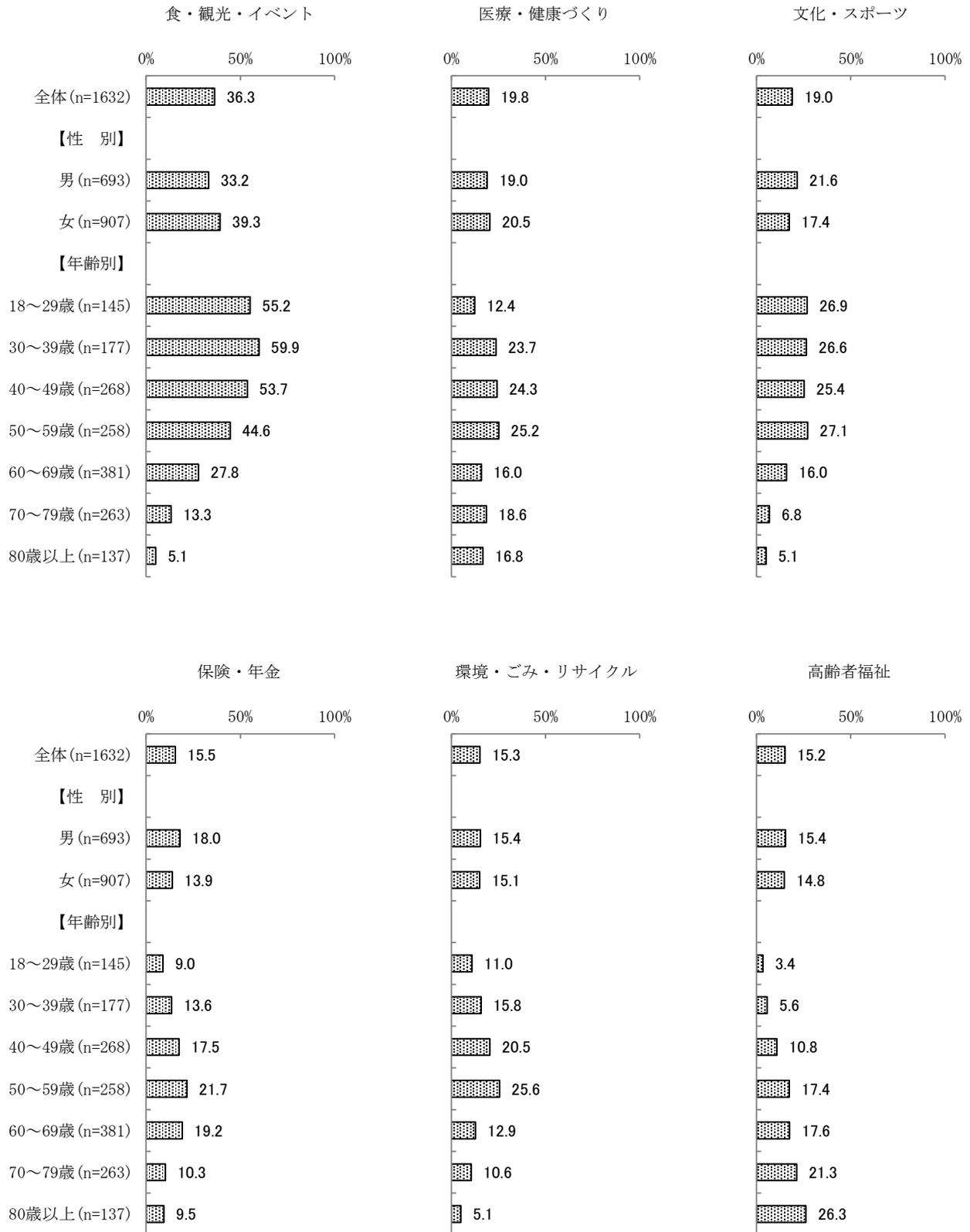


図 3-5 市公式ホームページで充実を望むテーマ（性別/年齢別） 2/4

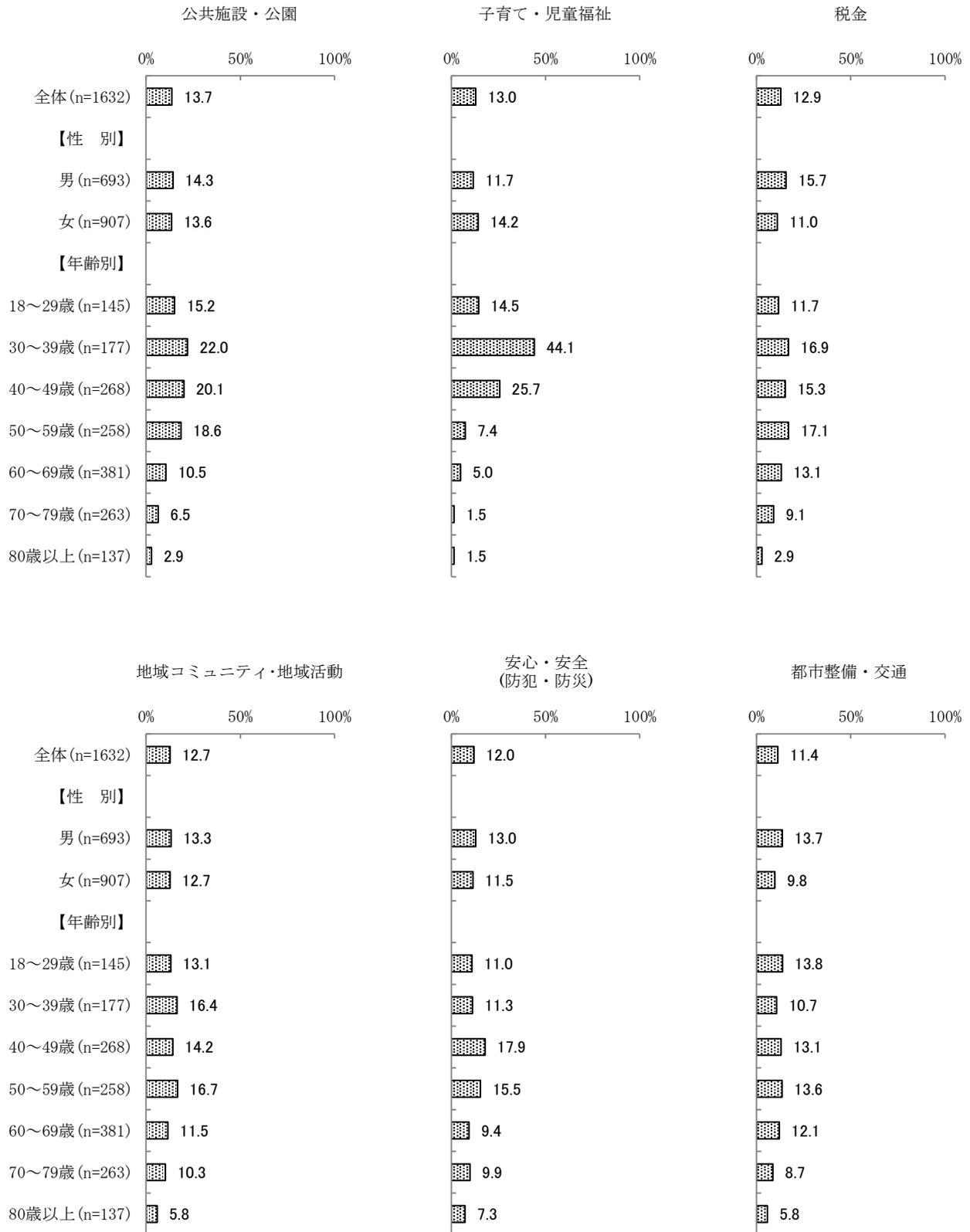


図 3-5 市公式ホームページで充実を望むテーマ（性別/年齢別） 3/4

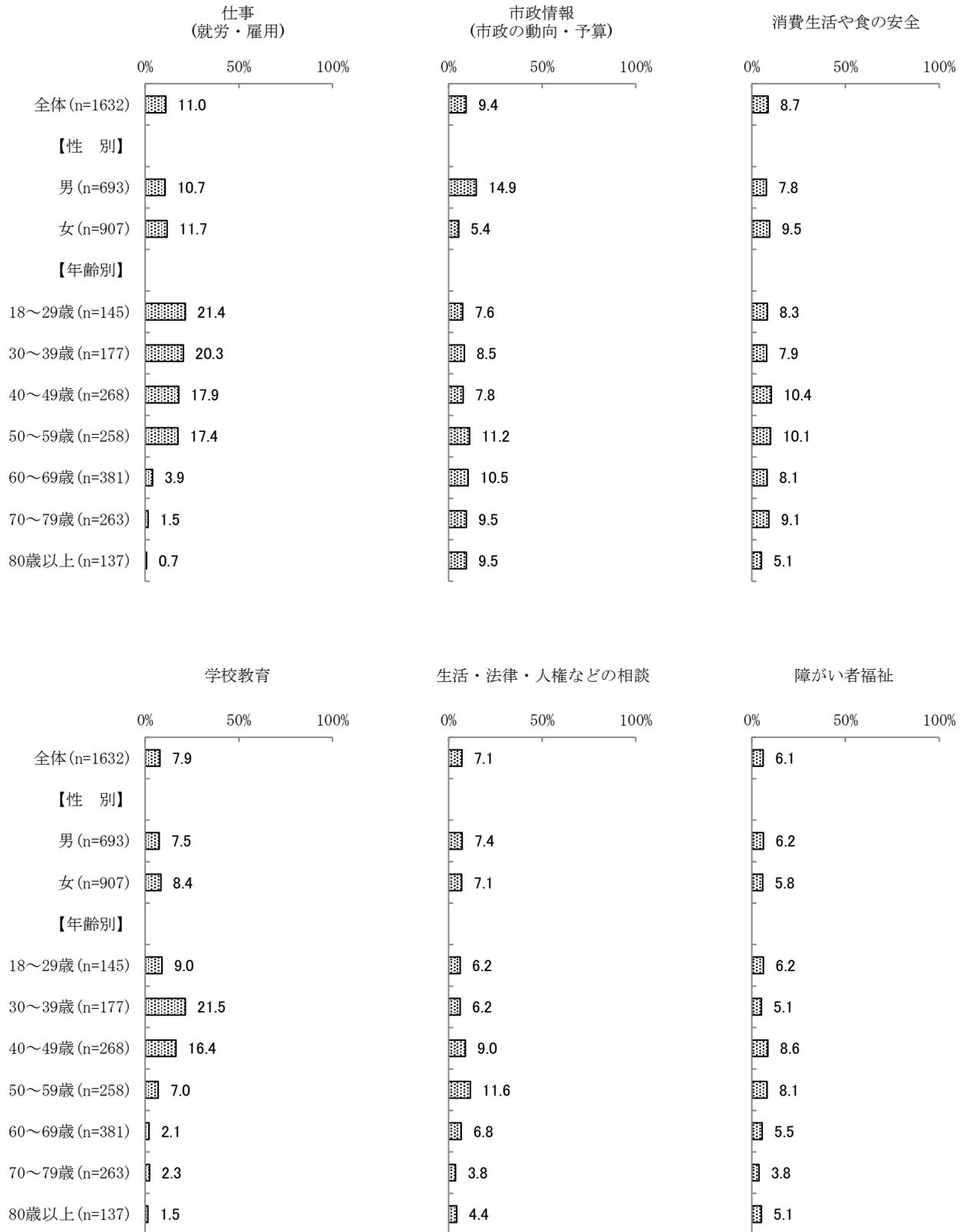
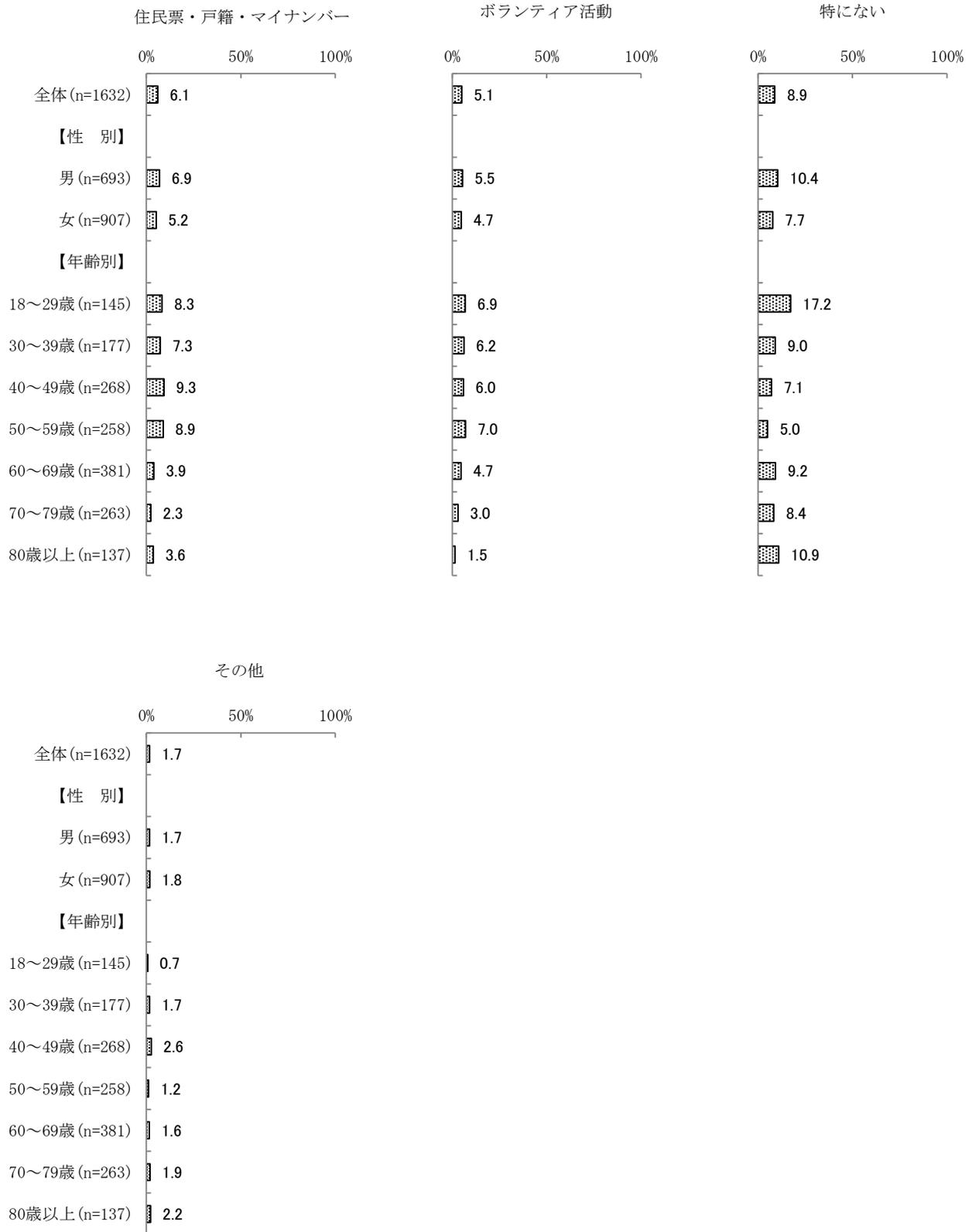


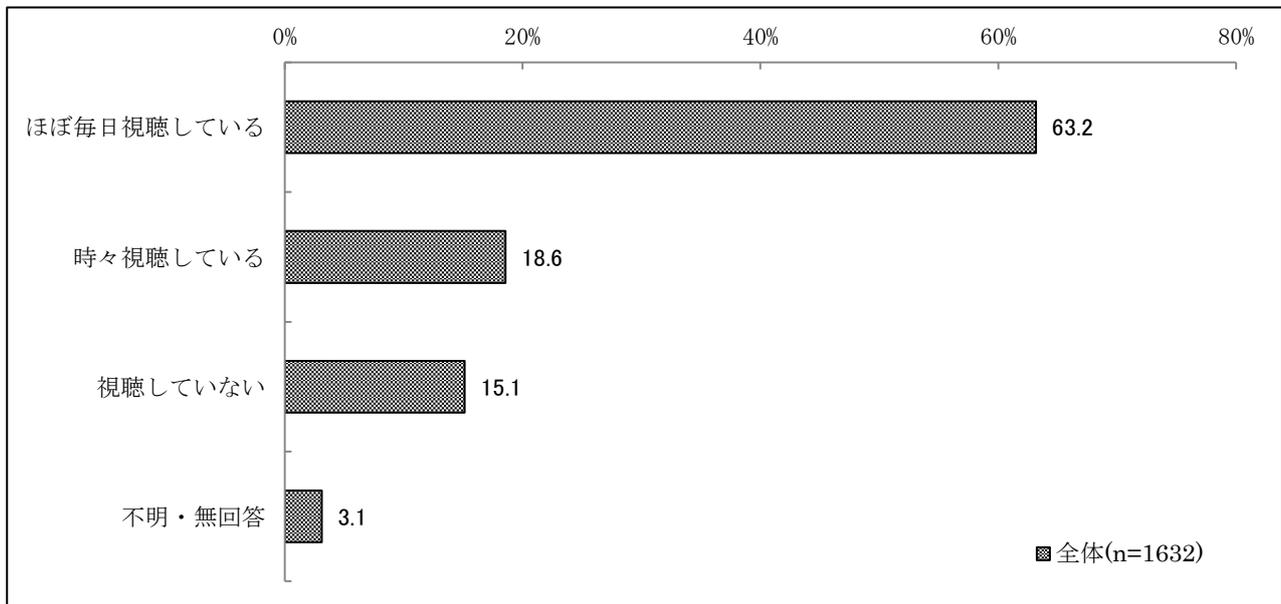
図 3-5 市公式ホームページで充実を望むテーマ（性別/年齢別） 4/4



4. 広報テレビ番組について

(1) テレビの視聴状況

問17 普段、テレビをどのくらい視聴していますか。(○は1つだけ)



— 6割以上が「ほぼ毎日視聴している」と回答 —

【全体結果】

「ほぼ毎日視聴している」(63.2%)と答えた割合が最も高く、6割を超えた。「ほぼ毎日視聴している」、「時々視聴している」(18.6%)を合わせた『視聴している(以下同様)』割合は、8割を超えた。

【属性別結果】(図4-1参照)

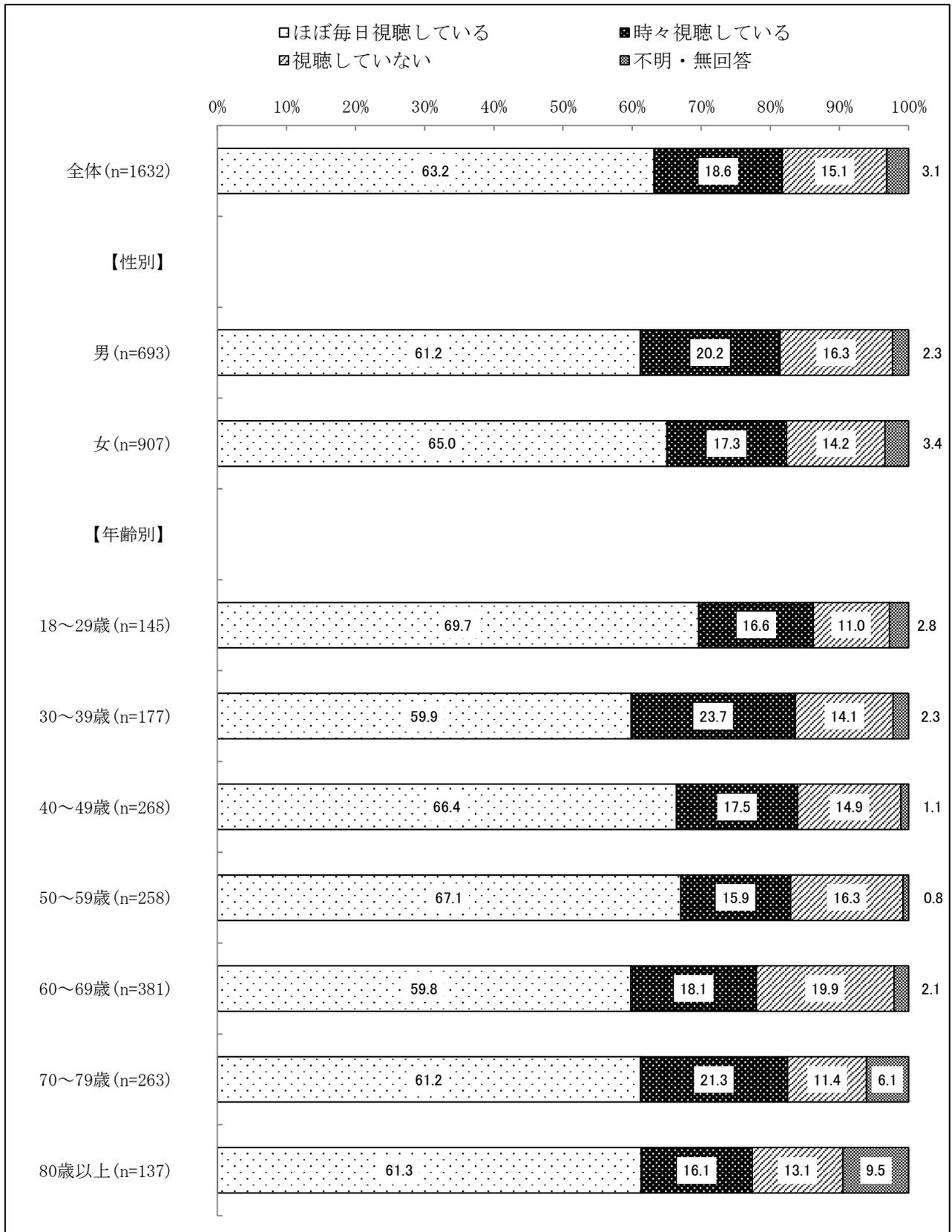
①性別

「ほぼ毎日視聴している」は、男性(61.2%)と比べて女性(65.0%)でやや高い。『視聴している』では、男女差は見られない。

②年齢別

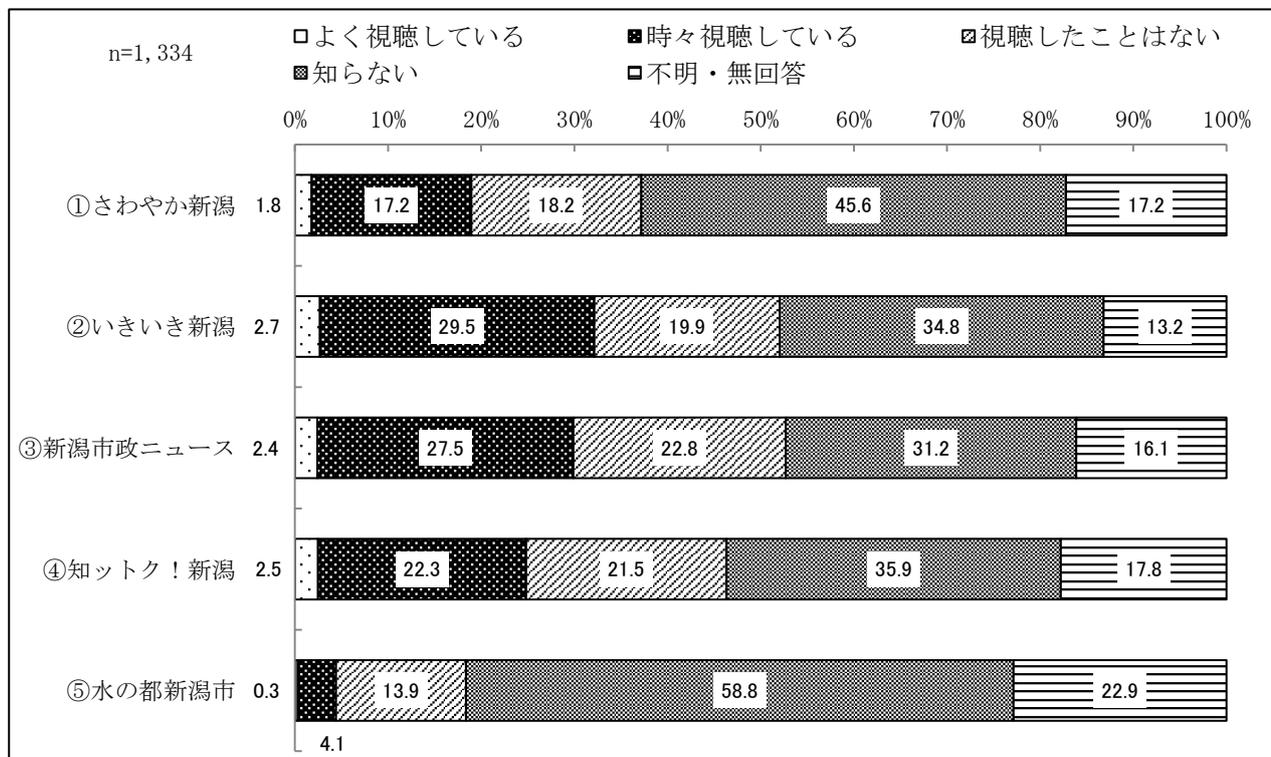
「ほぼ毎日視聴している」は、20代以下が約7割で、最も高い。「視聴していない」は、60代が約2割で最も高い。『視聴している』では、20代以下の割合が最も高い。

図 4-1 テレビの視聴状況（性別/年齢別）



(2) 広報テレビ番組の認知度

問 18 (問 17 で「ほぼ毎日視聴している」、「時々視聴している」を選んだ方のみ) 次の①～⑤の広報テレビ番組を視聴したことがありますか。番組ごとに番号を1つ選んで、○をつけてください。



— 「②いきいき新潟」「③新潟市政ニュース」で認知度が5割以上 —

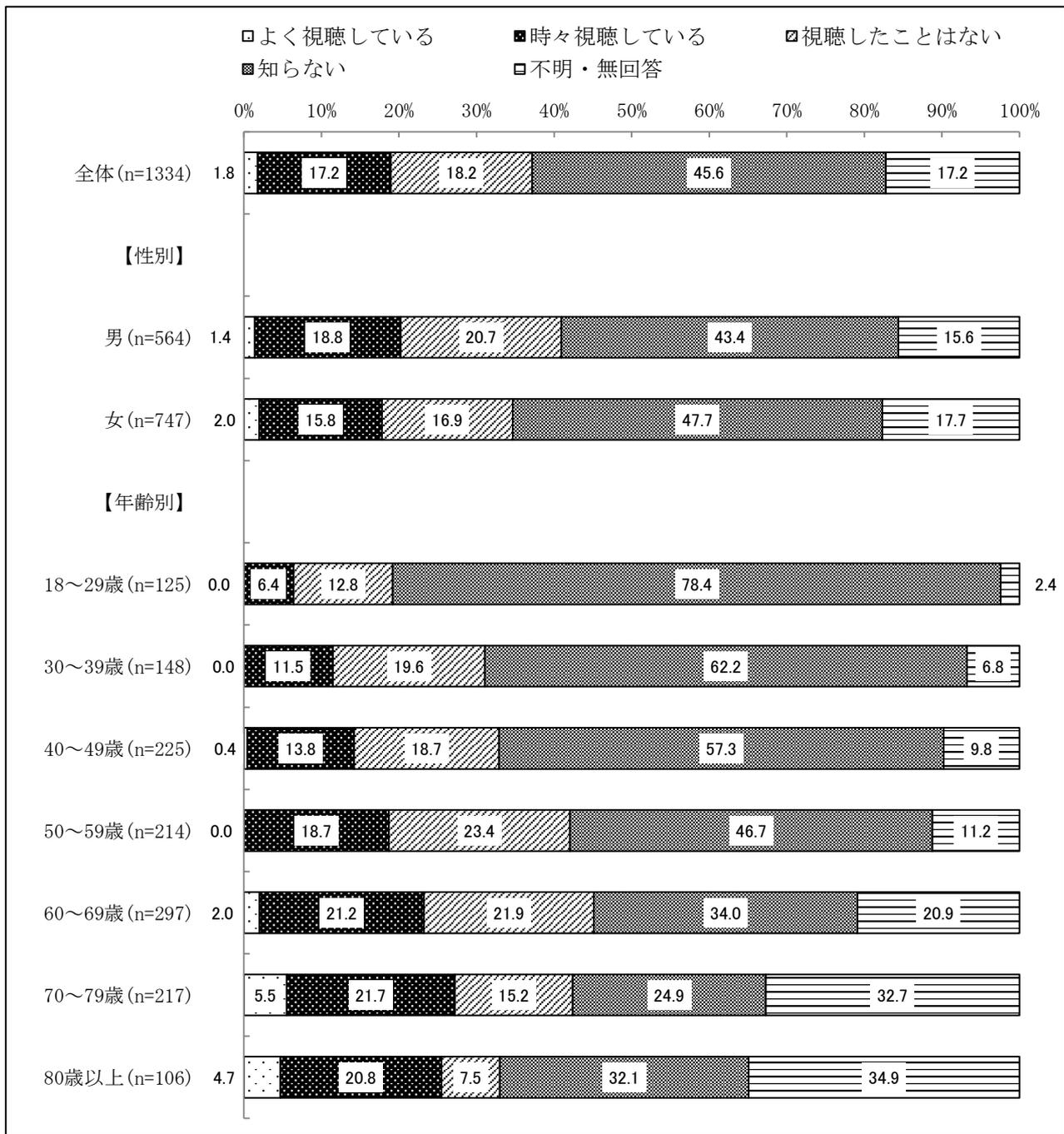
【全体結果】

「よく視聴している」「時々視聴している」を合わせた割合は、「いきいき新潟」(32.2%)が約3割で最も割合が高い。次いで「新潟市政ニュース」(29.9%)、「知ッtok!新潟」(24.8%)の順に続く。「よく視聴している」「時々視聴している」「視聴したことはない」を合わせた『番組の認知度(以下同様)』で見ると、「②いきいき新潟」(52.0%)、「③新潟市政ニュース」(52.7%)で5割を超えた。「⑤水の都新潟市」(18.4%)は2割未満にとどまり、他の番組と比べて認知度が最も低い。

【属性別結果】

次ページ以降に広報テレビ番組ごとの性別・年齢別集計結果をまとめた。

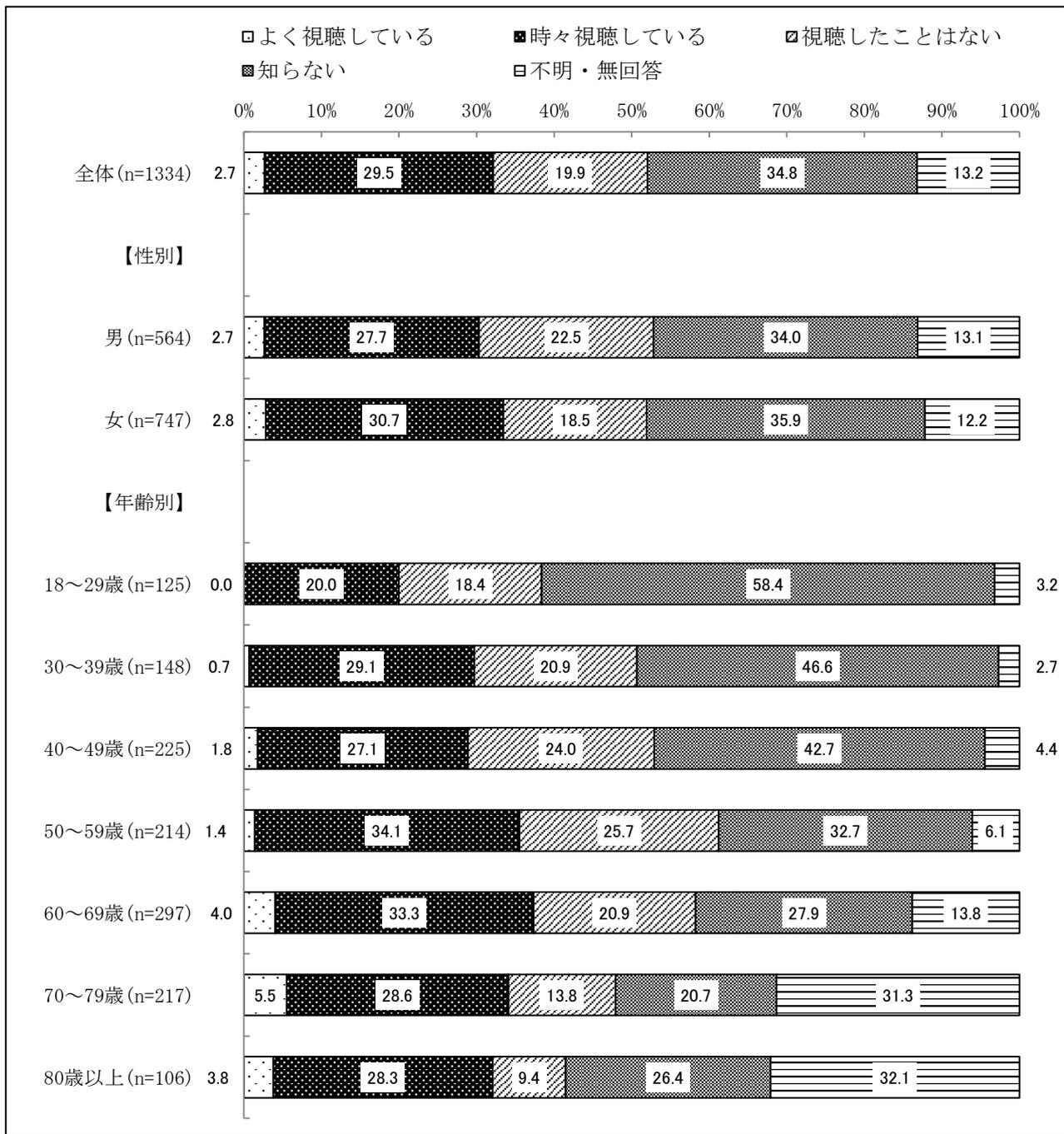
広報テレビ番組の認知度 ①さわやか新潟



「よく視聴している」、「時々視聴している」を合わせた割合は、性別では女性(17.8%)と比べて男性(20.2%)でやや高い。年齢別では70代(27.2%)で最も高い。高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

『番組の認知度』で見ると、性別では女性(34.7%)と比べて男性(41.0%)でやや高い。年齢別では、60代(45.1%)で最も認知度が高い。20代以下(19.2%)では2割に満たない。

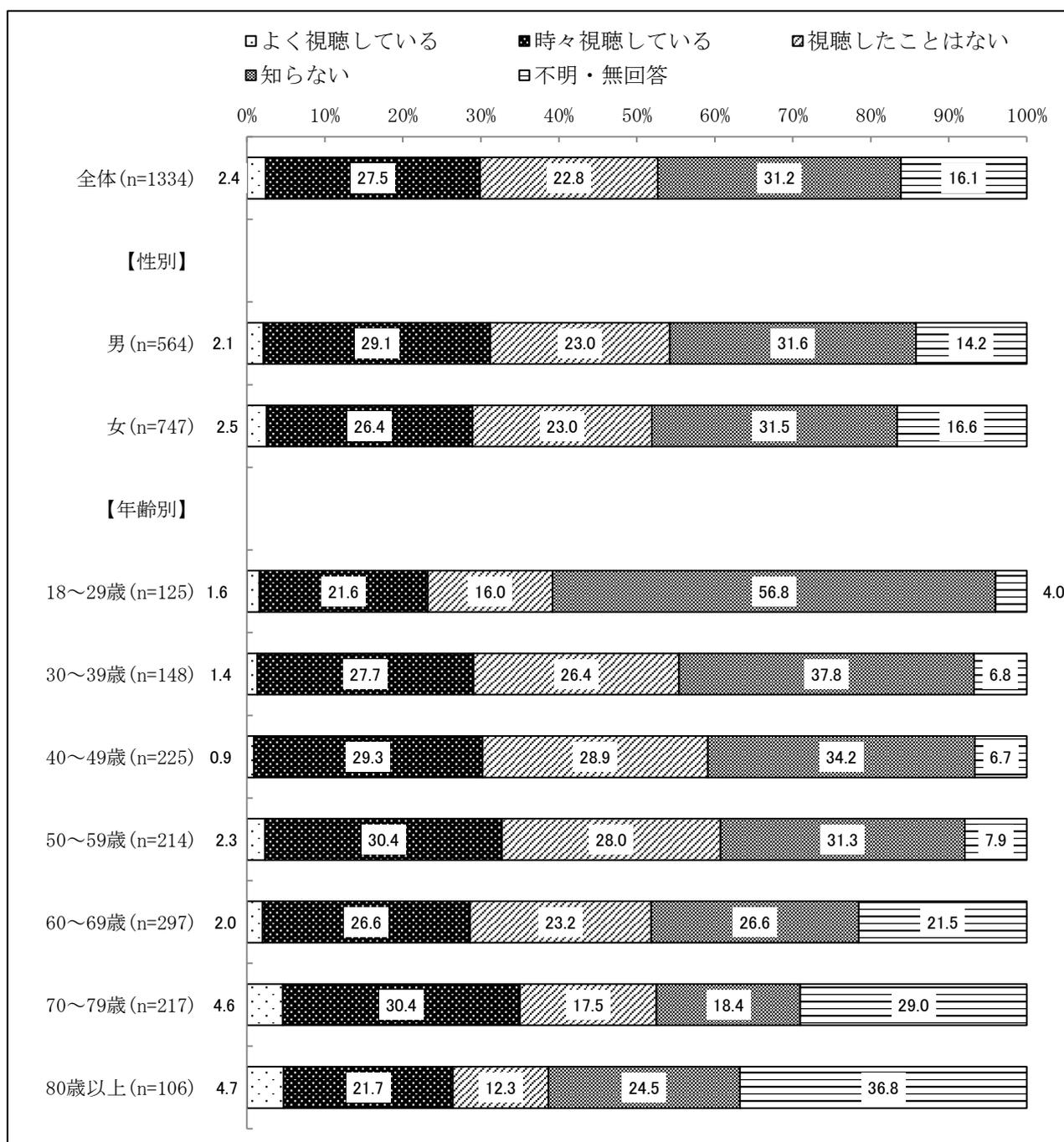
広報テレビ番組の認知度 ②いきいき新潟



「よく視聴している」、「時々視聴している」を合わせた割合は、性別では男性(30.3%)と比べて女性(33.5%)でやや高い。年齢別では60代(37.4%)で最も高い。

『番組の認知度』で見ると、性別ではほとんど差がない。年齢別では、30代～60代で5割を超え、50代(61.2%)で最も高く、6割を超えた。20代以下(38.4%)では4割弱にとどまっている。

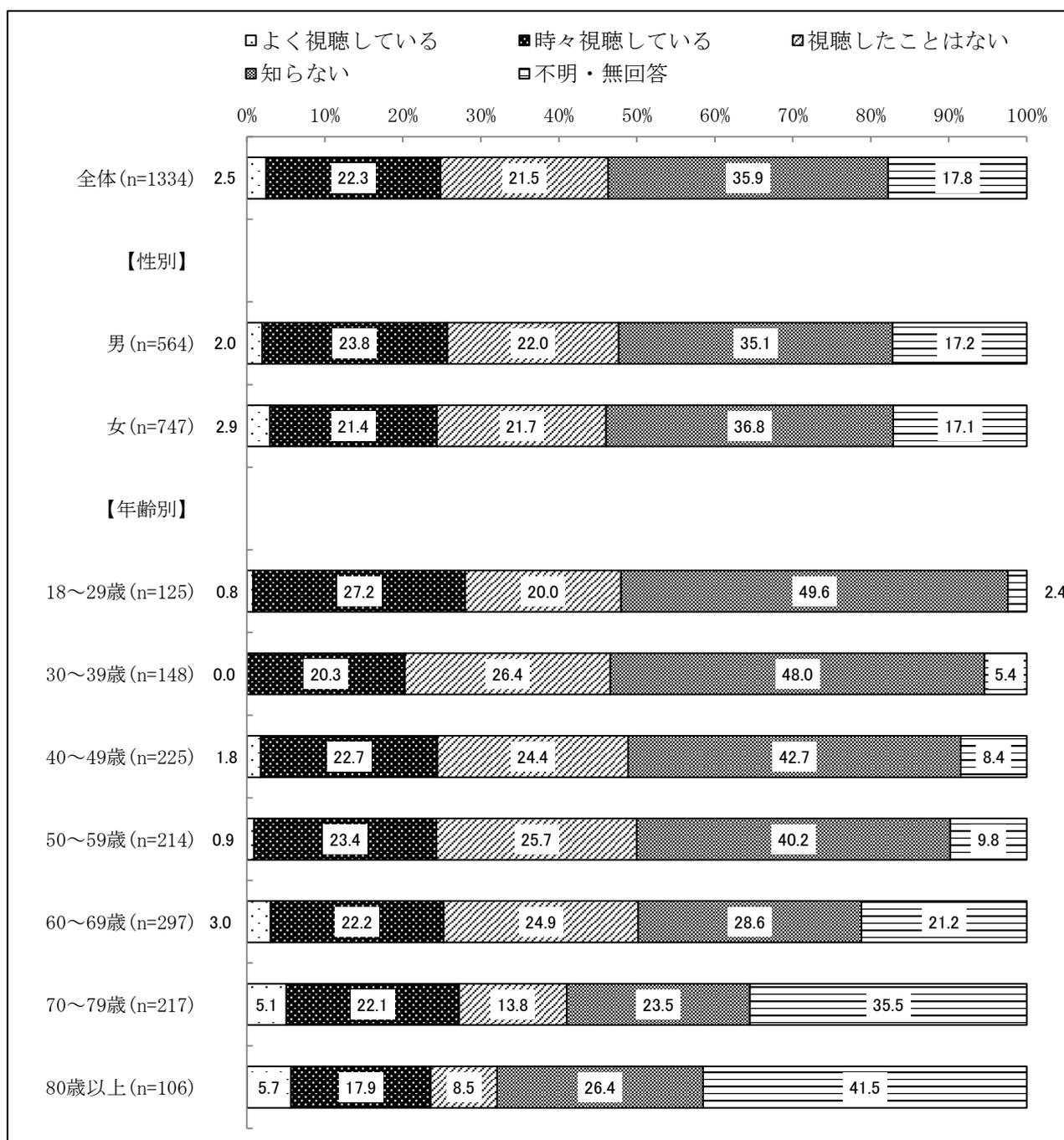
広報テレビ番組の認知度 ③新潟市政ニュース



「よく視聴している」、「時々視聴している」を合わせた割合は、性別では女性(28.9%)と比べて男性(31.2%)でやや高い。年齢別では70代(35.0%)で最も高い。

『番組の認知度』で見ると、年齢別では30代～70代で5割を超え、50代(60.7%)では約6割で、最も高い。20代以下(39.2%)・80代以上(38.7%)では4割弱にとどまった。

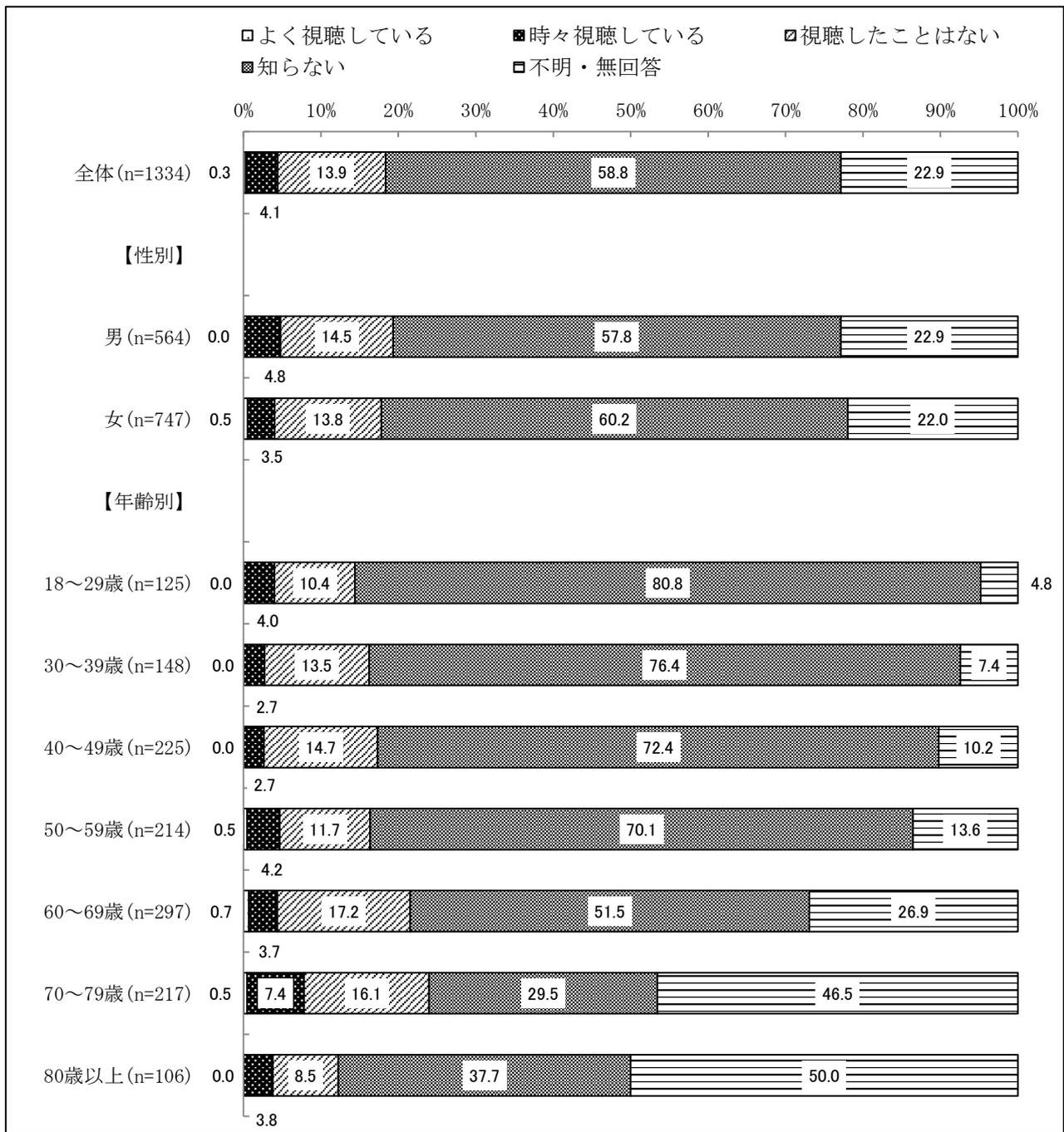
広報テレビ番組の認知度 ④知ッtok!新潟



「よく視聴している」、「時々視聴している」を合わせた割合は、性別では差は見られない。年齢別では20代(28.0%)で最も高い。

『番組の認知度』で見ると、50代(50.0%)・60代(50.2%)が約5割で割合がやや高い。20代以下～40代で5割弱、70代(41.0%)で4割強。80代以上(32.1%)では3割強にとどまった。

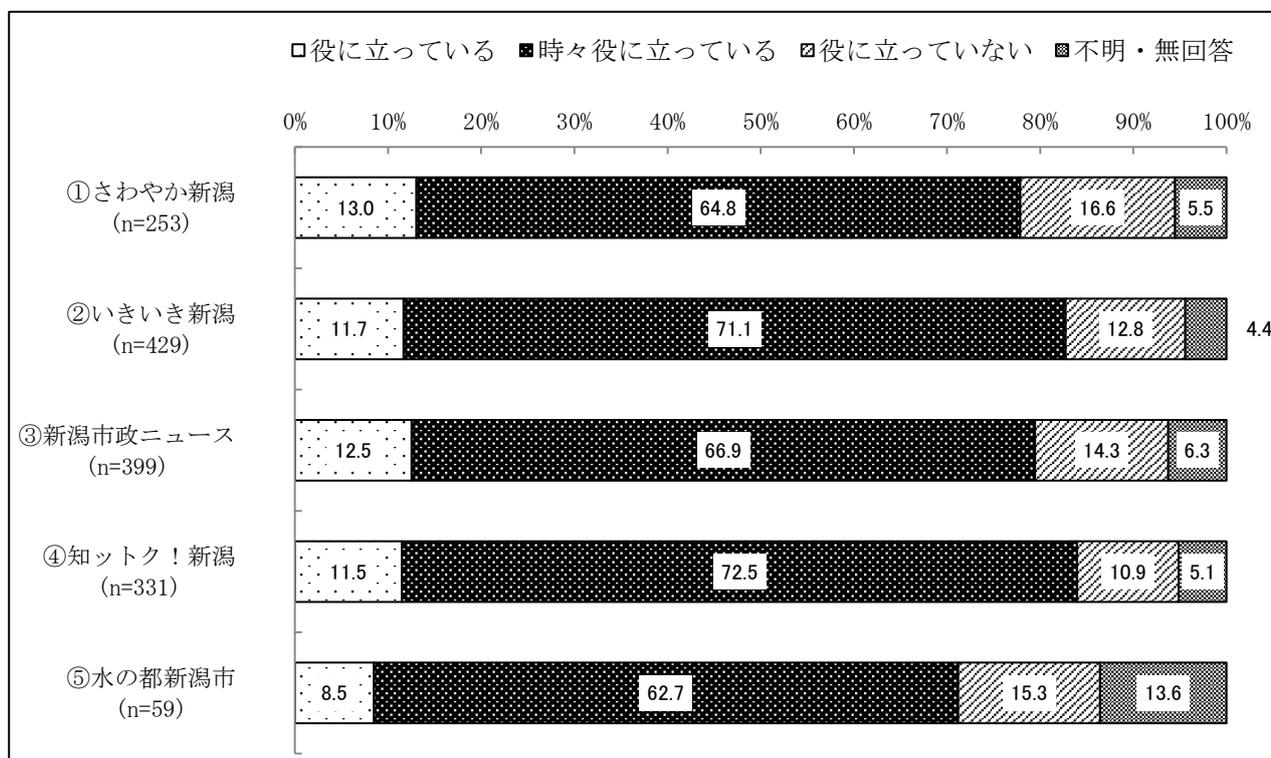
広報テレビ番組の認知度 ⑤水の都新潟市



「よく視聴している」、「時々視聴している」を合わせた割合は、性別、年齢別のいずれも1割を下回った。『番組の認知度』で見ると、年齢別では60代(21.5%)・70代(24.0%)で2割を超え、他は2割に満たない。

(3) 広報テレビ番組の有益度

問 18 (問 17 で「よく視聴している」、「時々視聴している」を選んだ方のみ) その番組が役に立っているかどうかを、A～Cより1つ選んで○をつけてください。



— 「②いきいき新潟」「④知ッTok!新潟」で有益度が8割以上 —

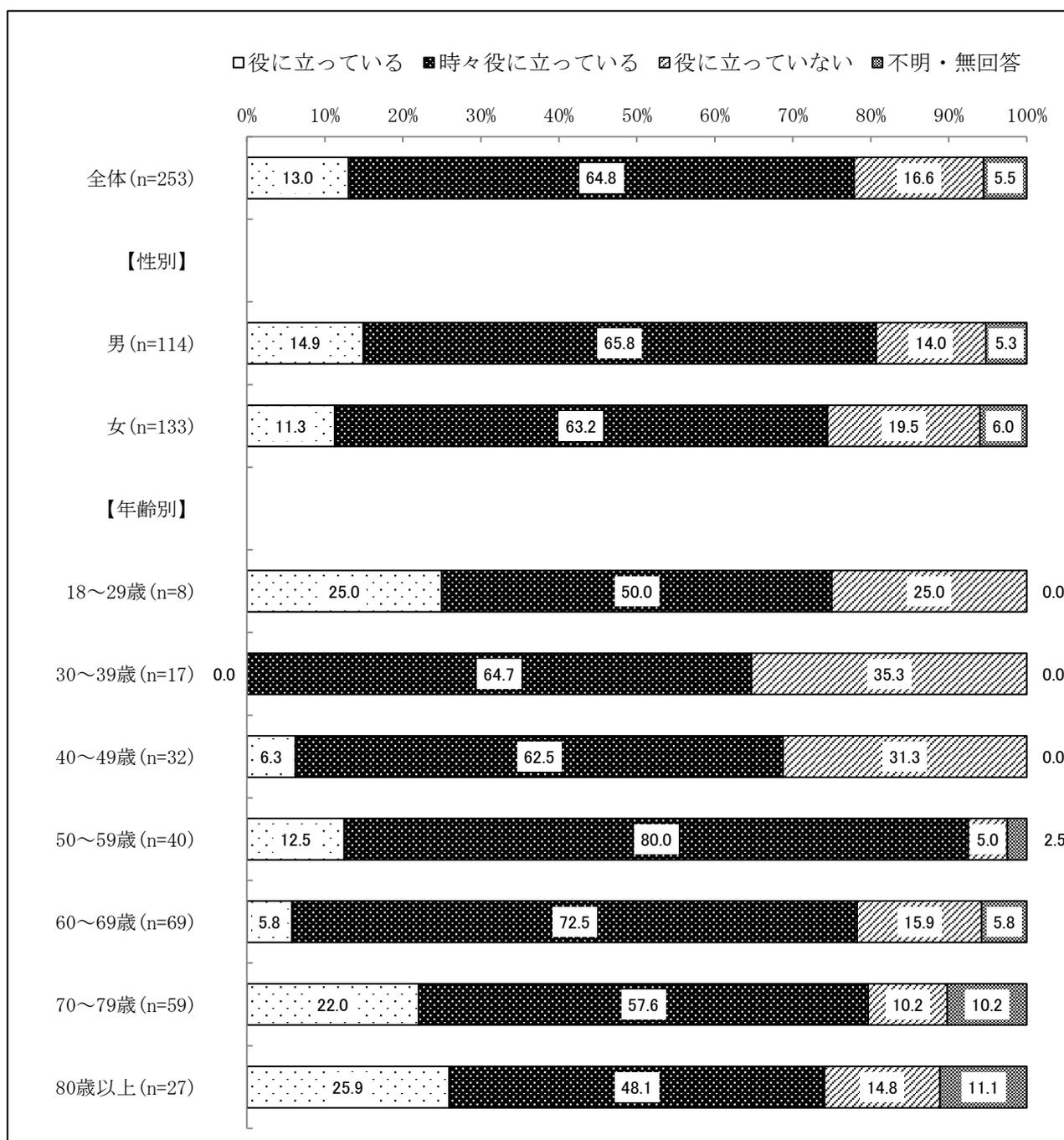
【全体結果】

「役に立っている」、「時々役に立っている」を合わせた『番組の有益度 (以下同様)』で見ると、どの番組も7割を超え、「②いきいき新潟」(82.8%)、「④知ッTok!新潟」(84.0%)では8割を超えた。「⑤水の都新潟市」(71.2%)は他の番組と比べて、割合がやや低い。

【属性別結果】

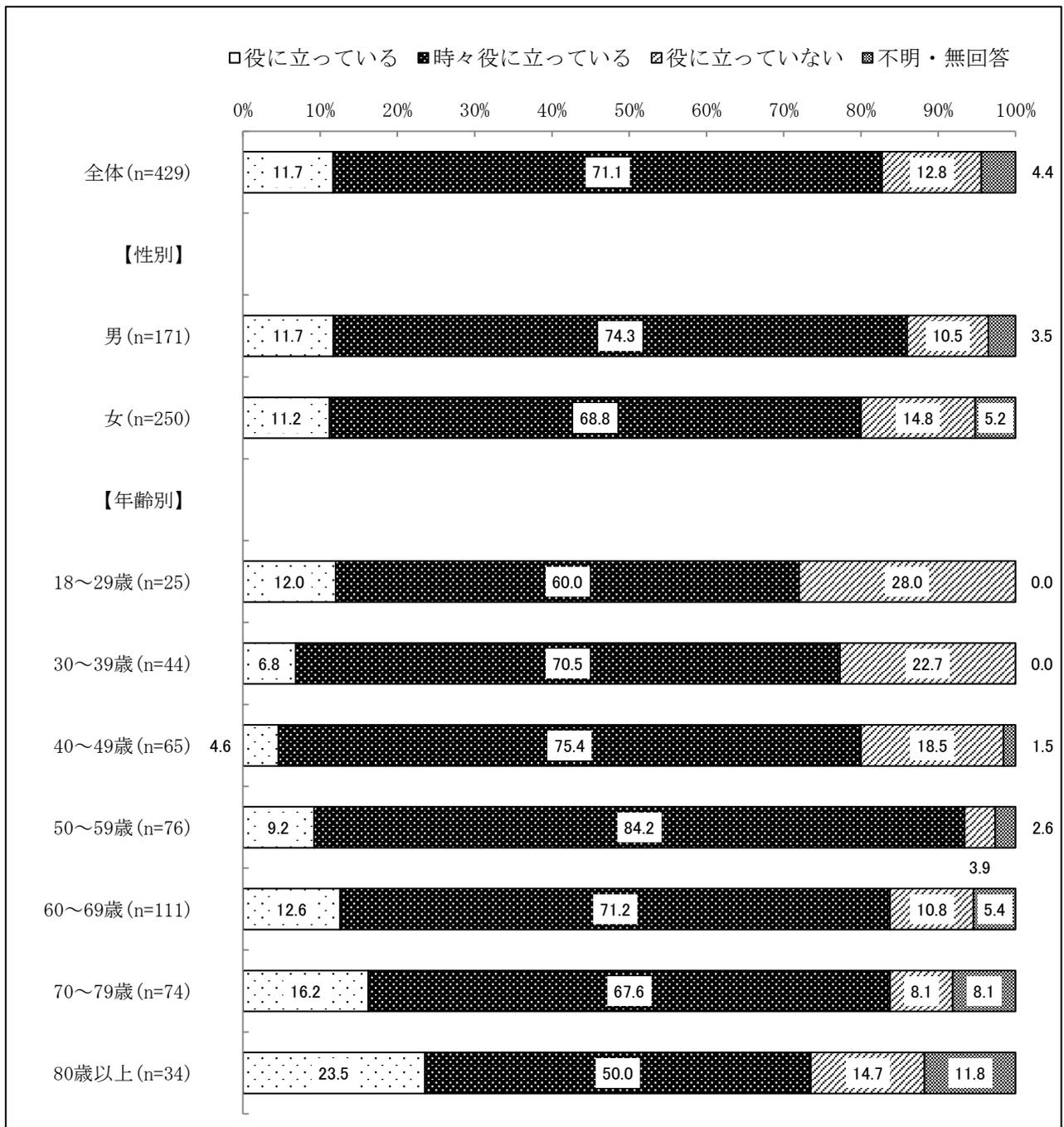
次ページ以降に広報テレビ番組ごとの性別・年齢別集計結果をまとめた。

広報テレビ番組の有益度 ①さわやか新潟



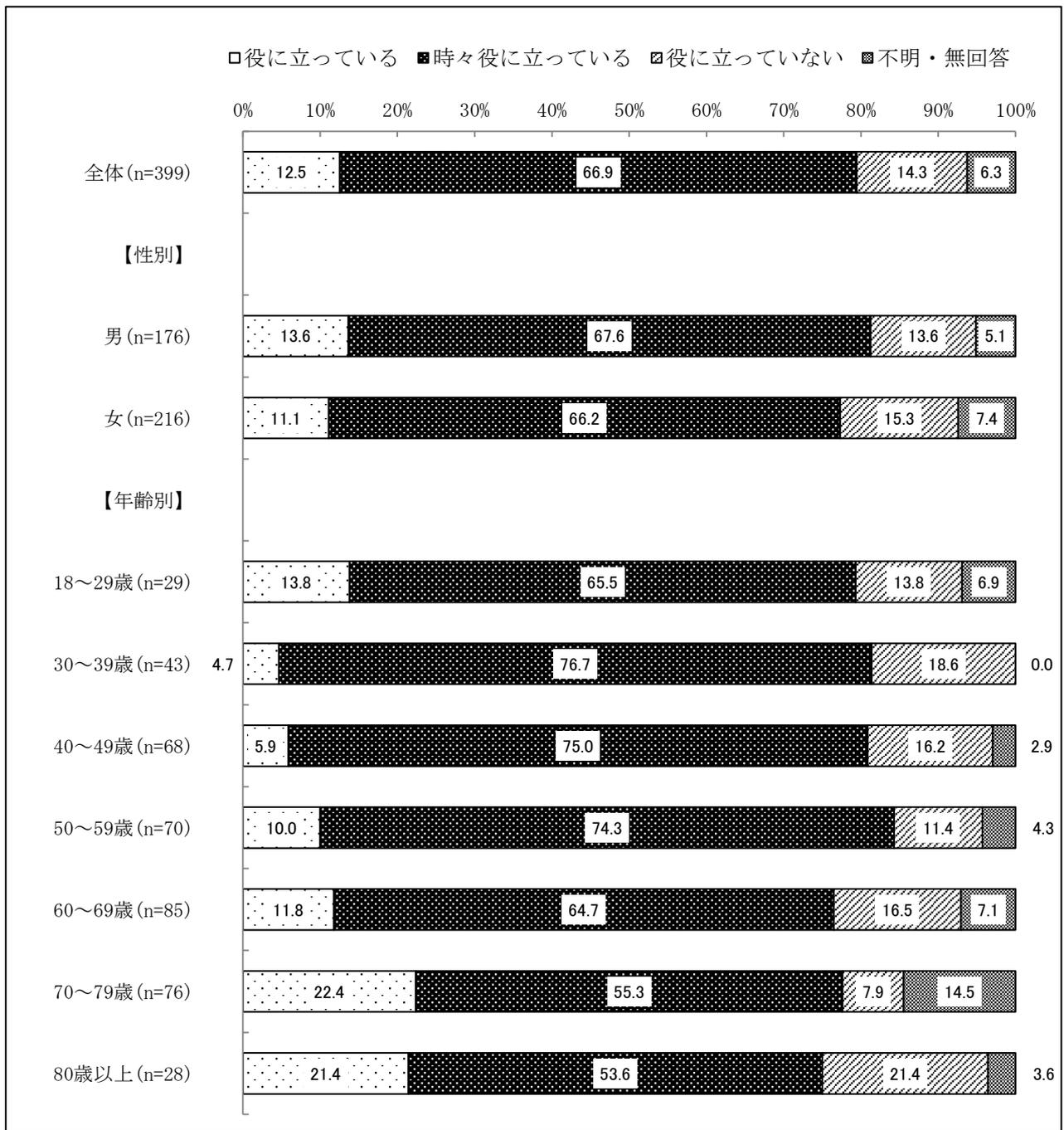
『番組の有益度』を性別で見ると、女性（74.4%）と比べて男性（80.7%）でやや高い。年齢別については、標本数が少ないため、図のみの掲載とする。

広報テレビ番組の有益度 ②いきいき新潟



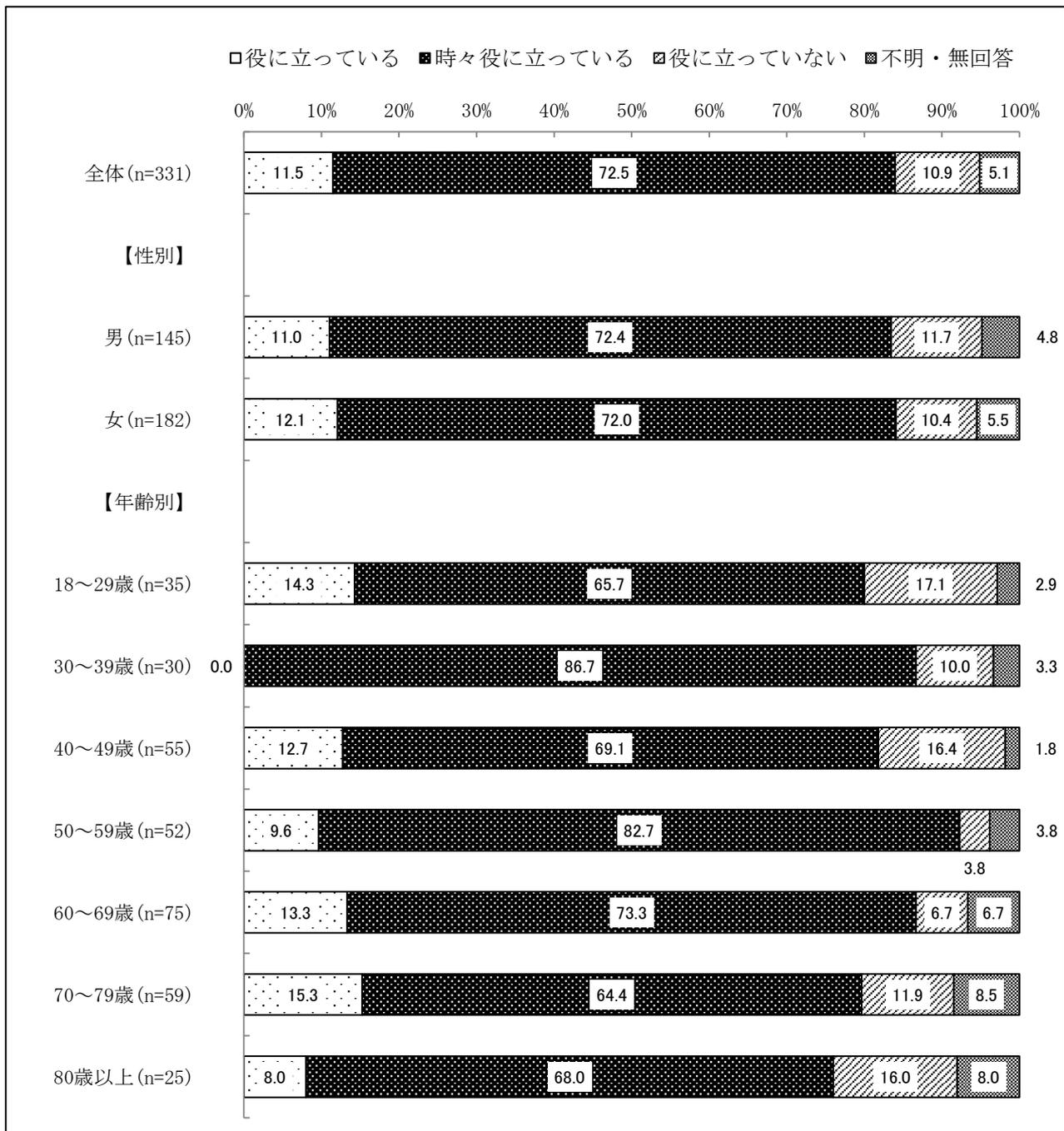
『番組の有益度』を性別で見ると、女性（80.0%）と比べて男性（86.0%）でやや高い。年齢別については、標本数が少ないため参考程度となるが、50代とその前後の割合が高い傾向がみられる。

広報テレビ番組の有益度 ③新潟市政ニュース



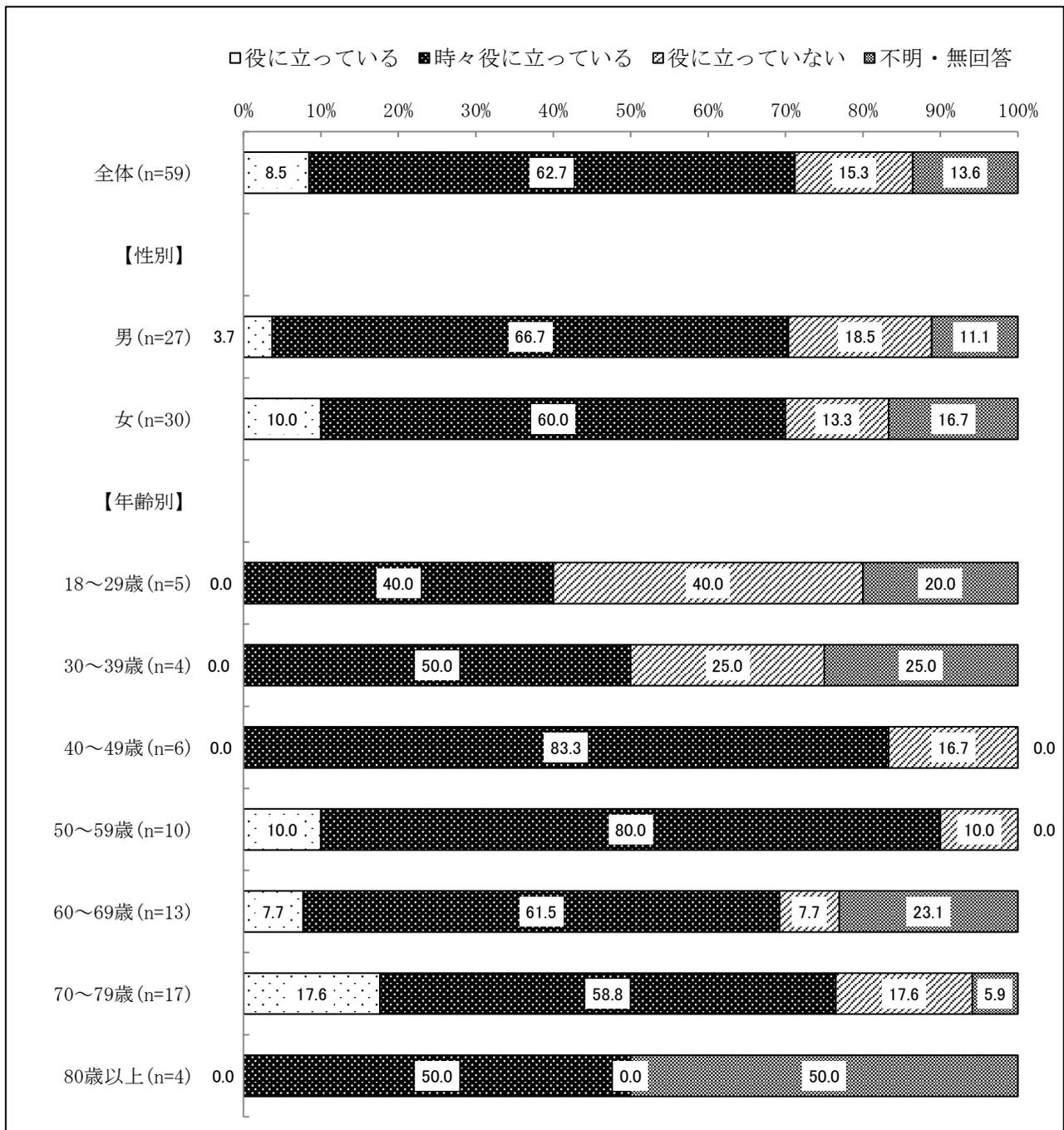
『番組の有益度』を性別で見ると、女性（77.3%）と比べて男性（81.3%）でやや高い。年齢別については、標本数が少ないため参考程度となるが、それほど大きな差はみられない。

広報テレビ番組の有益度 ④知ットク！新潟



『番組の有益度』を性別で見ると、男女差はほぼない。年齢別については、標本数が少ないため参考程度となるが、20代以下から50代までは割合が増加し、50代をピークに割合が減少する傾向がみられる。

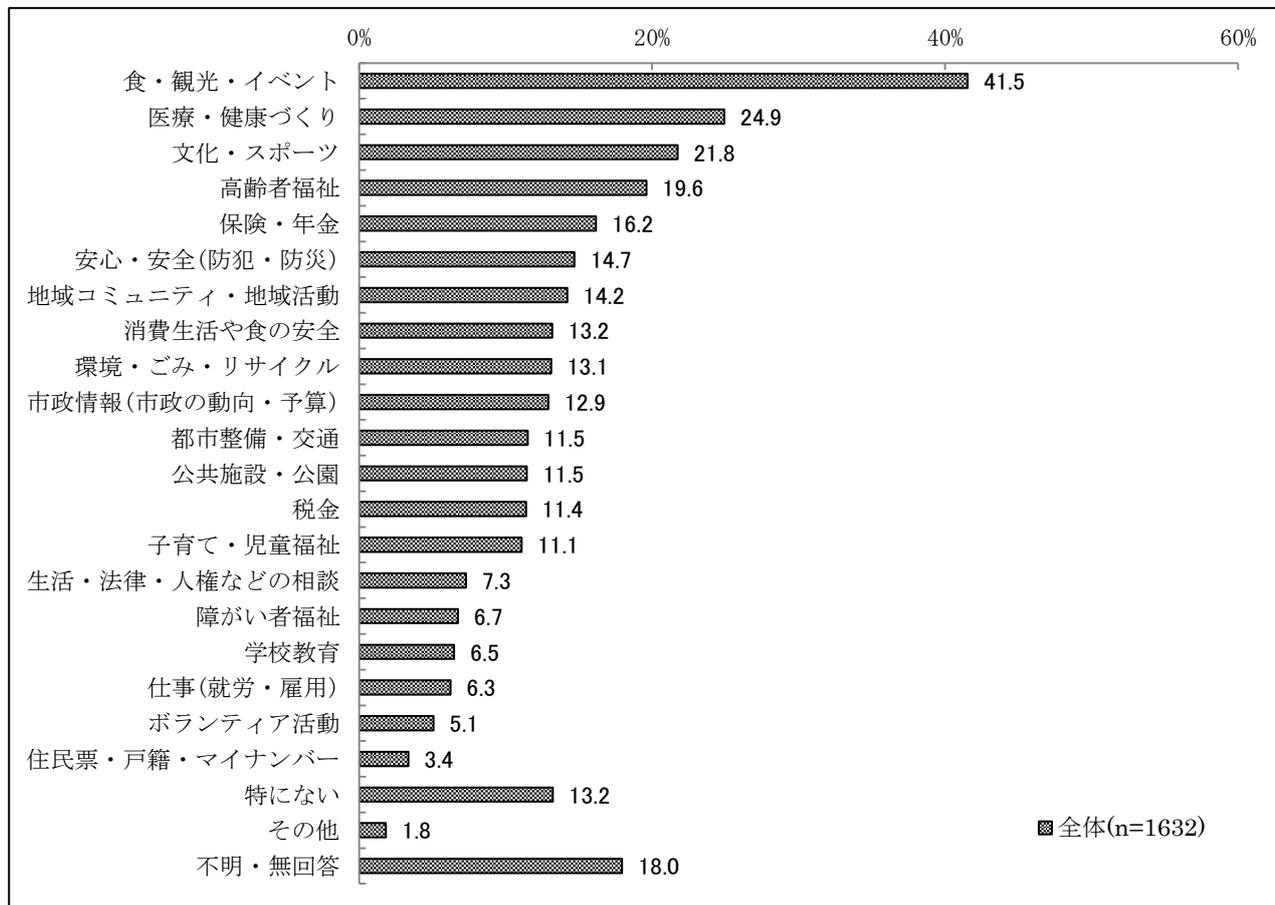
広報テレビ番組の有益度 ⑤水の都新潟市



標本数が少ないため、図のみの掲載とする。

(4) 広報テレビ番組で充実を望むテーマ

問 19 広報テレビ番組での広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。広報テレビ番組を視聴していない方は、どのテーマを放送したら視聴してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



— 4割強が「食・観光・イベント」情報の充実を要望 —

【全体結果】

「食・観光・イベント」(41.5%)と答えた割合が最も高く、他の項目と比べて突出している。次いで「医療・健康づくり」(24.9%)、「文化・スポーツ」(21.8%)、「高齢者福祉」(19.6%)、「保険・年金」(16.2%)の順に続く。

【属性別結果】(図 4-4 参照)

①性別

「食・観光・イベント」は、男性(38.5%)と比べて女性(44.1%)でやや高い。「文化・スポーツ」、「保険・年金」は、女性(各19.1%、14.0%)と比べて男性(各25.7%、19.2%)で高い。

②年齢別

「食・観光・イベント」は、40代以下で5割を超え、他の年代と比べて割合が高い。「医療・健康づくり」、「高齢者福祉」は高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。30代では「子育て・児童福祉」(32.8%)の割合が高く、他の年代と比べて差がみられる。

図 4-4 広報テレビ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 1/4

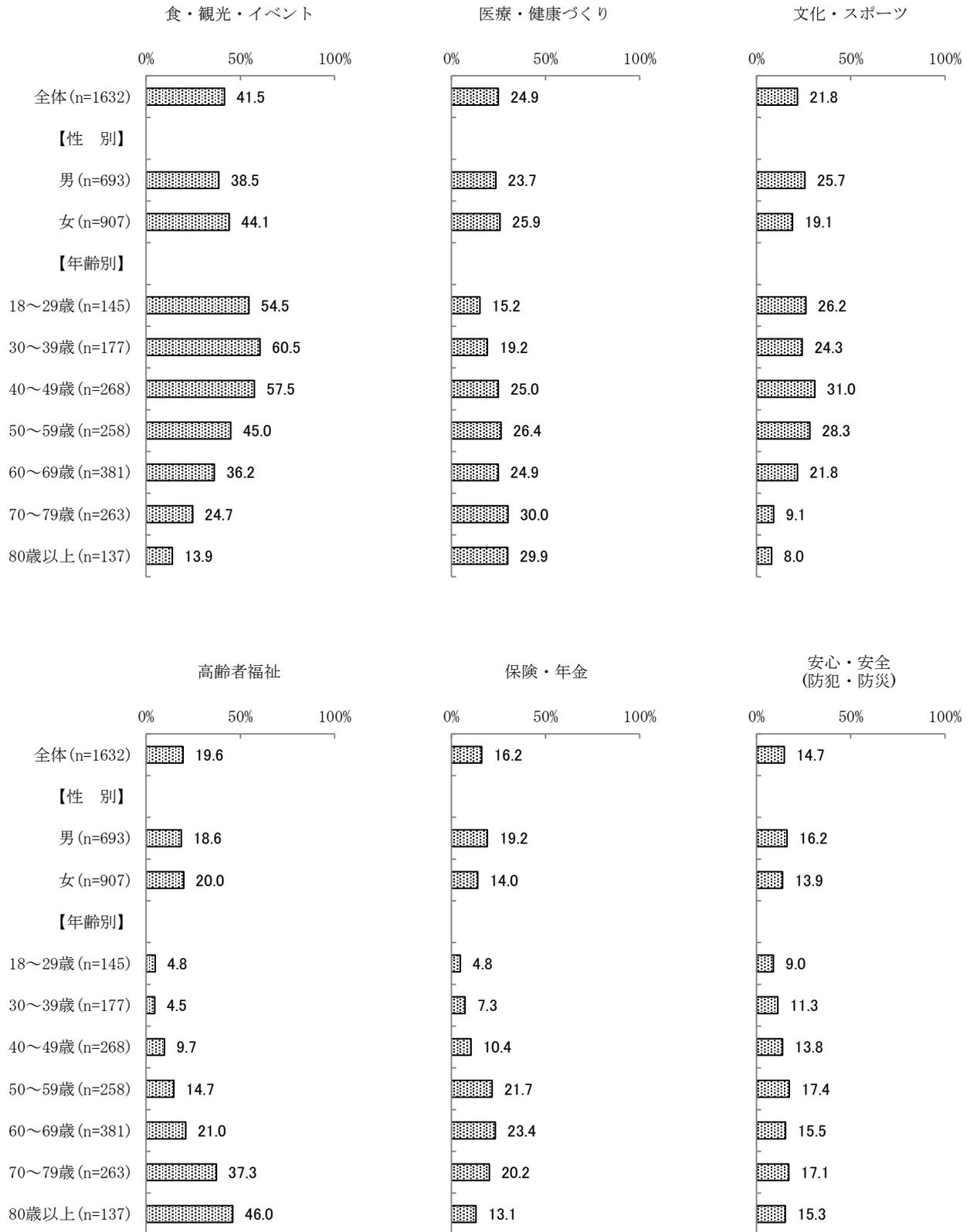


図 4-4 広報テレビ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 2/4

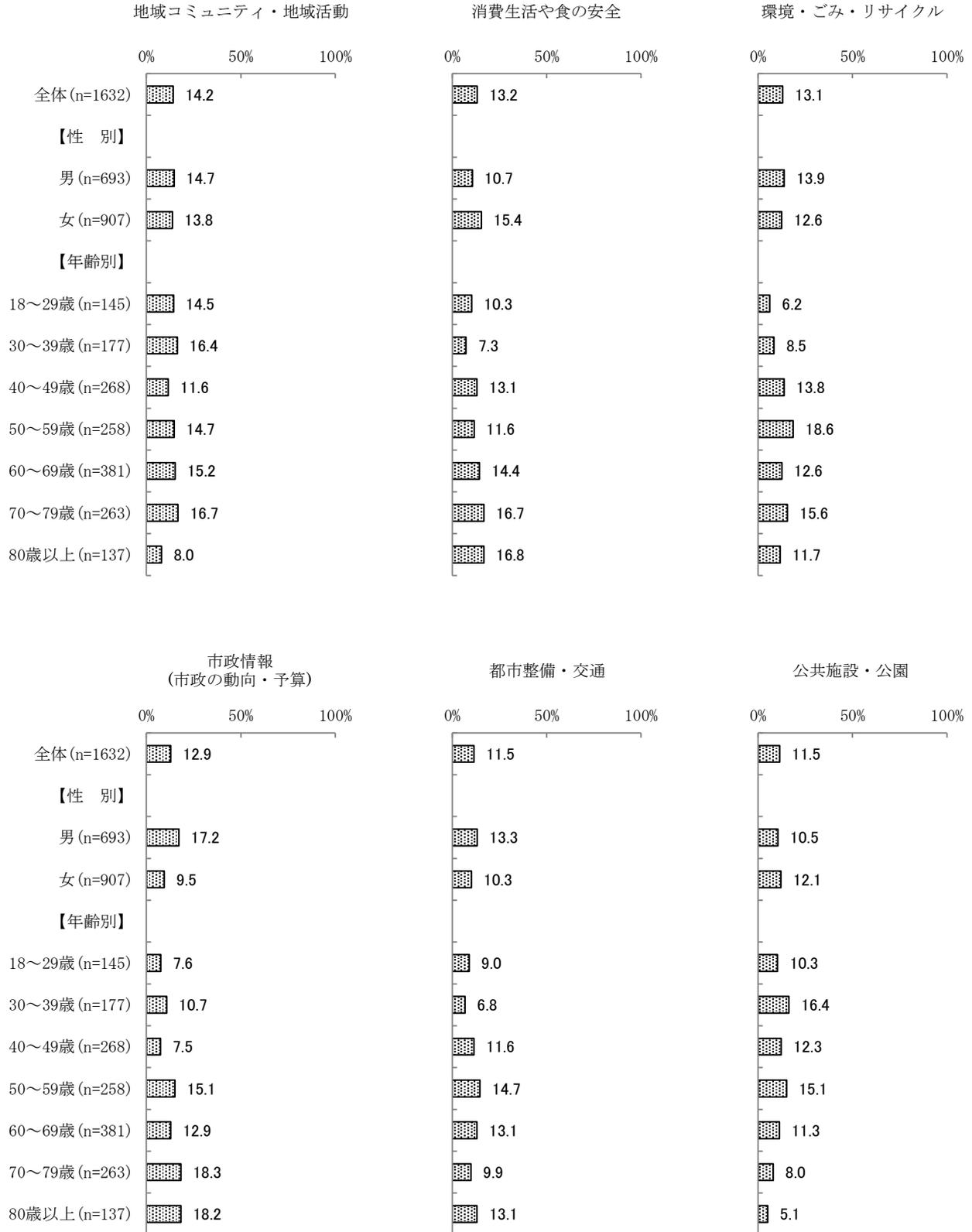


図 4-4 広報テレビ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 3/4

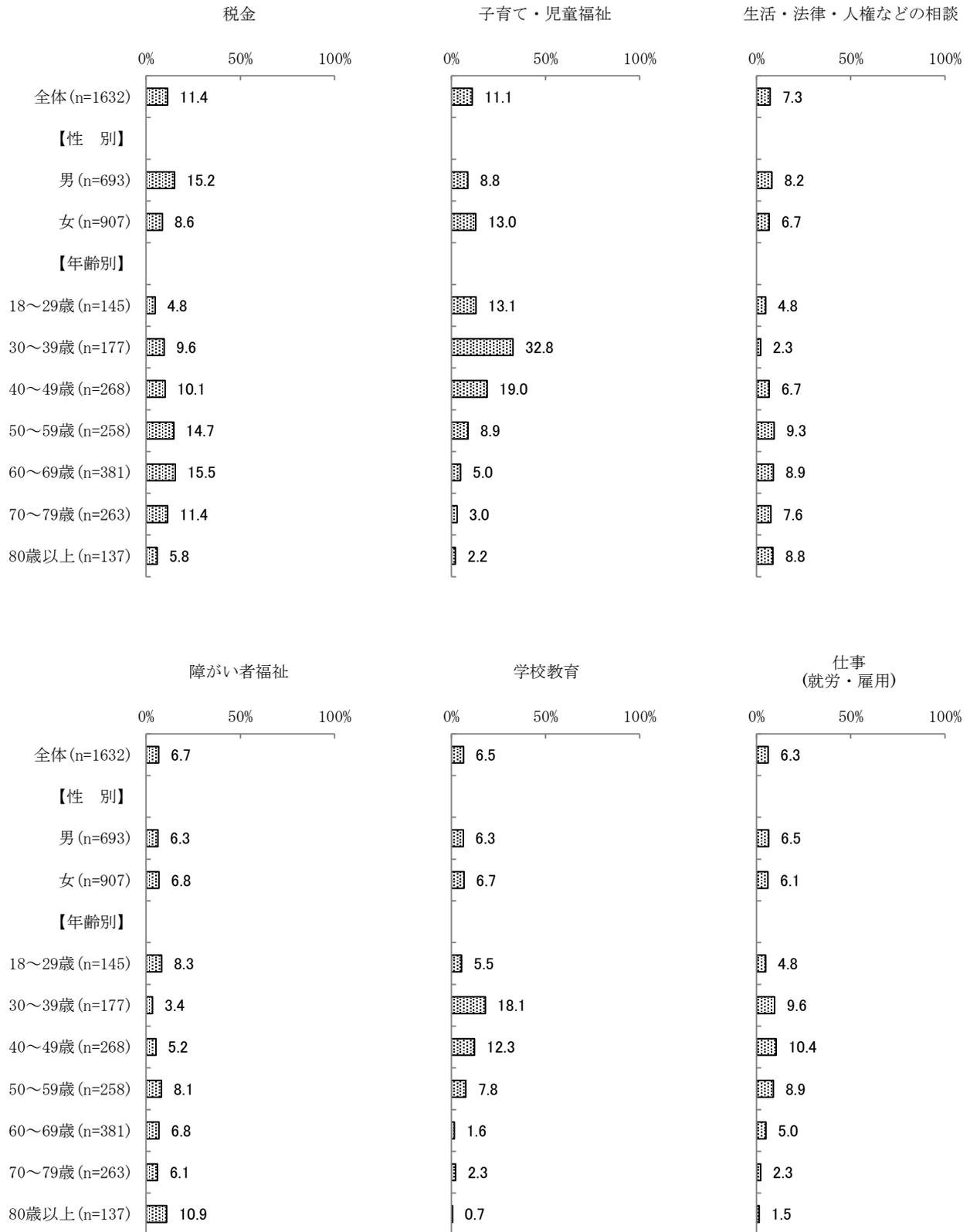
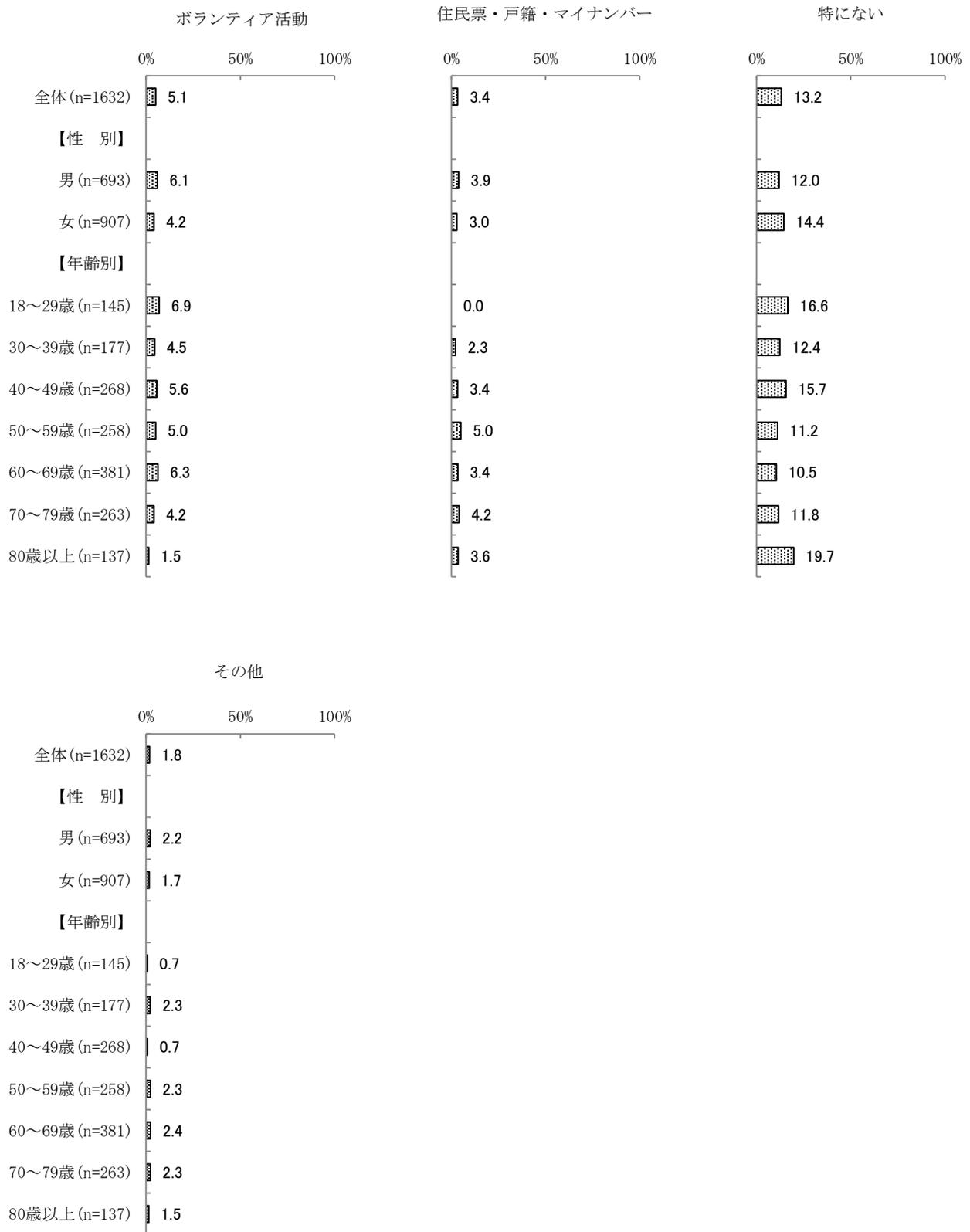


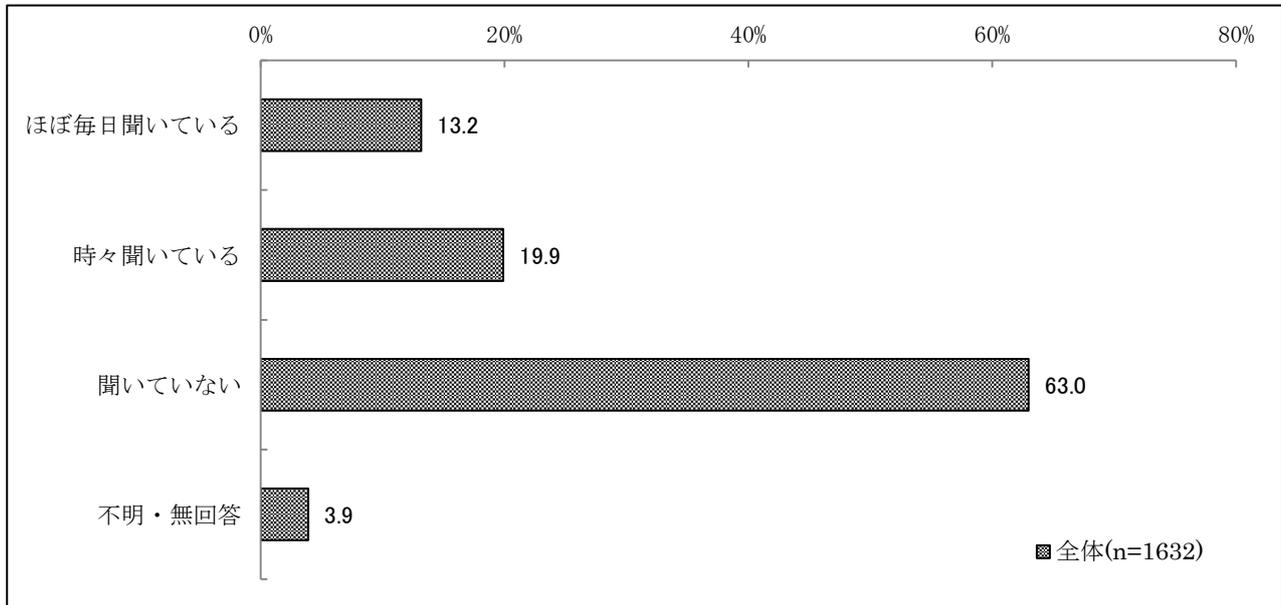
図 4-4 広報テレビ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 4/4



5. 広報ラジオ番組について

(1) ラジオの聴取状況

問 20 普段、ラジオをどのくらい聞いていますか。(○は1つだけ)



— 「ほぼ毎日聞いている」「時々聞いている」は3割強 —

【全体結果】

「ほぼ毎日聞いている」(13.2%)と「時々聞いている」(19.9%)を合わせた『聞いている(以下同様)』割合は、3割強にとどまった。「聞いていない」(63.0%)と答えた割合が最も高く、6割を超えた。

【属性別結果】(図5-1参照)

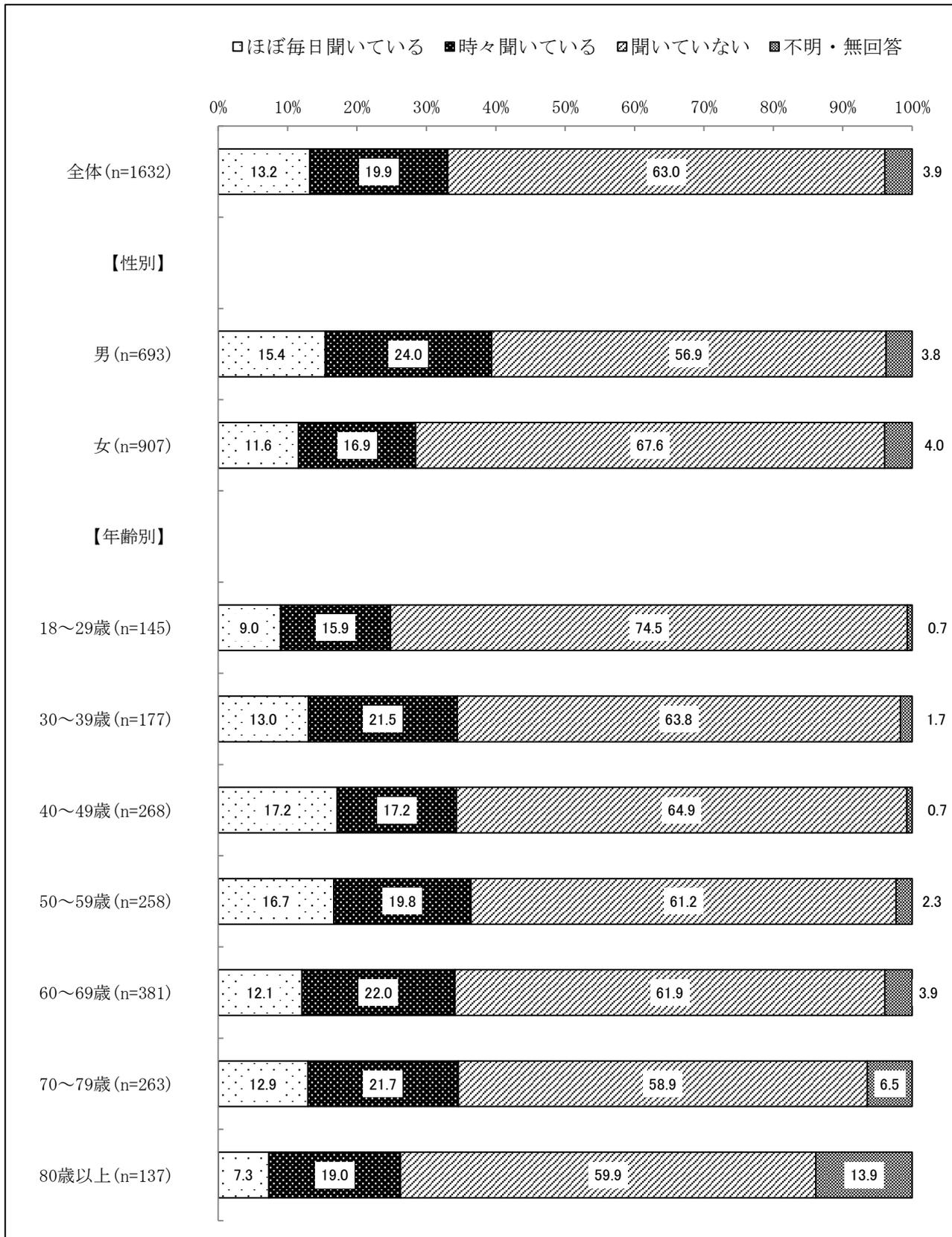
①性別

「ほぼ毎日聞いている」は、女性(11.6%)と比べて男性(15.4%)で割合がやや高い。『聞いている』では、女性が28.4%、男性が39.4%で、差がみられる。

②年齢別

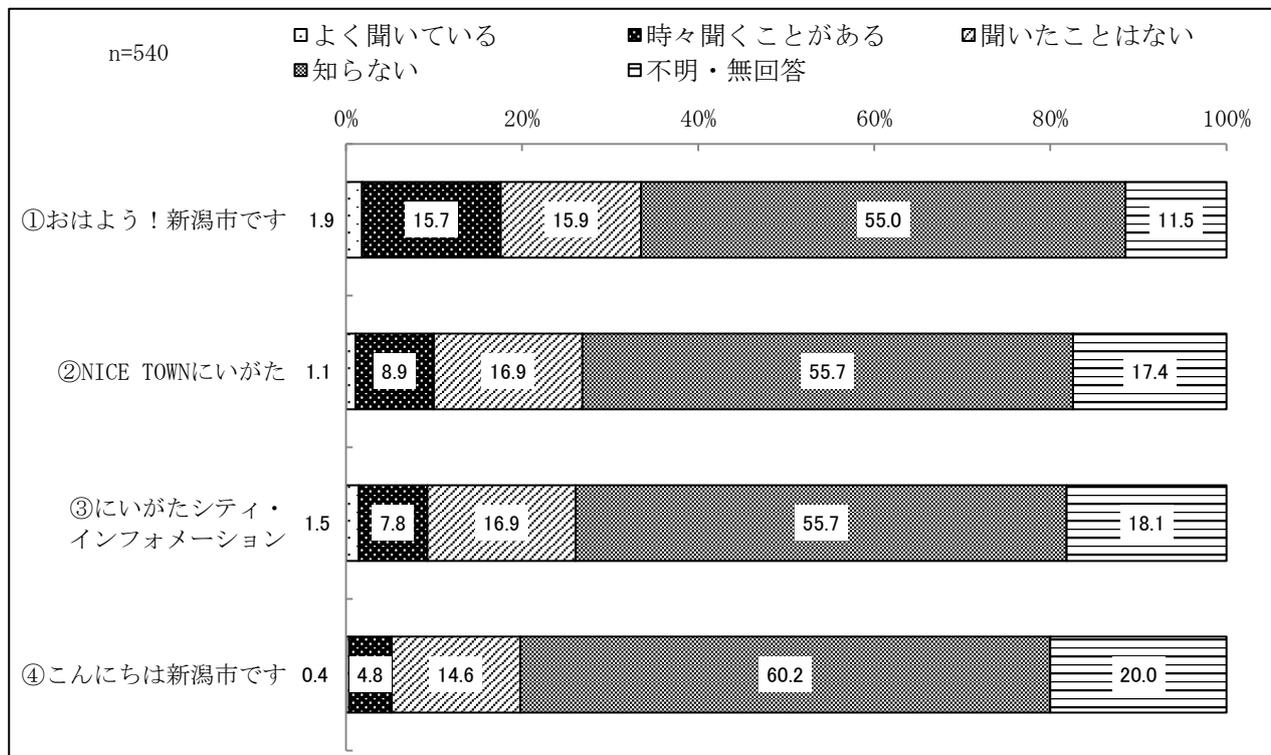
「ほぼ毎日聞いている」は、40代(17.2%)・50代(16.7%)で他の年代と比べて、割合がやや高い。『聞いている』では、30代~70代で3割を超えた。

図 5-1 ラジオの聴取状況（性別/年齢別）



(2) 広報ラジオ番組の認知度

問 21 (問 20 で「ほぼ毎日聞いている」、「時々聞いている」を選んだ方のみ) 次の①～④の広報ラジオ番組を聞いたことがありますか。番組ごとに番号を1つ選んで、○をつけてください。



— 認知度は「①おはよう！新潟市です」が3割以上でトップ —

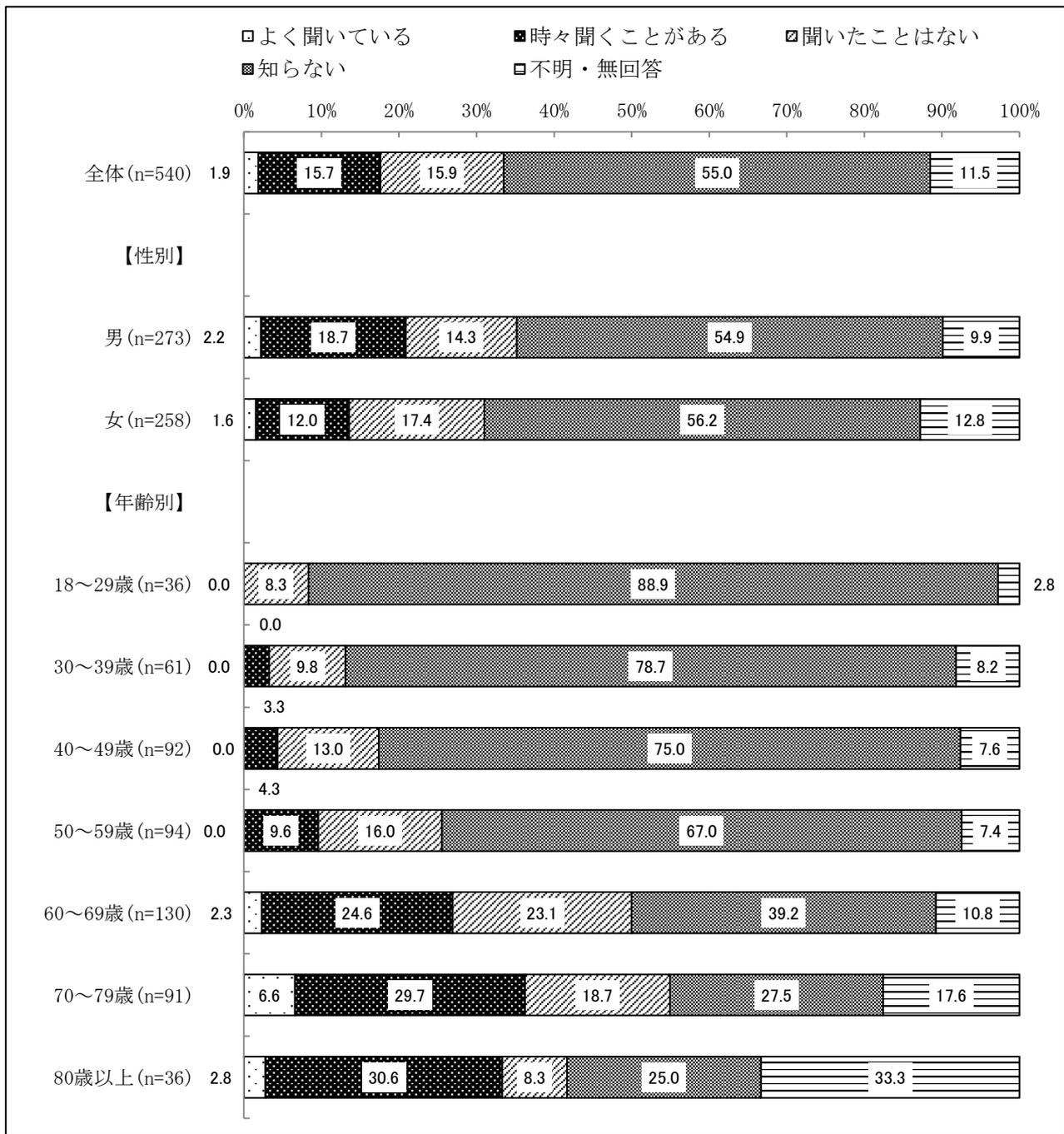
【全体結果】

「よく聞いている」と回答した人はごく僅か。「よく聞いている」「時々聞くことがある」を合わせた割合は、「①おはよう！新潟市です」(17.6%)が2割弱で最も高い。「よく聞いている」「時々聞くことがある」「聞いたことはない」を合わせた『番組の認知度(以下同様)』でも、「①おはよう！新潟市です」(33.5%)と答えた割合が最も高く、3割を超えた。「②NICE TOWNにいがた」(26.9%)、「③にいがたシティ・インフォメーション」(26.1%)で2割台、「④こんにちは新潟市です」(19.8%)で約2割となった。

【属性別結果】

次ページ以降に広報ラジオ番組ごとの性別・年齢別集計結果をまとめた。

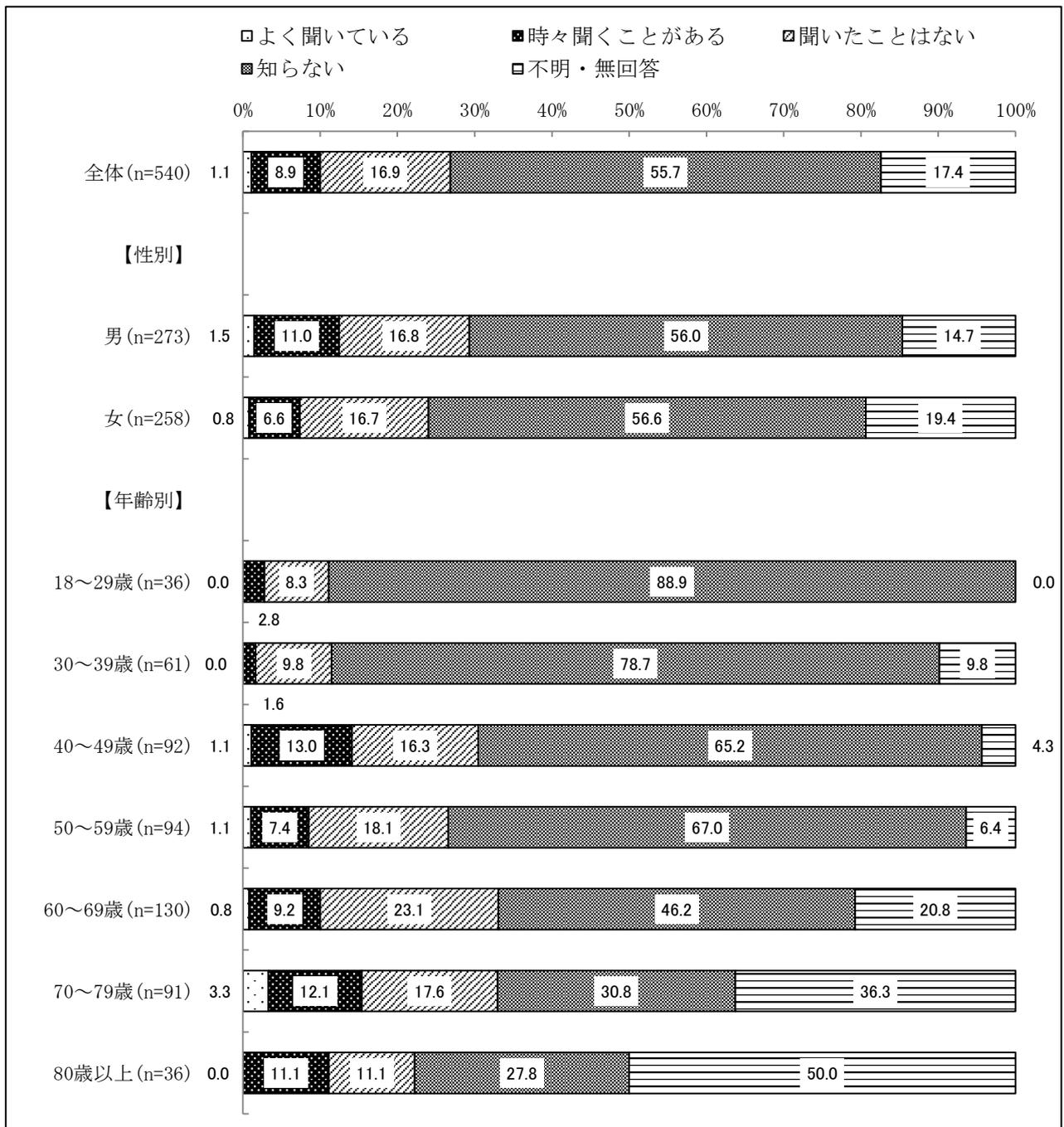
広報ラジオ番組の認知度 ①おはよう！新潟市です



「よく聞いている」「時々聞くことがある」を合わせた割合は、性別で見ると、女性(13.6%)より男性(20.9%)で割合が高い。年齢別で見ると、高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

『番組の認知度』で見ると、性別では、女性(31.0%)より男性(35.2%)で割合がやや高い。年齢別では、高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

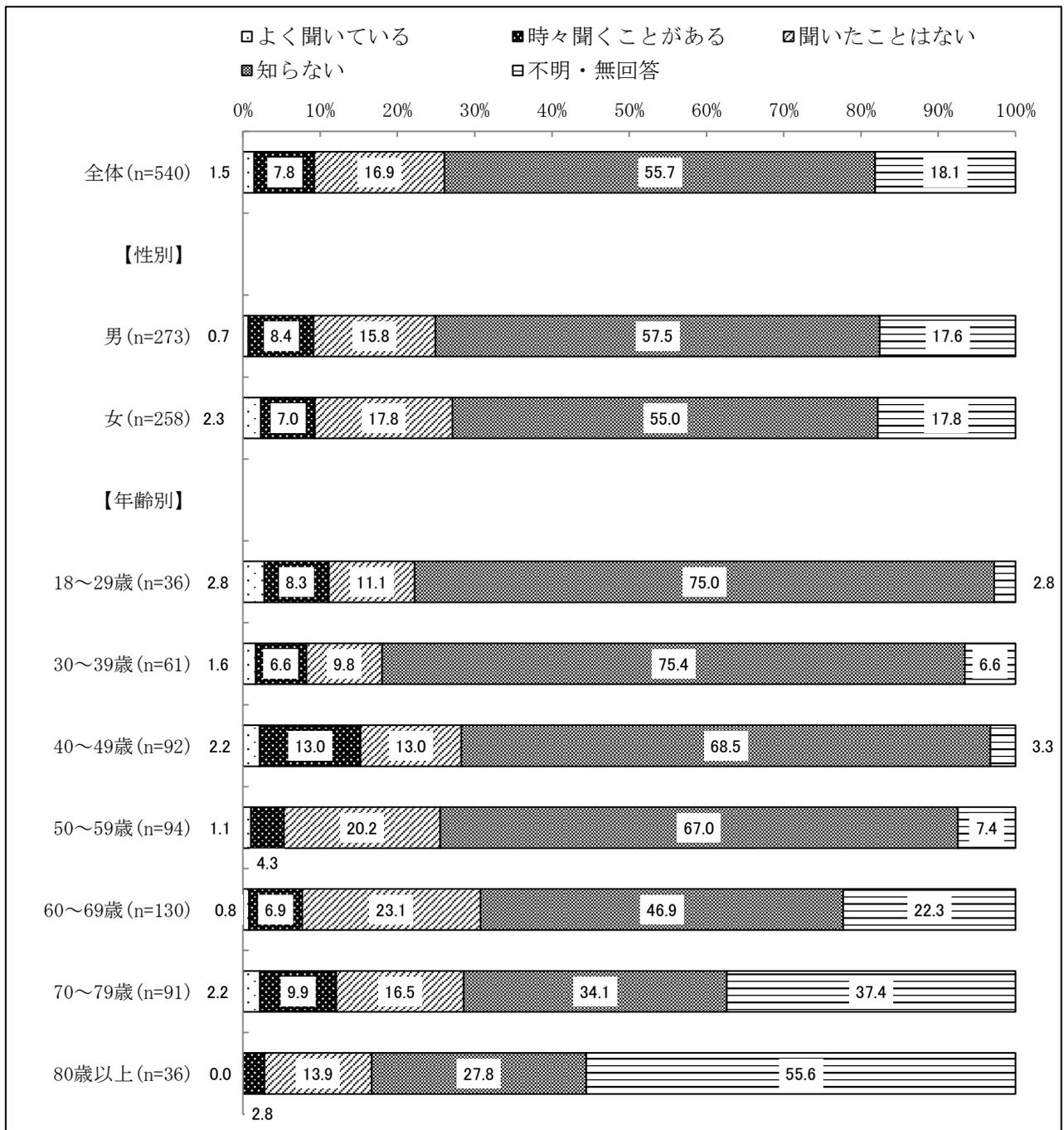
広報ラジオ番組の認知度 ②NICE TOWN にいがた



「よく聞いている」「時々聞くことがある」を合わせた割合は、性別で見ると、女性(7.4%)より男性(12.5%)で割合が高い。年齢別で見ると、40代(14.1%)・70代(15.4%)で他の年代と比べて割合がやや高い。

『番組の認知度』で見ると、性別では、女性(24.0%)より男性(29.3%)で割合がやや高い。年齢別では、40代(30.4%)・60代(33.1%)・70代(33.0%)で3割を超えた。30代以下では1割程度にとどまった。

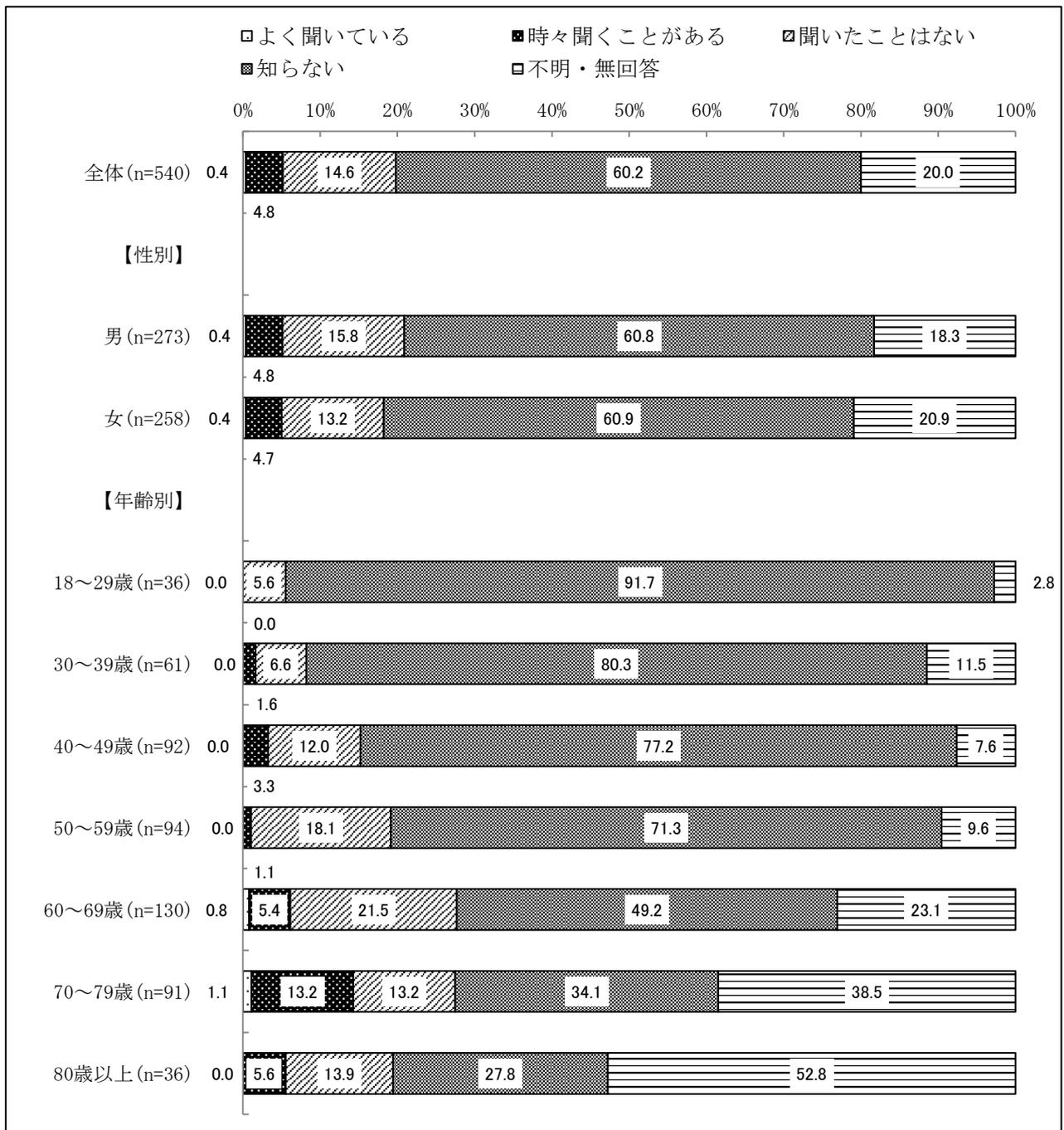
広報ラジオ番組の認知度 ③にいがたシティ・インフォメーション



「よく聞いている」「時々聞くことがある」を合わせた割合は、性別では差はほぼない。年齢別で見ると、40代（15.2%）で最も高い。

『番組の認知度』で見ると、性別では、男性（24.9%）より女性（27.1%）で割合がやや高い。年齢別では、60代（30.8%）が約3割で最も高い。30代（18.0%）・80代以上（16.7%）では2割に満たない。

広報ラジオ番組の認知度 ④こんにちは新潟市です

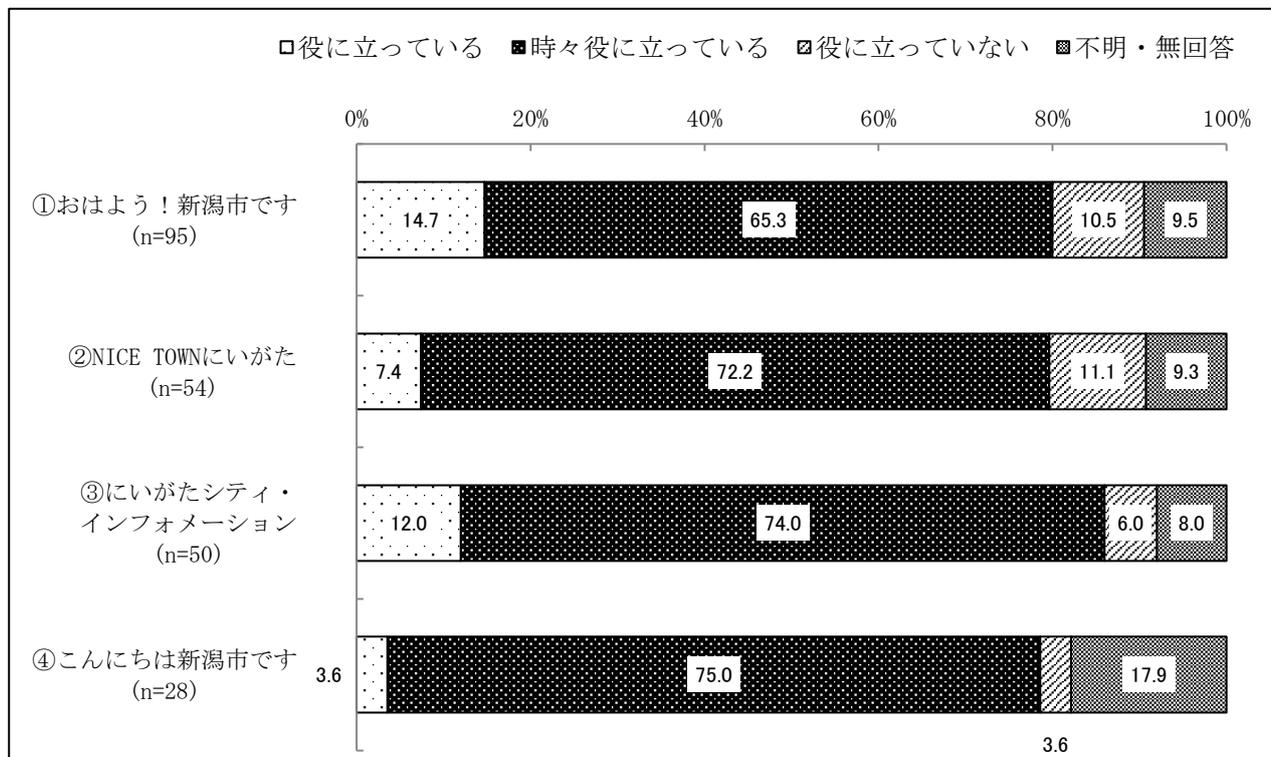


「よく聞いている」「時々聞くことがある」を合わせた割合は、性別での差はない。年齢別で見ると、70代（14.3%）で最も高い。

『番組の認知度』で見ると、性別ではあまり差は見られない。年齢別では、概ね高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。60代（27.7%）・70代（27.5%）が3割弱で、他の年代と比べて割合が高い。

(3) 広報ラジオ番組の有益度

問 21 (問 20 で「よく聞いている」、「時々聞くことがある」を選んだ方のみ) その番組が役に立っているかどうかをA～Cより1つ選んで、○をつけてください。



— 「③にいがたシティ・インフォメーション」で有益度が8割以上、その他の番組でも8割程度 —

【全体結果】(※標本数が少ないため、参考程度にとどめる。)

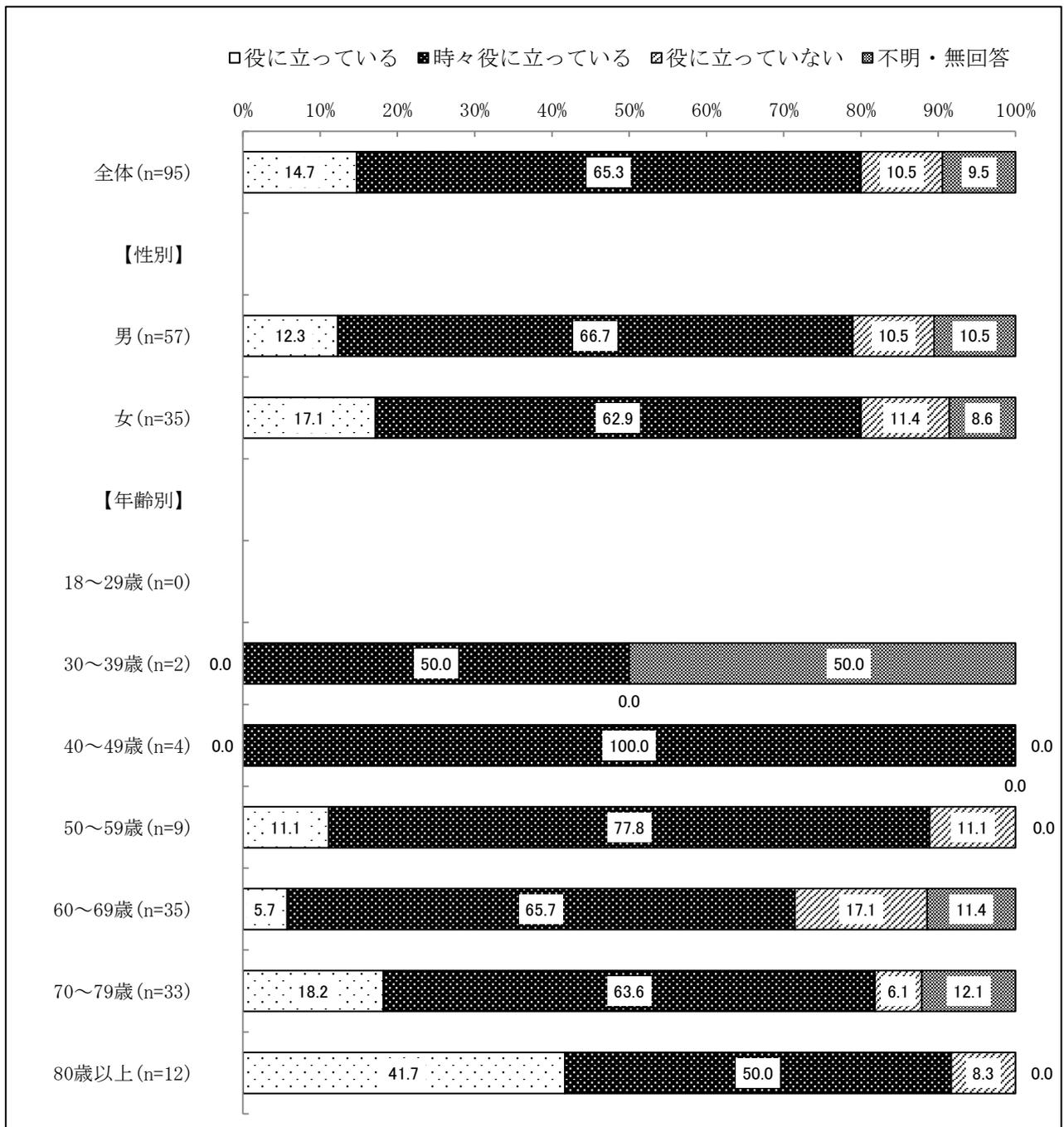
「役に立っている」と答えた割合は、「①おはよう！新潟市です」(14.7%)で最も高い。「役に立っている」「時々役に立っている」を合わせた『番組の有益度』の割合は、「③にいがたシティ・インフォメーション」(86.0%)で最も高く、8割を超えた。その他の番組でも8割前後となった。

【属性別結果】

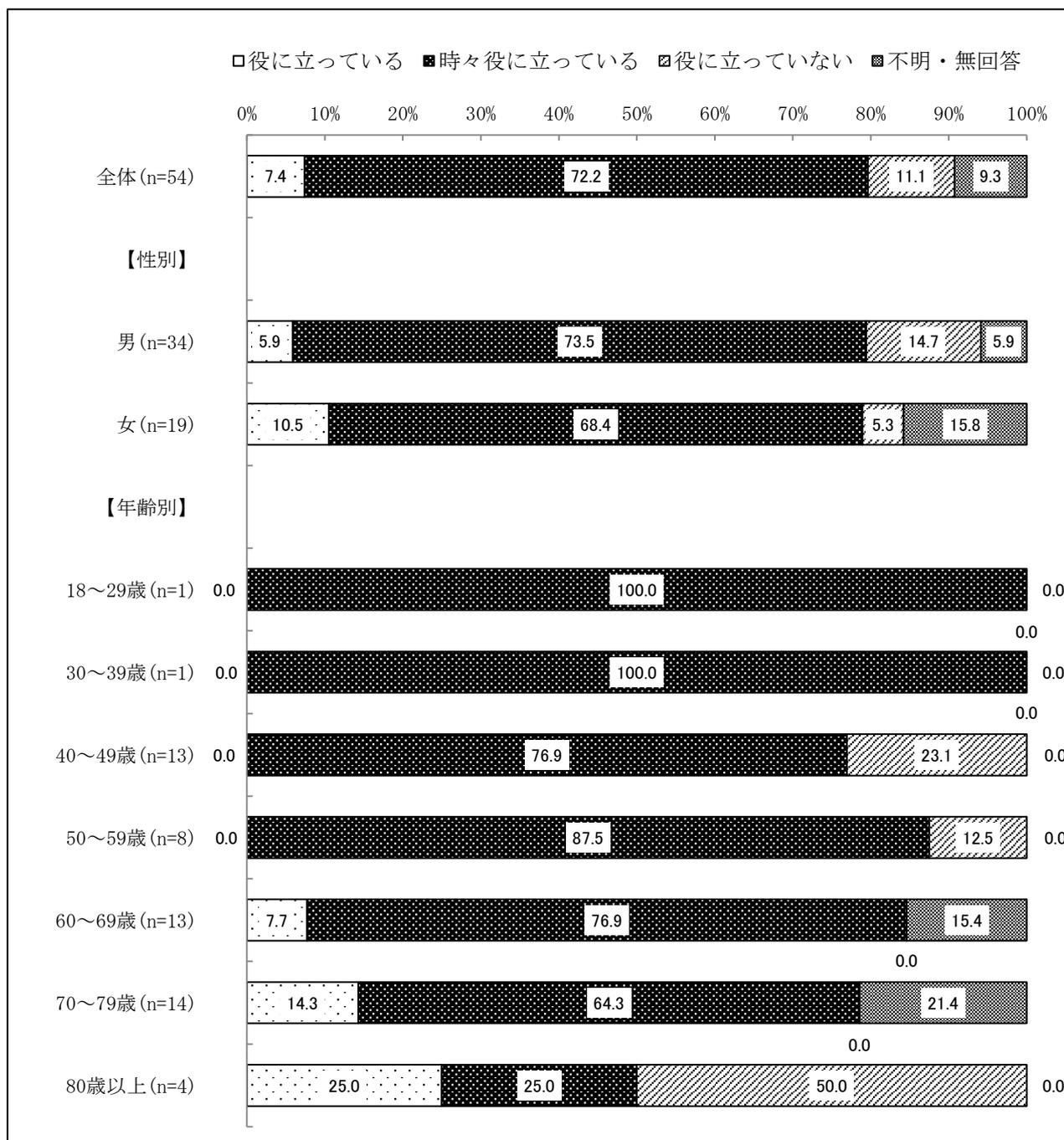
次ページ以降に広報ラジオ番組ごとの性別・年齢別集計結果をまとめた。

※いずれも標本数が少ないため、図のみの掲載とする。

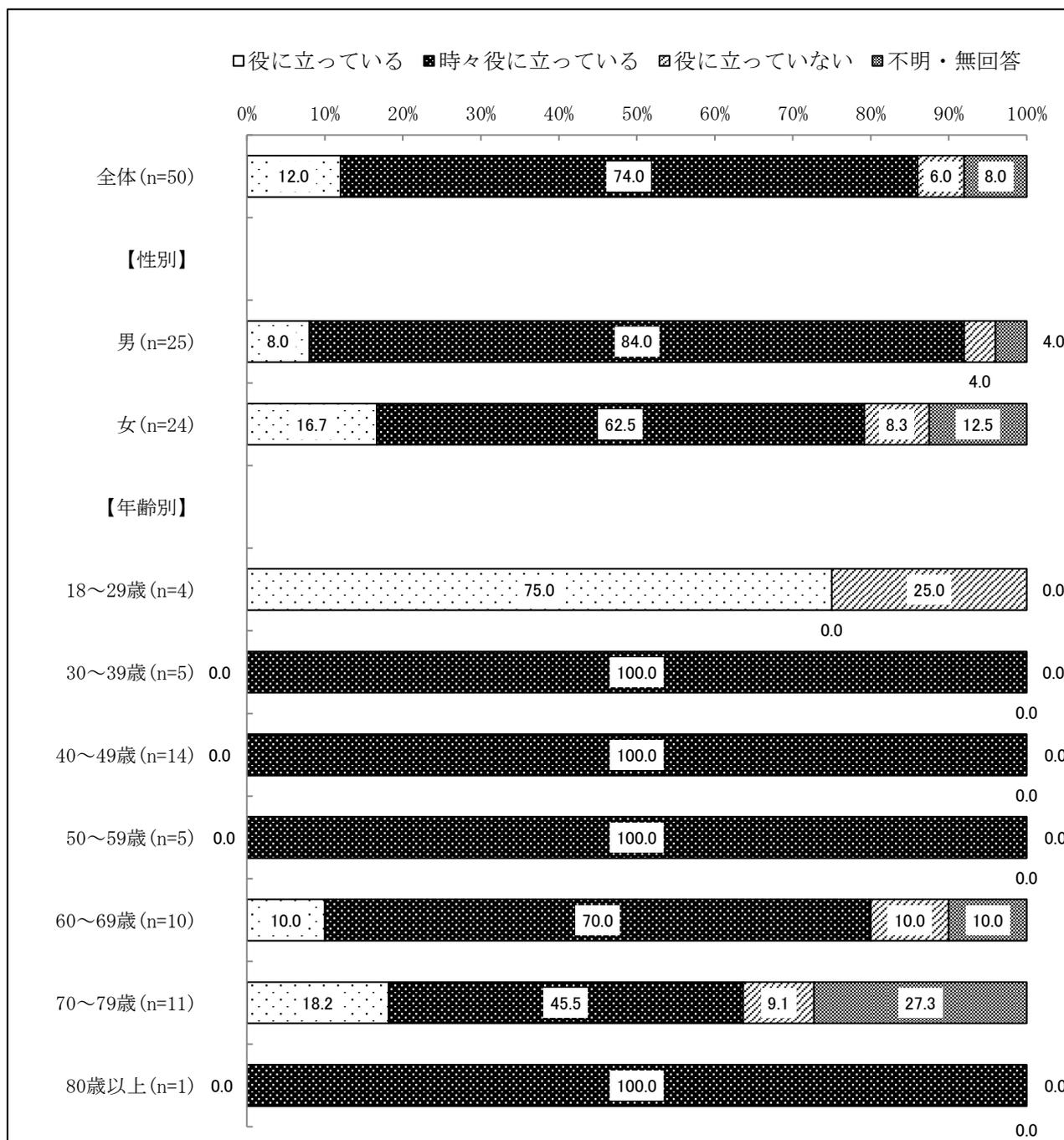
広報ラジオ番組の有益度 ①おはよう！新潟市です



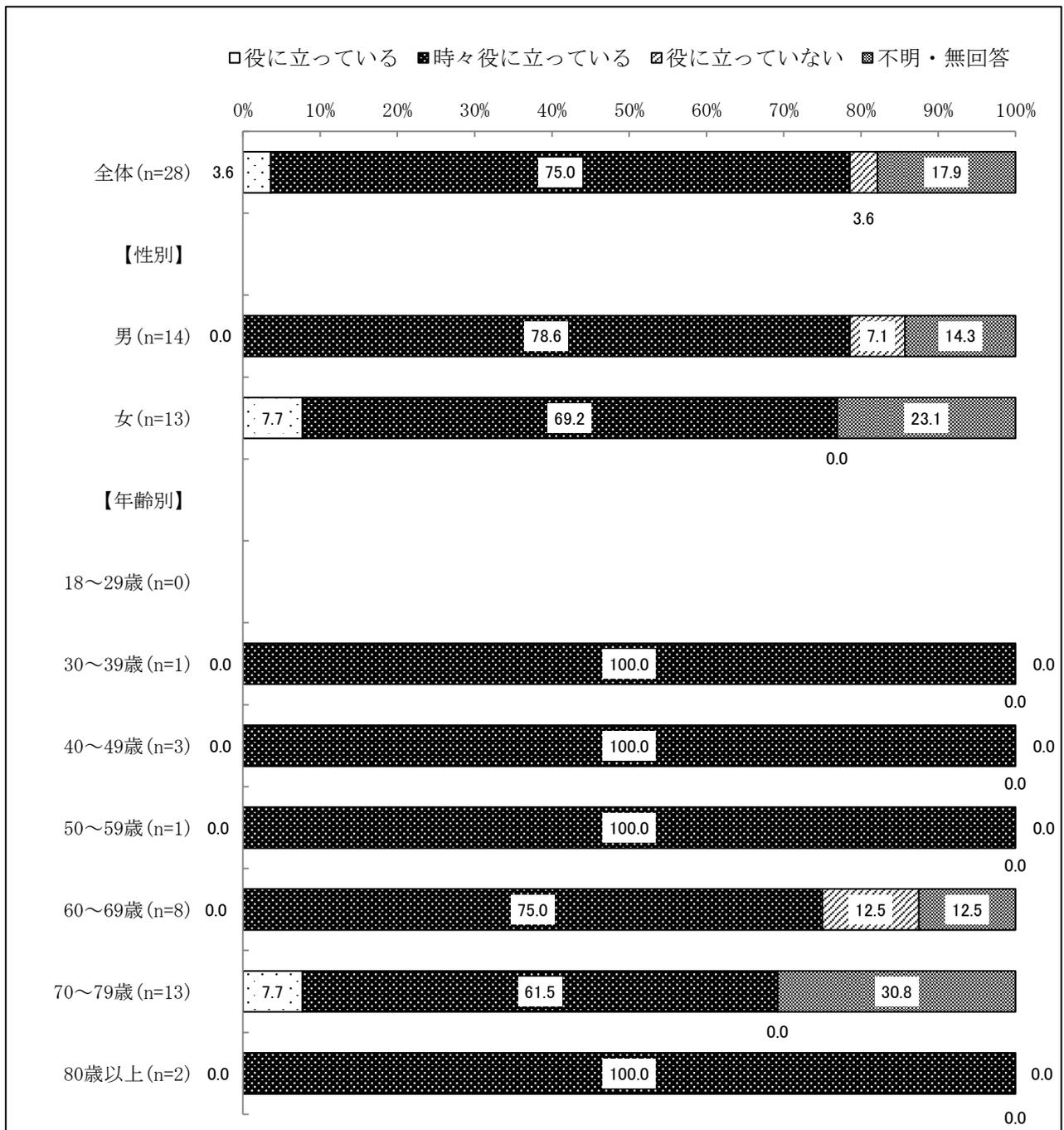
広報ラジオ番組の有益度 ②NICE TOWN にいがた



広報ラジオ番組の有益度 ③にいがたシティ・インフォメーション

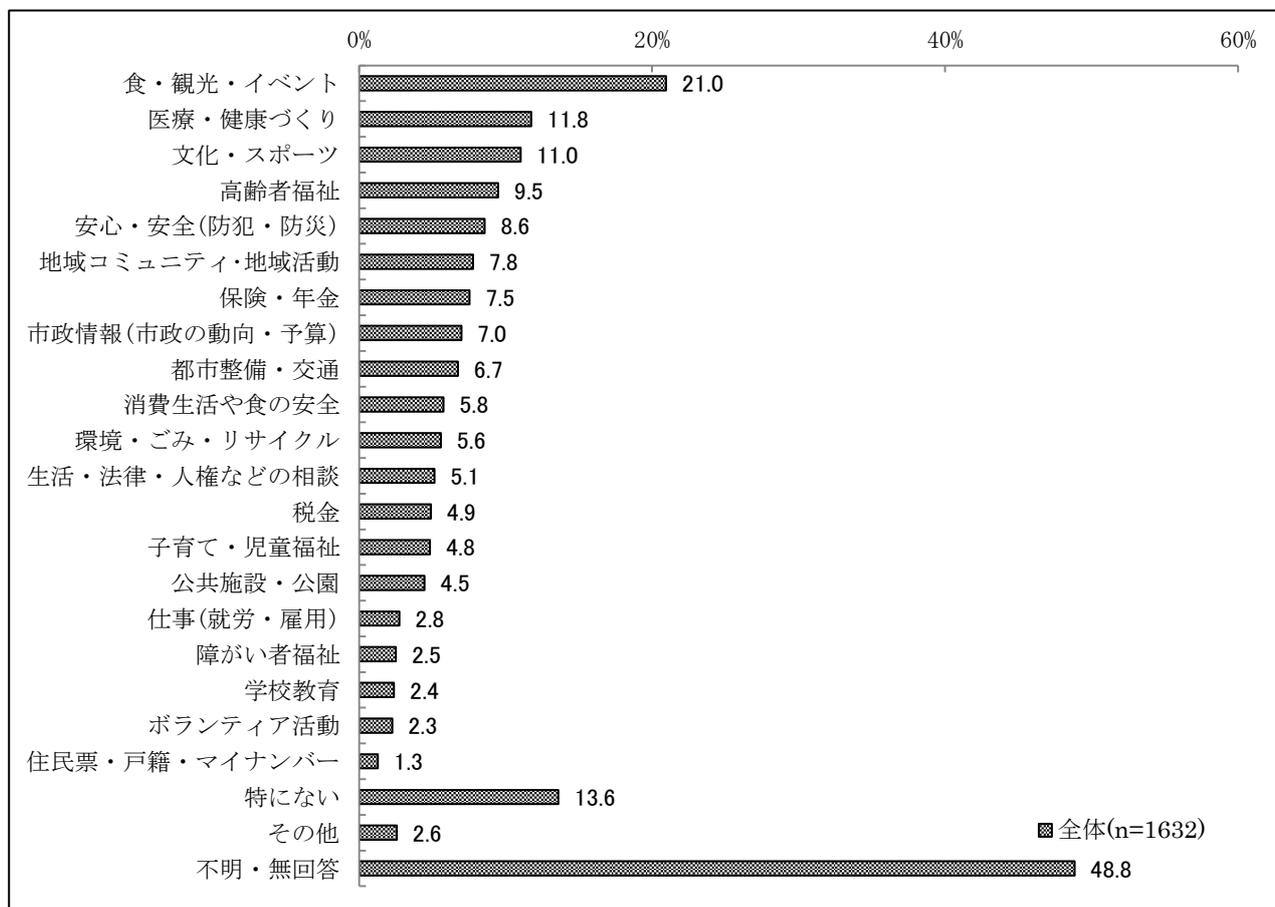


広報ラジオ番組の有益度 ④こんにちは新潟市です



(4) 広報ラジオ番組で充実を望むテーマ

問 22 広報ラジオ番組で広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。広報ラジオ番組を聞いていない方は、どのテーマを放送したら聞いてみたいと思いますか。(〇はいくつでも)



— 「食・観光・イベント」が約2割、「不明・無回答」が約半数 —

【全体結果】

「食・観光・イベント」(21.0%)と答えた割合が最も高い。次いで「医療・健康づくり」(11.8%)、「文化・スポーツ」(11.0%)、「高齢者福祉」(9.5%)、「安心・安全(防犯・防災)」(8.6%)の順に続く。「不明・無回答」が約半数となった。広報ラジオ番組を聞いていない人が多かったためと考えられる。

【属性別結果】(図 5-4 参照)

①性別

「文化・スポーツ」は、女性(9.0%)と比べて男性(14.1%)でやや高い。

②年齢別

「食・観光・イベント」は、40代までは年代が上がるほど割合が高く、40代をピークに高齢層ほど割合が低い。「高齢者福祉」は高齢層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 5-4 広報ラジオ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 1/4

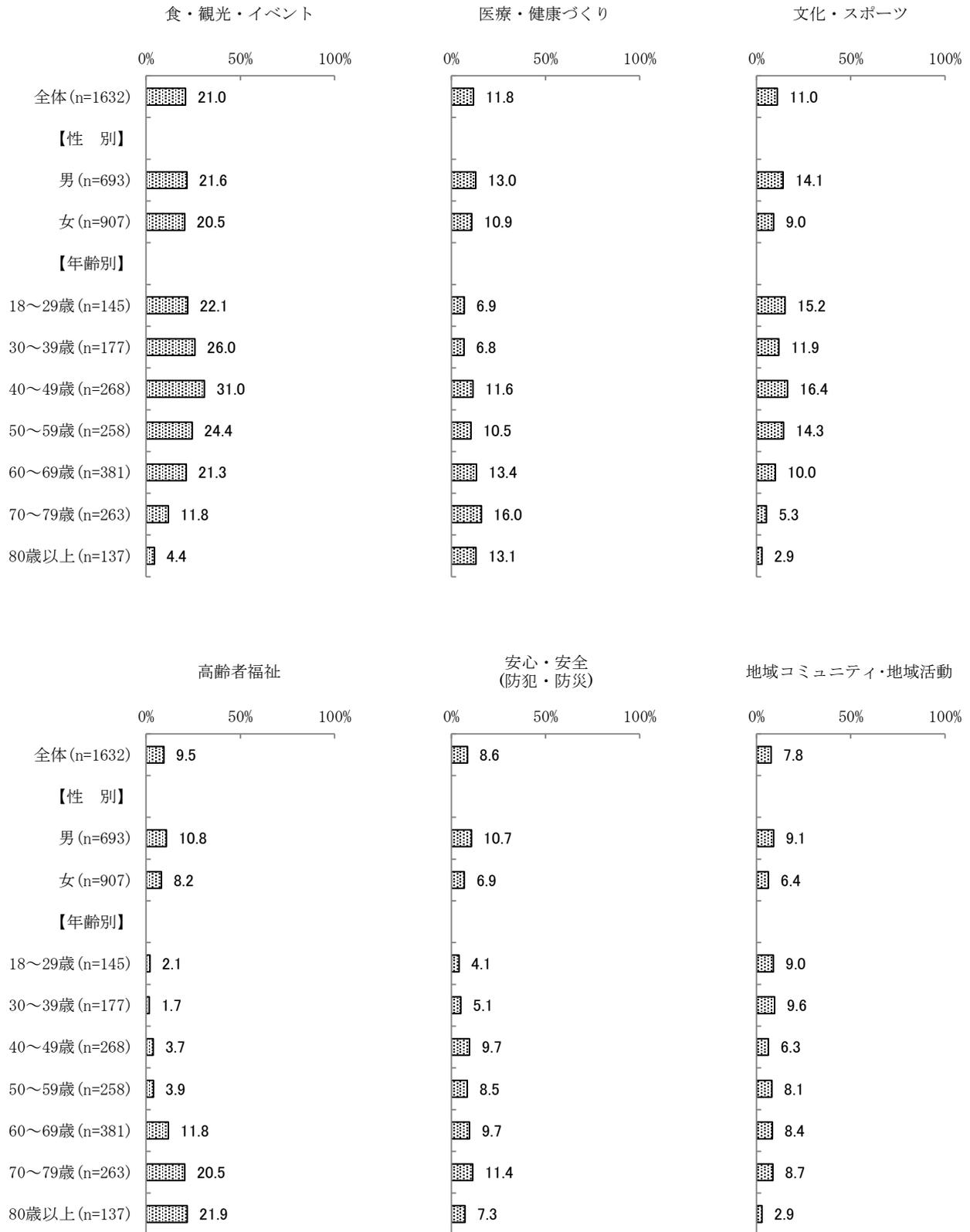


図 5-4 広報ラジオ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 2/4

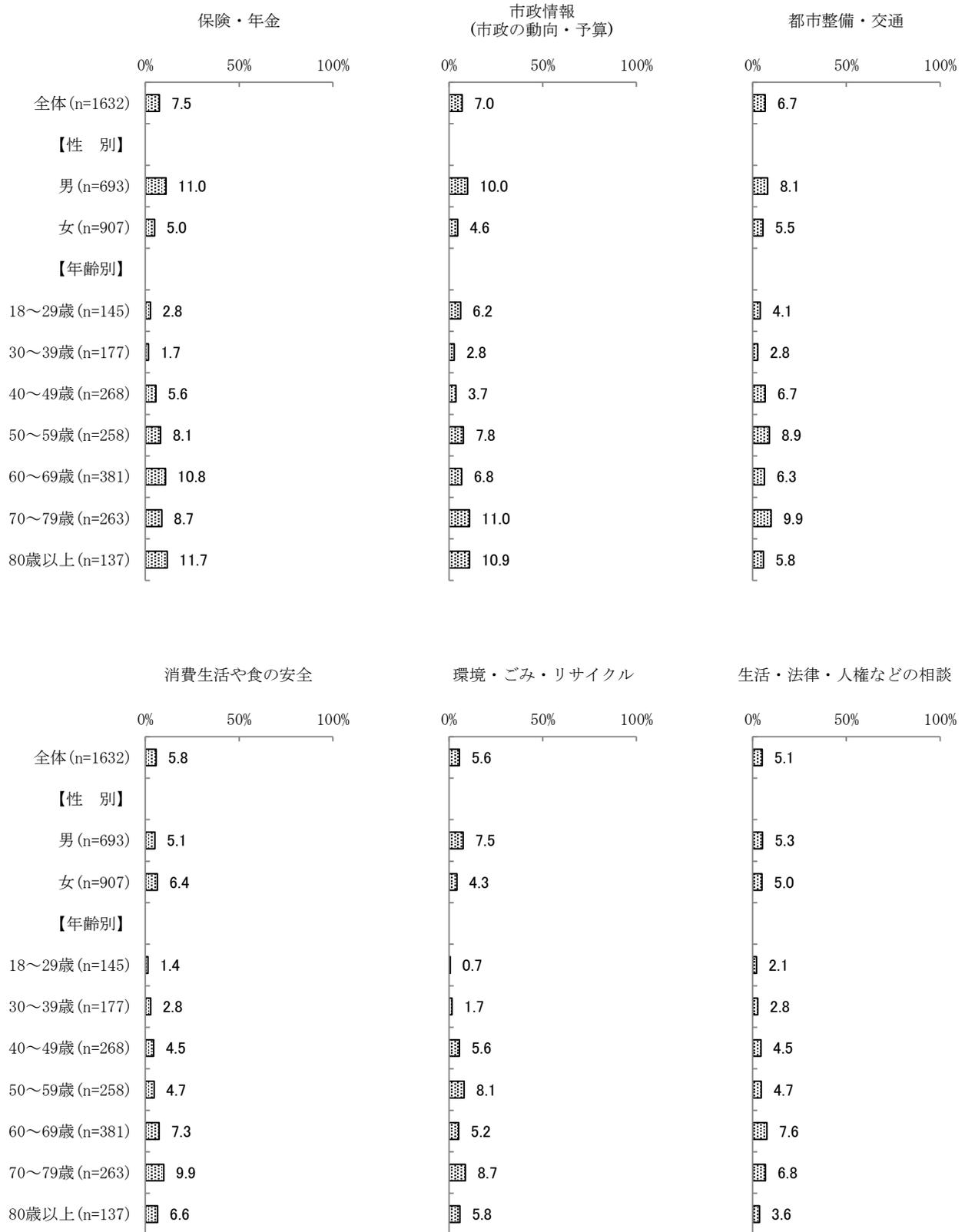


図 5-4 広報ラジオ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 3/4

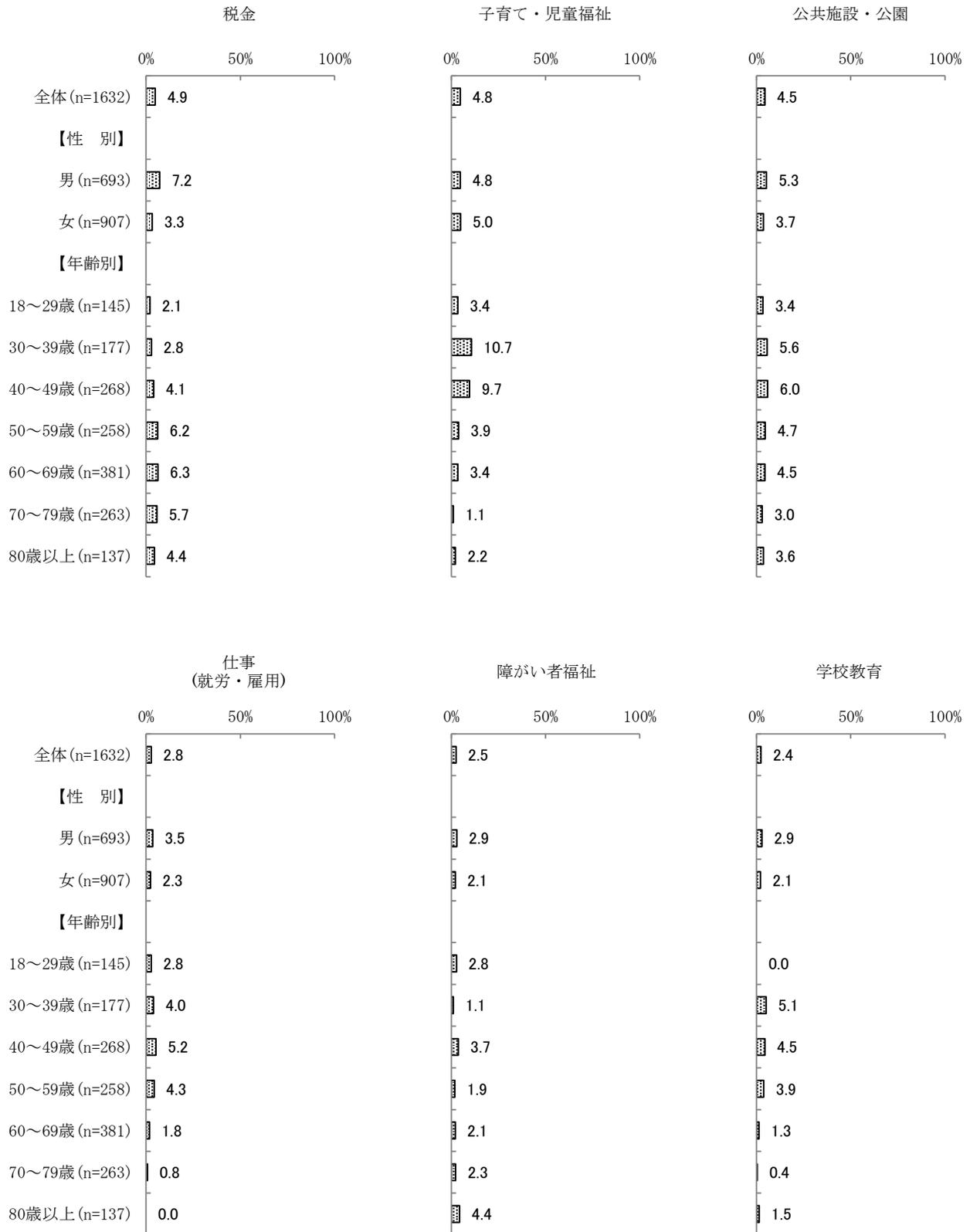
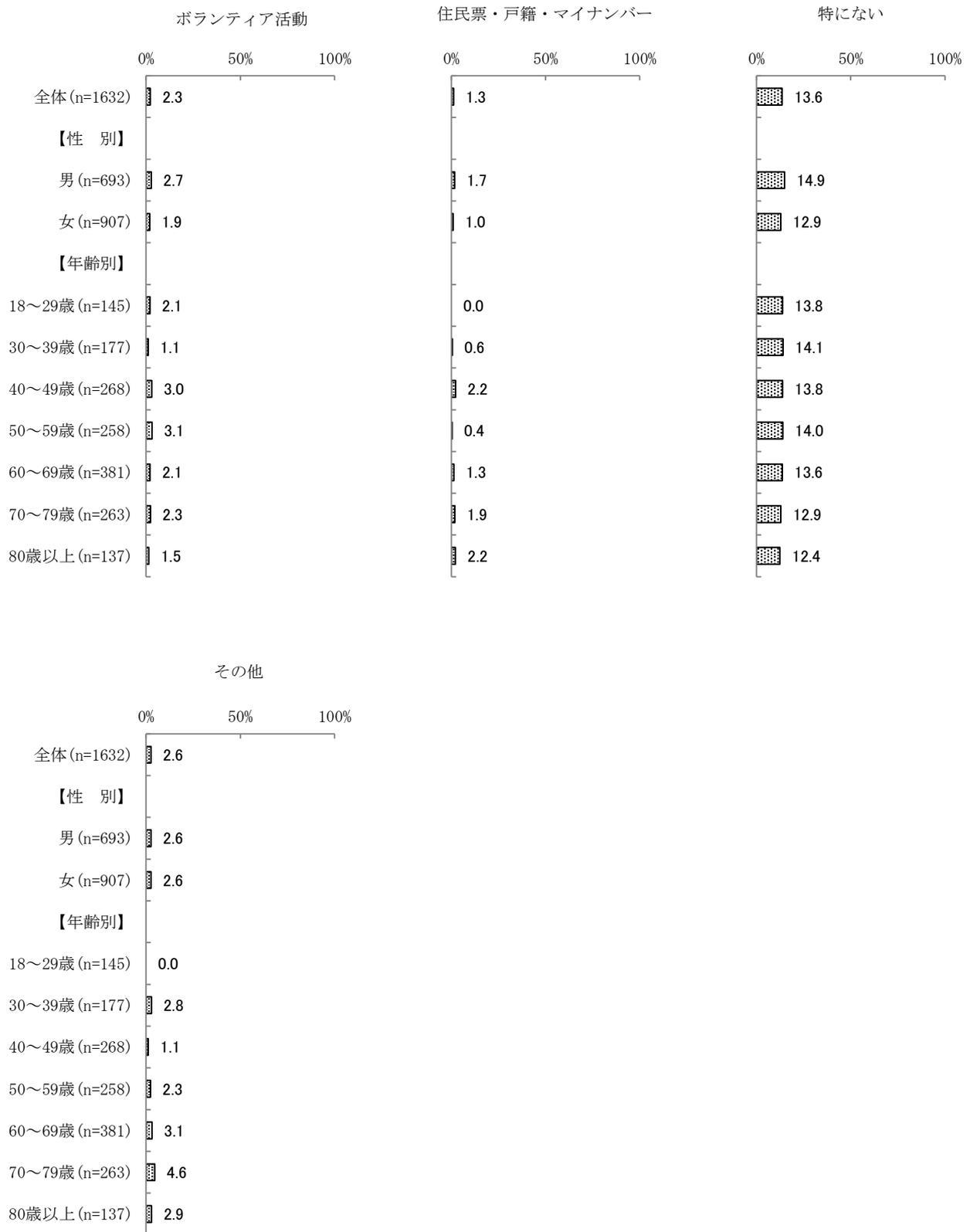


図 5-4 広報ラジオ番組で充実を望むテーマ（性別/年齢別） 4/4

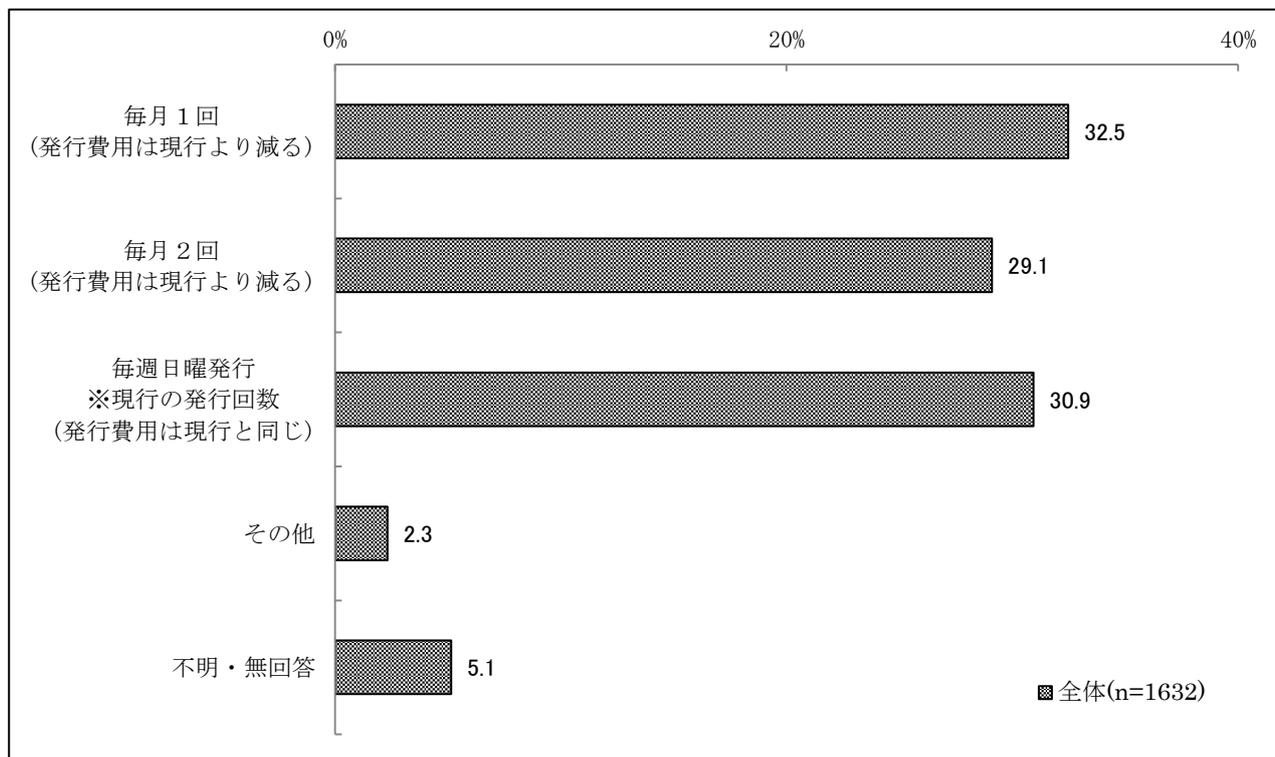


6. 今後のよりよい市政情報の発信のために

(1) 「市報にいがた」の希望発行回数

問 23 「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが適当だと思いますか。それぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。

①市報にいがた



— 6割以上が、現行より発行回数（費用）が減る「毎月1回」「毎月2回」を希望 —

【全体結果】

約3割が、現行の発行回数と同様の「毎週日曜発行」(30.9%)と回答した。「毎月1回」(32.5%)、「毎月2回」にもそれぞれ3割程度が回答し、合わせて6割以上が現行より発行回数（費用）が減る回数を適当だと考えている結果となった。

【属性別結果】(図6-1参照)

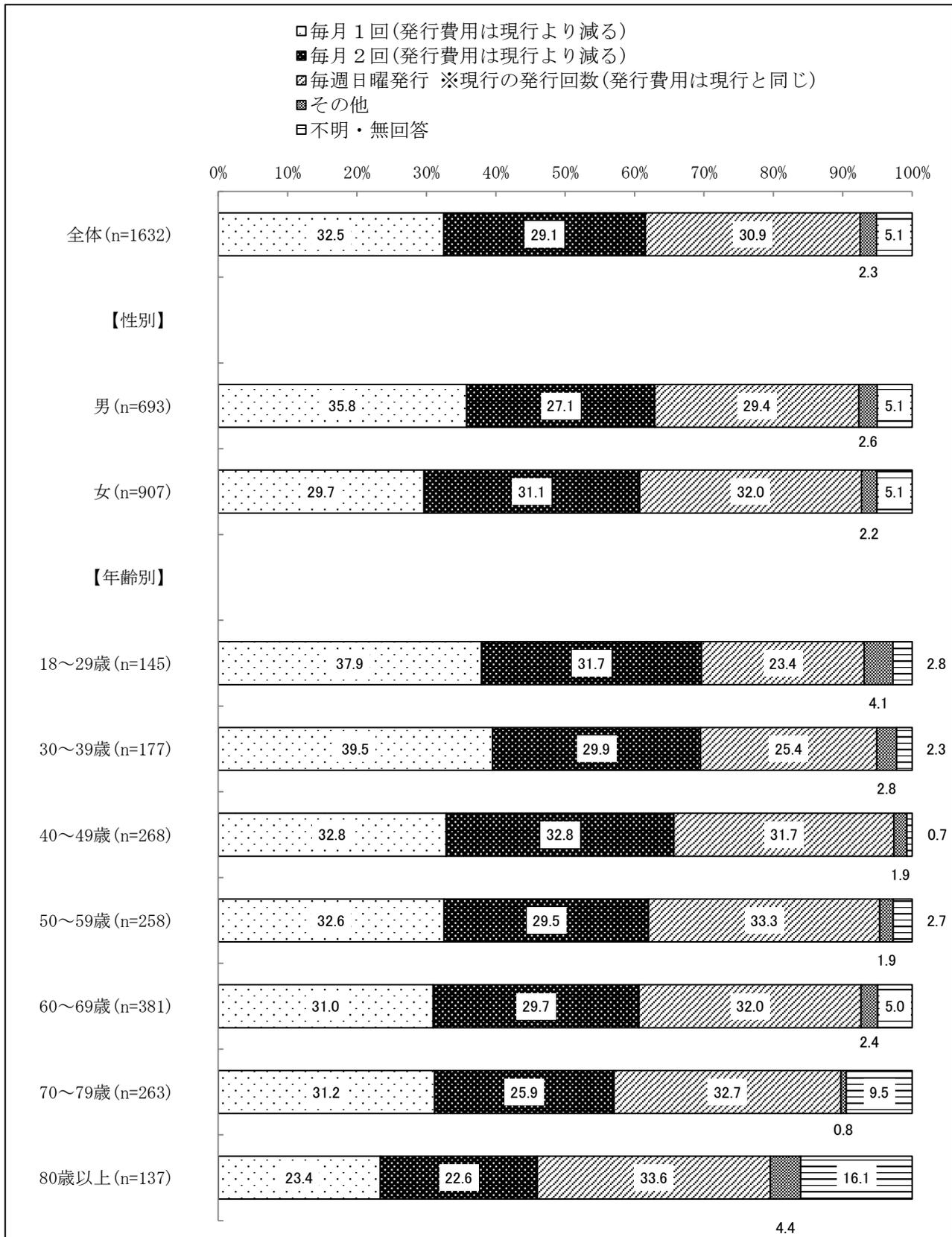
①性別

「毎週日曜発行」で男女差は特にみられない。「毎月1回」は、女性(29.7%)と比べて男性(35.8%)で割合が高く、「毎月2回」は、男性(27.1%)と比べて女性(31.1%)で割合がやや高い。

②年齢別

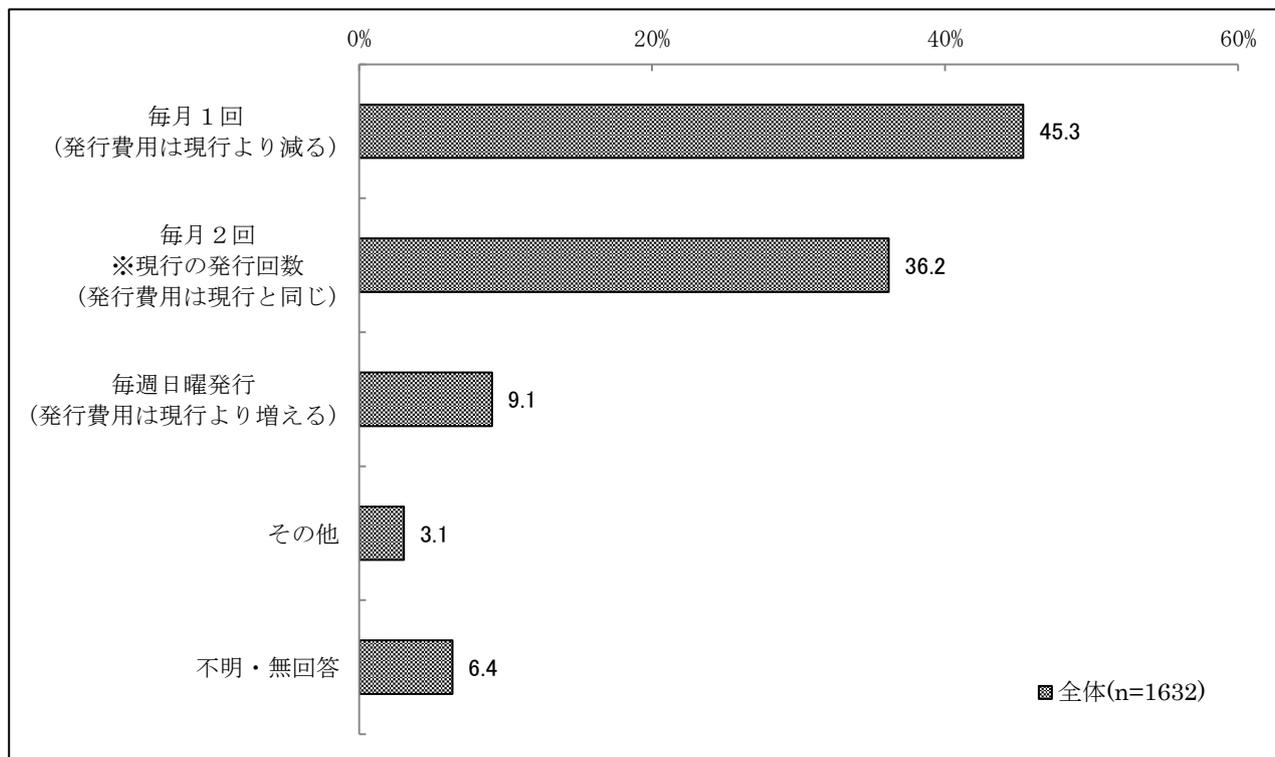
「毎週日曜発行」を希望する年代は、30代以下で2割台、40代以上で3割台と、30代以下と比べて40代以上で割合が高い結果となった。現行より発行回数（費用）が減る「毎月1回」「毎月2回」を合わせた割合は、若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

図 6-1 「市報にいがた」の希望発行回数（性別/年齢別）



(2) 「区役所だより」の希望発行回数

問 23 「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが適当だと思いますか。それぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。
②区役所だより



— 4割以上が、現行より発行回数（費用）が減る「毎月1回」を希望 —

【全体結果】

現行の発行回数と同様の「毎月2回」(36.2%)には、4割弱が回答した。現行より発行回数（費用）が減る「毎月1回」(45.3%)を希望する人が4割以上で、割合が最も高い。現行より発行回数（費用）が増える「毎週日曜発行」は、1割に満たない。

【属性別結果】(図6-2参照)

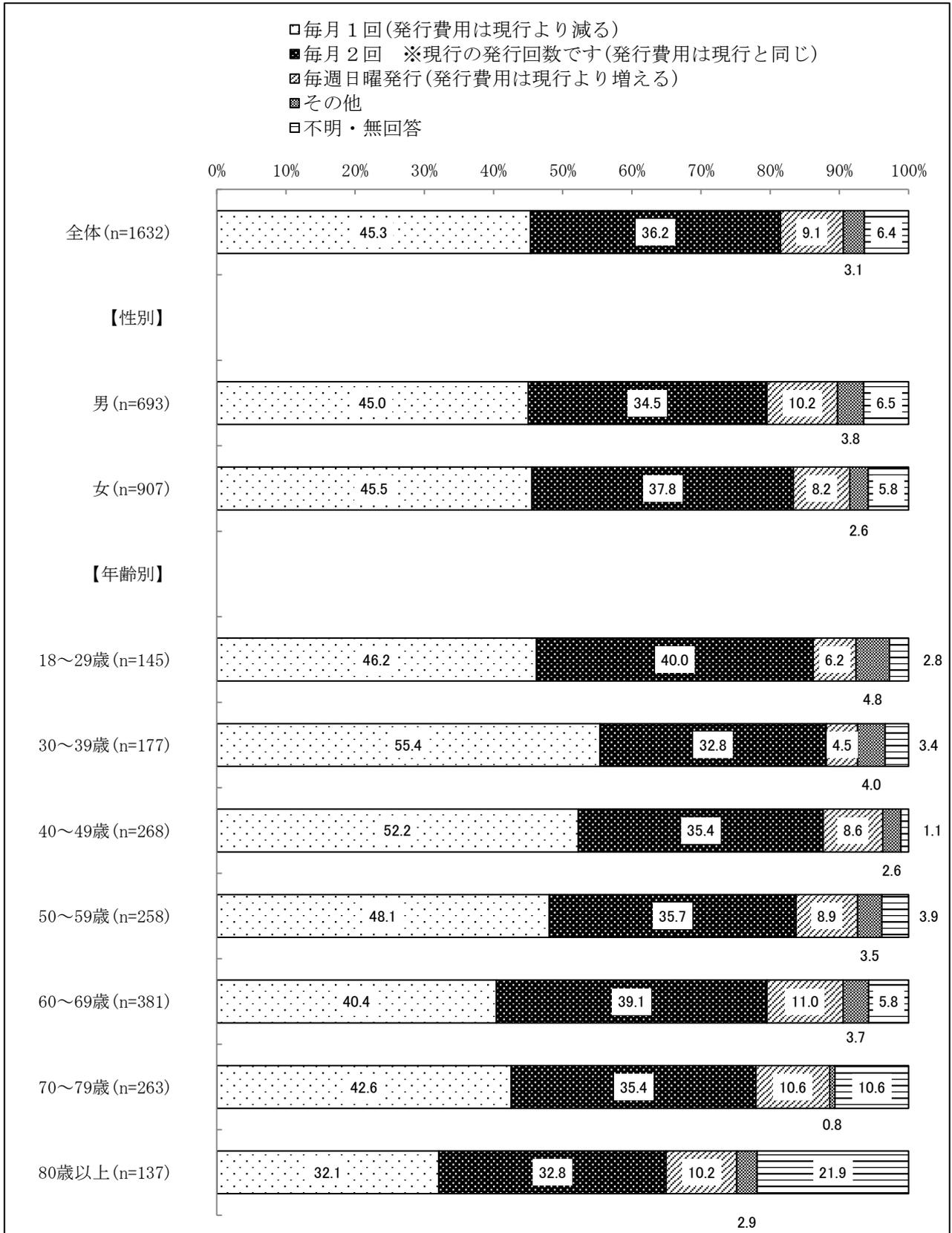
①性別

あまり差は見られない。強いて挙げると、現行の発行回数と同様の「毎月2回」は、男性(34.5%)と比べて女性(37.8%)でやや割合が高い。

②年齢別

現行より発行回数（費用）が減る「毎月1回」は、概ね若年層ほど割合が高い傾向がみられる。30代(55.4%)・40代(52.2%)で他の年代と比べて割合がやや高く、5割を超えた。

図 6-2 「区役所だより」の希望発行回数（性別/年齢別）



Ⅲ アンケート依頼票・調査票様式

平成 28 年度 新潟市の広報に関するアンケート

ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本市では市民の皆さまに、より効果的・効率的に市政情報をお届けするため、随時、広報手段の見直しを行っております。

この度、一層充実した広報を目的に、無記名のアンケートを実施させていただくことになりました。市政情報の入手手段や広報媒体の認知度などをお伺いするもので、市内にお住まいの 18 歳以上の方の中から無作為に 3,000 人の方を選び、あなた様をお願いすることになりました。

つきましては、お手数をお掛けしますが趣旨をご理解いただき、調査票にご記入の上、返信用封筒で **2月7日(火)まで** にご投函くださいますようお願いいたします。

なお、ご記入いただいた内容は個人情報に配慮し統計的に処理しますので、個人のお名前やご住所などが公表されることは絶対にございませぬ。また、いただいた情報は、前述の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

平成 29 年 1 月 23 日

新潟市長 篠田 昭

【ご記入にあたって】

- 1 **必ず宛名の方ご自身がご回答**ください。(代筆でも構いません)
- 2 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もありますので、質問の説明に従って
お答えください。
- 3 回答は、当てはまる項目の**番号**に○をつけてください。質問文の後ろに
(○は1つだけ)、(○はいくつでも)などのことわり書きがあります。

アンケートの内容で、不明な点など
ございましたらお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

新潟市広報課

電話：025-226-2089

FAX：025-223-5588

E-mail：koho@city.niigata.lg.jp

平成 28 年度 新潟市の広報に関するアンケート

【問 1】 あなたの性別は。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

【問 2】 あなたの年齢は。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 18・19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 |
| 4 40～49 歳 | 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 |
| 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上 | |

【問 3】 あなたのご職業は何ですか。(○は 1 つだけ)

※複数の職業をお持ちの方は、主なものを 1 つだけお選びください

- | |
|--------------------------------|
| 1 農・林・漁業(農業・林業・漁業の自営者) |
| 2 商・工・サービス業(小売店・飲食店・理髪店・修理店など) |
| 3 自由業(開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など) |
| 4 管理職(民間会社・官公庁の課長職以上) |
| 5 事務職・専門技術職(事務職員・教員・技術者など) |
| 6 技能・労務職(技能工・販売店員・外交員など) |
| 7 家事専業 |
| 8 学生 |
| 9 無職 |
| 10 その他 |

【問 4】 あなたのお住まいは何区ですか。(○は 1 つだけ)

- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 1 北区 | 2 東区 | 3 中央区 | 4 江南区 |
| 5 秋葉区 | 6 南区 | 7 西区 | 8 西蒲区 |

【問 5】 あなたは新潟市に通算して何年住んでいますか。(○は 1 つだけ)

※合併前の市町村での居住年数も含めてお答えください

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1 2 年未満 | 2 2～5 年未満 | 3 5～10 年未満 |
| 4 10～20 年未満 | 5 20 年以上 | |

【問 6】 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれに当たりますか。

(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-----------------|--------|---------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 2 世代世帯(親と子) |
| 4 3 世代世帯(親と子と孫) | 5 その他 | |

1 市政情報の入手方法

【問7】 普段、市や区の情報(事業や行事、お知らせなど)をどのようなものから得ていますか。最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

市の広報媒体	広報紙 (市報にいがた 区役所だより)	1	紙版
		2	市公式ホームページ版
		3	アプリ版 (名称:マチイロ 平成28年8月21日発行号から配信中)
		4	ウェブ版 (名称:マイ広報紙 平成28年8月21日発行号から配信中)
	インターネット	5	市公式ホームページ (http://www.city.niigata.lg.jp/)
	広報テレビ ・ラジオ番組	6	広報テレビ番組 (さわやか新潟/BSN・年4回 いきいき新潟/TeNY・毎週土曜 新潟市政ニュース/NST・毎週日曜 知ットク!新潟/UX・毎週日曜 水の都新潟市/NCV・毎月第2・4土・日曜)
		7	広報ラジオ番組 (おはよう!新潟市です/BSN・毎週土曜 NICE TOWN にいがた/FM新潟・毎週土曜 新潟シティ・インフォメーション /FM Port・毎週土曜 こんにちは新潟市です /FM KENTO・毎週土・日曜)
	刊行物	8	暮らしのガイド
		9	市が発行するポスター・チラシなど
		10	回覧物
市以外の広報媒体	11	新聞	
	12	テレビ番組	
	13	ラジオ番組	
	14	インターネット	
	15	雑誌・フリーペーパー	
	16	その他()	

2 「市報にいがた」・「区役所だより」について

市の広報紙「市報にいがた」と「区役所だより」は、現在、下表のとおり発行しています。

名称 (区分・ページ数)	市報にいがた (全市版・4～8ページ分)	区役所だより (区版・3ページ分)
発行日	毎週日曜	毎月第1、3週の日曜
発行形態	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、3週は「区役所だより」との合体版として発行 ・第2、4、5週は「市報にいがた」単独で発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、3週に「市報にいがた」との合体版として発行
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策や事業に関すること ・市や区が主催(共催)する行事などで全市的なもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の事業に関すること ・区が主催(共催)する行事などで地域に密着したもの
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込み } (新潟日報、読売新聞、産経新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞) ・個別配送(新聞未購読で希望する世帯) 	
発行部数	1号あたり約280,000部	

【問8】「市報にいがた」・「区役所だより」を読んでいますか。(○は1つだけ)

<p>1 ほぼ毎号読んでいる</p> <p>2 半分くらい読んでいる</p> <p>3 ほとんど読まない</p> <p>4 読んでいない</p>	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; height: 20px; margin: 0 auto 20px auto;"></div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; height: 20px; margin: 0 auto 20px auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto 20px auto;">【問9】～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【問10】～</div>
--	---	--

※【問8】で1、2を選んだ方にお伺いします

【問9】「市報にいがた」・「区役所だより」を読んできて、良かったこと・役に立ったことはありますか。(○は1つだけ)

<p>1 ほぼ毎週ある</p> <p>2 時々ある</p> <p>3 特にない</p>

※【問11】にお進みください

※【問8】で3、4を選んだ方にお伺いします

【問10】「市報にいがた」・「区役所だより」をほとんど読まない、または読んでいない理由は何ですか。

(○は1つだけ)

1	必要な情報は他の手段で得ている (新聞・テレビ・インターネットなど)
2	読みにくい(文字が小さい、文字量が多いなど)
3	市の情報(事業や行事、お知らせなど)に関心がない
4	知らない・届いていない
5	その他()

※【問11】にお進みください

【問11】「市報にいがた」・「区役所だより」での広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。

「市報にいがた」・「区役所だより」をほとんど読まない、または読んでいない方は、どのテーマが載っていたら読んでみたいと思いますか。

(○はいくつでも)

1	市政情報(市政の動向・予算)	12	ボランティア活動
2	住民票・戸籍・マイナンバー	13	医療・健康づくり
3	公共施設・公園	14	高齢者福祉
4	安心・安全(防犯・防災)	15	障がい者福祉
5	税金	16	子育て・児童福祉
6	保険・年金	17	学校教育
7	仕事(就労・雇用)	18	文化・スポーツ
8	環境・ごみ・リサイクル	19	食・観光・イベント
9	消費生活や食の安全	20	生活・法律・人権などの相談
10	都市整備・交通	21	特にない
11	地域コミュニティ・地域活動	22	その他()

3 市公式ホームページについて

【問 12】 普段、インターネットをどのくらい利用していますか。(○は1つだけ)

1 ほぼ毎日利用している	}	【問 13】 へ
2 時々利用している		
3 利用していない	—	【問 17】 へ

※【問 12】で1、2を選んだ方にお伺いします

【問 13】 市公式ホームページをどのくらい利用していますか。(○は1つだけ)

1 よく利用している	}	【問 14】 へ
2 時々利用している		
3 利用していない	—	【問 15】 へ

※【問 13】で1、2を選んだ方にお伺いします

【問 14】 市公式ホームページには、どのような機器・端末を使ってアクセスしていますか。(○はいくつでも)

1 パソコン	2 スマートフォン	3 タブレット端末
4 携帯電話	5 その他	

※【問 16】にお進みください

※【問 13】で3を選んだ方にお伺いします

【問 15】 市公式ホームページを利用していない理由は何ですか。

(○は1つだけ)

1 必要な情報は他の手段で得ている (新聞・テレビ・インターネットなど)
2 市や区の情報(事業や行事、お知らせなど)に関心がない
3 市公式ホームページがあることを知らない
4 その他()

※【問 16】にお進みください

【問 16】市公式ホームページでの広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。

市公式ホームページを利用していない方は、どのテーマが載っていたら利用してみたいと思いますか。

(○はいくつでも)

1 市政情報(市政の動向・予算)	12 ボランティア活動
2 住民票・戸籍・マイナンバー	13 医療・健康づくり
3 公共施設・公園	14 高齢者福祉
4 安心・安全(防犯・防災)	15 障がい者福祉
5 税金	16 子育て・児童福祉
6 保険・年金	17 学校教育
7 仕事(就労・雇用)	18 文化・スポーツ
8 環境・ごみ・リサイクル	19 食・観光・イベント
9 消費生活や食の安全	20 生活・法律・人権などの相談
10 都市整備・交通	21 特にない
11 地域コミュニティ・地域活動	22 その他()

4 広報テレビ番組について

【問 17】普段、テレビをどのくらい視聴していますか。(○は1つだけ)

1 ほぼ毎日視聴している	}	【問 18】へ
2 時々視聴している		
3 視聴していない	—	【問 20】へ

※【問17】で1、2を選んだ方にお伺いします

【問18】 次の①～⑤の広報テレビ番組を視聴したことがありますか。

番組ごとに番号を1つ選んで、○をつけてください。

また、3「時々視聴している」、4「よく視聴している」を選んだ方は、その番組が役に立っているかどうかを、A～Cより1つ選んで○をつけてください。

	番組の認知度					左で3、4を選んだ番組の有益度		
	知らない	知っている				役に立っている	時々役に立っている	役に立っていない
		ない	視聴したことは	時々視聴している				
①さわやか新潟 (BSN 新潟放送 年4回放送)	1	2	3	4	➔	A	B	C
②いきいき新潟 (TeNY テレビ新潟 毎週土曜 11:40～11:45)	1	2	3	4	➔	A	B	C
③新潟市政ニュース (NST 新潟総合テレビ 毎週日曜 8:25～8:30)	1	2	3	4	➔	A	B	C
④知ットク！新潟 (UX 新潟テレビ21 毎週日曜 17:55～18:00)	1	2	3	4	➔	A	B	C
⑤水の都新潟市 (ケーブルテレビ・NCV 毎月第2・4 土・日曜 9:00～9:30、ほか)	1	2	3	4	➔	A	B	C

※【問19】にお進みください

【問 19】 広報テレビ番組での広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。

広報テレビ番組を視聴していない方は、どのテーマを放送したら視聴してみたいと思いますか。

(○はいくつでも)

1 市政情報(市政の動向・予算)	12 ボランティア活動
2 住民票・戸籍・マイナンバー	13 医療・健康づくり
3 公共施設・公園	14 高齢者福祉
4 安心・安全(防犯・防災)	15 障がい者福祉
5 税金	16 子育て・児童福祉
6 保険・年金	17 学校教育
7 仕事(就労・雇用)	18 文化・スポーツ
8 環境・ごみ・リサイクル	19 食・観光・イベント
9 消費生活や食の安全	20 生活・法律・人権などの相談
10 都市整備・交通	21 特にない
11 地域コミュニティ・地域活動	22 その他()

5 広報ラジオ番組について

【問 20】 普段、ラジオをどのくらい聞いていますか。

(○は1つだけ)

1 ほぼ毎日聞いている	}	【問 21】 へ
2 時々聞いている		
3 聞いていない	—	【問 23】 へ

※【問20】で1、2を選んだ方にお伺いします

【問21】 次の①～④の広報ラジオ番組を聞いたことがありますか。

番組ごとに番号を1つ選んで、○をつけてください。

また、3「時々聞くことがある」、4「よく聞いている」を選んだ方は、その番組が役に立っているかどうかをA～Cより1つ選んで、○をつけてください。

	番組の認知度				左で3、4を選んだ番組の有益度		
	知らない	知らない 聞いたことは	時々 聞くことがある	よく 聞いている	役に立っている	時々 役に立っている	役に立っていない
①おはよう！新潟市です (BSN 新潟放送 毎週土曜 9:10～9:15)	1	2	3	4	A	B	C
②NICE TOWN にいがた (FM 新潟 毎週土曜 7:55～8:00)	1	2	3	4	A	B	C
③にいがたシティ・ インフォメーション (FM Port 毎週土曜 9:50～9:55)	1	2	3	4	A	B	C
④こんにちは新潟市です (FM KENTO 毎週土・日曜 10:55～11:00 ほか)	1	2	3	4	A	B	C

※【問22】にお進みください

【問 22】 広報ラジオ番組で広報を充実してほしいテーマ(市の情報)はどれですか。

広報ラジオ番組を聞いていない方は、どのテーマを放送したら聞いてみたいと思いますか。
(○はいくつでも)

1 市政情報(市政の動向・予算)	12 ボランティア活動
2 住民票・戸籍・マイナンバー	13 医療・健康づくり
3 公共施設・公園	14 高齢者福祉
4 安心・安全(防犯・防災)	15 障がい者福祉
5 税金	16 子育て・児童福祉
6 保険・年金	17 学校教育
7 仕事(就労・雇用)	18 文化・スポーツ
8 環境・ごみ・リサイクル	19 食・観光・イベント
9 消費生活や食の安全	20 生活・法律・人権などの相談
10 都市整備・交通	21 特にない
11 地域コミュニティ・地域活動	22 その他()

6 今後のよりよい市政情報の発信のために

本市では、市民の皆さまに、より効果的・効率的に市政情報をお届けするための手段を随時見直し、改善を進めています。

紙版「市報にいがた」・「区役所だより」は、これまで市政情報をお届けする最も重要な手段として広報予算の大部分を割いて発行してきました。

インターネットによる情報通信網が発達し、携帯電話やスマートフォンの普及が進む中、情報入手手段は多様化しています。

今後の広報の在り方を検討する際の参考とするため、市民の皆さまのご意見をお聞きします。

下表は「市報にいがた」・「区役所だより」の発行回数と発行費用の関係を表したものです。発行回数を増やすと、発行費用も増えます。発行回数を減らすと発行費用も減り、その分、別の手段による情報提供も可能となります。

（発行費用は概算です。
発行回数を変えても1カ月あたりの記事量は変わらないものとします。）

以上を踏まえた上で、【問23】にお答えください。

※発行費用は1年間にかかる印刷費と配送費の合計金額です
「現行」は平成27年度の決算額です

	発行回数		発行費用
	市報にいがた	区役所だより	
増 ↑	毎週発行 ※現行と同じ	毎週発行	2億6,102万円 (↑2,835万円、12%の増加)
現行	毎週発行	月2回発行	2億3,267万円
↓ 減	月2回発行	月2回発行 ※現行と同じ	1億7,714万円 (↓5,553万円、24%の削減)
	月1回発行	月1回発行	1億6,917万円 (↓6,350万円、27%の削減)

【問23】 「市報にいがた」・「区役所だより」は、どの回数で発行することが
適当だと思いますか。それぞれ番号を1つ選んで○をつけてください。

①市報にいがた		②区役所だより	
1	毎月1回 (発行費用は現行より減る)	1	毎月1回 (発行費用は現行より減る)
2	毎月2回 (発行費用は現行より減る)	2	毎月2回 ※現行の発行回数です (発行費用は現行と同じ)
3	毎週日曜発行 ※現行の発行回数です (発行費用は現行と同じ)	3	毎週日曜発行 (発行費用は現行より増える)
4	その他()	4	その他()

【問 24】あなたは、どのような手段で市政情報を受け取りたいですか。

例：スマートフォンのアプリ、メーリングリスト、など

7 自由記載欄

【問 25】「市報にいがた・区役所だより」、「市公式ホームページ」、「広報テレビ番組」、「広報ラジオ番組」などの広報全般について、ご意見などありましたらお寄せください。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて

2月7日(火)までにご投函ください。

切手の貼付と返送の際の差出人の記載は不要です。
調査結果は、後日、新潟市ホームページなどでお知らせいたします。

平成 28 年度 新潟市の広報に関するアンケート

発 行 平成 29 年 3 月

調査主体 新潟市地域・魅力創造部広報課
新潟市中央区学校町通 1 番町 602 番地 1
電話 025-226-2089

調査実施 株式会社スピードリサーチ
新潟市東区小金町 1 丁目 7-1
電話 025-270-3800